

荒川クリーンエイド 2010 報告集

Arakawa River Clean-aid 2010 Annual Report



荒川で
ちよつと
いいこと
ゴミ拾い





もくじ

荒川クリーンエイド・フォーラムが目指すもの1
ごあいさつ2

■クリーンエイド活動 4

- 上流から河口までゴミ拾いのネットワーク 4
- 荒川クリーンエイド2010の概況 6
- ゴミのデータから～荒川のゴミは消費社会の縮図～ 9
- 『荒川ペットボトル大捜索2010!』調査より 12
- 荒川のゴミを考える 14
- 荒川クリーンエイドの一年 16
- 荒川クリーンエイドの一日 18
- クリーンエイド・サポート/社員研修企画支援 20
- 荒川クリーンエイドの仲間たち 22

■生物多様性の保全 32

■水質調査 34

■流域連携 36

■環境学習支援 38

- 子どもたちのクリーンエイドと環境学習 40

■指導者育成 42

■社会とつながる活動 43

■各種データ 44

- クリーンエイド(ゴミ調査)のデータ 44
- 水質調査のデータ 48
- 周辺(生物)調査のまとめ 49

■資料 51

- ゴミ調査用紙 51
- 広報資料 53
- メディアで紹介された荒川クリーンエイド 54

■寄付で社会に貢献する 55

■2010年 お世話になりました 56

■特定非営利活動法人

- 荒川クリーンエイド・フォーラムの組織 57

編集後記に代えて



荒川クリーンエイド・フォーラムが 目指すもの

未来を担う子どもたちに
豊かな自然環境を残すため、
荒川流域での
ゴミ拾いを中心とした取り組みを通して、
市民の環境保全意識を高め、
生物多様性の保全に貢献します。

河川環境の保全に
総合的に
取り組みます



多セクターが連携する
荒川クリーンエイドのしくみ





荒川から広がる 生物多様性の保全

佐藤 正兵

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム 代表理事

2010年は、生物多様性条約の締約国会議(COP10)が名古屋で開かれ、市民の関心も高まりました。私たちは「みんなで守ろう!生物多様性」を合言葉に荒川での清掃活動を実施しました。

荒川のゴミを取除くことによって健全な生態系を守るその活動の一つひとつは小さなものであっても、1万人の活動となれば何かを変える力になっていると思います。

水際のヨシ原には流れ着いたたくさんのゴミがたまっており、それを拾っていただいた参加者から「人生観が変わった」との声が寄せられました。参加いただいた皆様お一人おひとりの気づきが横に広がり、ゴミを出さない社会、ゴミとなるような製品を生まない社会への変革を作り出す原動力になると思います。

荒川クリーンエイドは、ゴミを種類別に区分して数えながら調査回収していますが、今年度はさらにペットボトルの調査をお願いしました。昨年回収した散乱ゴミの第1位を

占めたペットボトルをどうしたら減らすことができるか、その第一歩としてペットボトルを種類別に区分して調査しました。その結果も含めて調査結果を社会発信し、改善に向けた対策を推進する礎にしたいと考えています。

市民による自然管理の実験として、小松川自然地において、侵略的外来種の除去と、ヨシ原の管理を念頭に置いたヨシ刈りを実施しました。2009年、荒川下流河川事務所が水際に繁茂する特定外来種のアレチウリと侵略的外来種オオバクサ、セイタカアワダチソウを除草したところでは、2010年は非常に少なくなっています。

国の財政事情で、河川ゴミの回収や除草に回る予算は限られてくると考えられますが、市民、学校、自治体、企業等が協働して川の生態系を守っていくことが問われています。私たちは市民の立場からこの共同事業の推進役として関係各位に働きかけ、「河川管理への市民権の確立」を実現してまいりたいと思います。

■2010年度活動の主な成果

クリーンエイド活動の飛躍的前進

今年は前年を上回る参加者数と会場数を実現しました。

参加者
10,675人

前年比
787人UP

実施会場
110会場

前年比
20会場UP

清掃範囲
延べ約42km

東京～横浜間を上まわる距離
※今年から初めての試算

ゴミデータによる社会発信を強化

特定テーマ(荒川ペットボトル大捜索!)として、ペットボトルのゴミの実態調査を追求しました。そして、個人のみならず、メディアを通じて社会に対して問題提起を積極的に行いました。

社会への問題提起

特定テーマ調査実施

ゴミデータの集計・公表

テレビ

新聞

プレスリリース

生物多様性の保全事業の着手

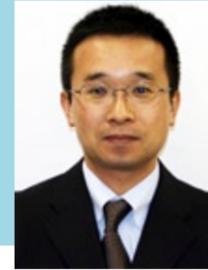
多様な生物が棲める「自然が回復する活動」をモットーに、自然地の維持管理活動に着手しました。

外来種の除草

生物調査の実施

ヨシ刈り

生物多様性の保全



地域で進める川づくり

~自らできる川づくり、「放水路から川らしい水辺へ」心地よく過ごせる荒川を目指して~

小島 優

国土交通省荒川下流河川事務所長

2010年は、明治43年に東京を襲った大洪水から100年目の節目にあたります。浅草、深川などの下町が水没し、大きな被害をもたらした水害は、「荒川放水路」建設の契機となりました。しかし、今この洪水は忘れ去られようとしています。

現在では、洪水の脅威からまちを守るとともに、スポーツ、散策、釣りなど人との関りによる利用環境の場や動植物が生息、生育する自然環境の場など、荒川下流部のもつ多様な価値が目が向けられています。

河川水辺の国勢調査結果によれば、平成18年時点で、平成8年当時の約2倍にあたる年間累計約1,600万人が荒川下流部の河川敷を訪れ、スポーツやサイクリング、散策、自然観察等の様々な目的で河川敷を利用しています。その一方で、河川敷利用のマナーが守られず、禁止区域でのゴルフ練習や自転車の高速走行による歩行者との接触事故等迷惑行為・危険行為が課題となっています。

また、河川行政に関わる予算については多くの議論が為され、厳しい状況の中で更なる工夫を求められており、現

状の管理水準を維持し自然環境の保全や適正な河川敷利用を実施していくためには、市民の協働を得ながら自らできる河川管理の取り組みを行っていく必要があります。

荒川クリーンエイド活動は、地域の方々により平成6年から熱心に続けられてきています。また平成12年9月には、地域の方と行政が一体となって河川敷のゴミ問題に取り組んでいくために、「荒川下流部ゴミ対策アクションプラン」を策定しその中心的活動として「荒川クリーンエイド活動」が位置付けされています。

この活動は、河川敷のゴミ問題等を通じて荒川流域住民の水環境への関心を喚起しています。「新たな公共」の考え方による地域づくり、河川管理を実践する先駆的な活動であります。

当事務所といたしましては、治水・環境・利用の相互関係を大切にシバランスのとれた川づくりの取り組みを進めるとともに、地域の方々による川づくりと連携や協働し、今後も「安全・安心」で心地よく過ごせる荒川を目指してまいります。

引き続き、荒川クリーンエイド活動に皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。



主体間連携が実現する 中間支援組織としての役割

~現場主義という視点に加え、参加団体の皆様と会の想いを共有したい

糸岡 栄博

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム 理事・事務局長

2010年5月総会を経て、正式に荒川クリーンエイド・フォーラムの理事・事務局長に就任いたしました。若輩者ではございますが、皆さまのご支援の甲斐あって2010年を多大な成果で終えることができました。

荒川クリーンエイド・フォーラムに大切なものは「現場主義」であるということをご前代表理事の野村圭佑氏(故人)より頻りに伺っていました。清掃活動や自然再生を行う団体にとって、現場主義という視点は欠かせません。

一方、1年間当会で業務を行う中で、改めて痛感するのは、当会は現場主義の視点に加え、本来フォーラム型NPOが持つべき中間支援組織としての特性を兼ね備えていなければならないということです。

中間支援組織とは、行政と地域の間で、様々な活

動を支援する組織のことをいいます。

個々の活動団体が個別に提言や問題提起するよりも、全活動団体で構成されたネットワークの本体として行政その他のセクターに情報発信することにより、活動団体の広範な意見として発信された側の施策に反映されやすくなります。荒川クリーンエイド・フォーラムはこの中間支援組織としての役割を担っているため、今後、参加団体の皆様とビジョンやミッションを共有し、団体全体の活動を円滑に推進するよう促すことこそ、私たちが果たすべき役割ではないかと考えます。

年間1万人の参加者の皆さま、100以上の会場ご担当様の想いを載せ流域の環境保全にどう向かい合っていくか、地道な問題提起と試行錯誤を行っていきたく存じます。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

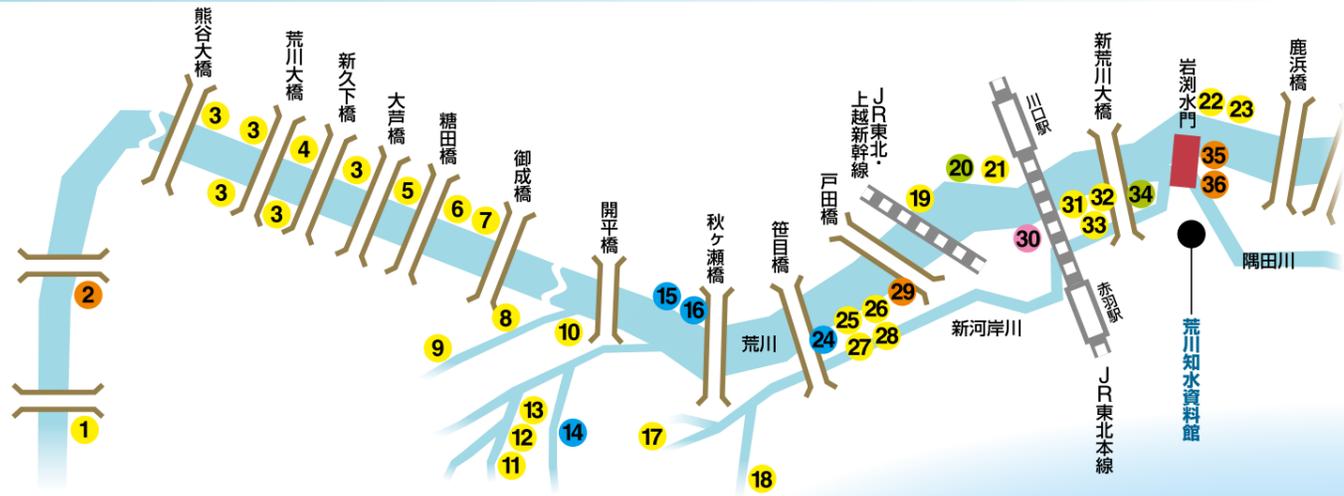
クリーンエイド活動

クリーンエイドとは、clean(きれいにする)+aid(助ける)、つまり、みんなで川のゴミを拾って自然が回復するのを助ける活動です。

行政・企業・自治体等とのパートナーシップを実現しながら、ゴミ拾いを通じて荒川の自然を取り戻し、市民の環境保全意識を高めることを目指しています。

上流から河口までゴミ拾いのネットワーク

荒川クリーンエイドは、支流も含めた流域各地で、様々な団体により年間を通じて実施されています。



- 主な実施団体のタイプ
- 市民団体
 - 自治体・行政
 - 企業
 - 学校
 - 学校以外の子ども関係
- 数字は会場No.
(P.7~8実施概況一覧参照)

17年目を迎えた 荒川クリーンエイド 年間110会場で実施、10,675人が参加しました!



市民団体
市区や学校・地元企業とつながって身近な川の環境保全

立場は違っても一人ひとりみな市民



学校や住民を巻き込んで地域の川の美化活動

自治体



高等学校

青少年の社会性を育むために

ボーイスカウト・ガールスカウト



野球・サッカーチーム

お世話になっている荒川に感謝の気持ちをこめて



社会貢献の一環として社員の社会性向上のために

企業



小中学校

総合的な学習の時間に環境学習の一環として地域を愛する心を育む



育てたい身近な自然環境を守る心

必修化した奉仕活動の一環として若者たちに社会体験を!



こどもエコクラブ、水辺の楽校

荒川をきれいにして、生き物たちを守ろう!

荒川クリーンエイド2010の概況

2010年1月～12月に流域各地で実施された荒川クリーンエイドの参加者数、ゴミの回収量等を概観します。

1. 各地で年間110のクリーンエイド実施

上流から河口まで、年間延べ120会場の申込(エントリー)をいただき、雨天中止を除くと110会場が実施されました。エントリー数及び実施会場数いずれも過去最高となりました(表1)。

2. 今年も参加者1万人を超える

2003年より、ほぼ毎年延べ1万人を超える参加をいただいておりますが、今年は年間延べ10,675人となりました(グラフ1)。

3. 約5,000袋(12t相当)の散乱ゴミ、約1,000個の粗大ゴミを回収

荒川クリーンエイドでは、45ℓのゴミ袋に入るゴミを「散乱ゴミ」、入らない大きなゴミ・重いゴミを「粗大ゴミ」と呼んでいます。2010年は散乱ゴミ4,814袋(約12t相当^(※))、粗大ゴミ1,030個を回収しました(グラフ1)。

散乱ゴミ袋数は2008年から徐々に増加していますが、手付かずの場所を新たに整備して拾っているためです。同じ場所でのゴミが増えているわけではありません。

(※)：可燃ゴミ、ペットボトルを2kg/袋、不燃ゴミを4kg/袋として換算した。

4. 延べ約42kmをきれいに

ゴミを拾った距離は、支流も含め上中流域(笹目橋から上流)の川沿いに延べ約12km、下流域の川沿いに延べ約30km、計約42kmに亘りました。これは、東京ー横浜間33km(国道距離)を大きく上回ります。

5. 増える企業のクリーンエイド

荒川クリーンエイドでは、市民団体、企業、学校、自治体など様々な団体がそれぞれ参加者を募り主体的に会場運営をしています。

実施団体タイプ別に会場数(実施回数)を見ると、年々企業による実施が増えています(グラフ2)。多くは社会貢献部門によるものです

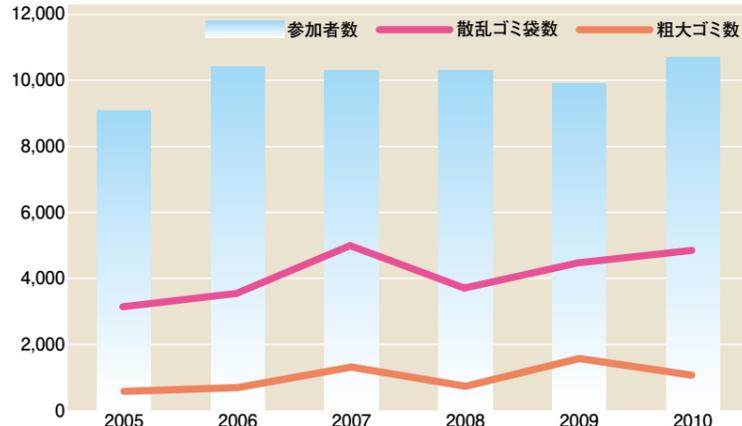
が、人事部門や広報部門による実施も見られます。

今年市民団体の会場数が増えたのは、主に「西なぎさ発：里海エイド」さんが初参加し年間8回実施したことが大きく影響しています。市民団体だけでなく、年に2回以上実施する企業も徐々に増えています。

表1 会場数(実施回数)の推移

	2005	2006	2007	2008	2009	2010
エントリー会場数	75	81	106	102	111	120
実施会場数(雨天等中止除く)	69	77	100	92	90	110

グラフ1 参加者数、散乱ゴミ袋数、粗大ゴミ数の推移

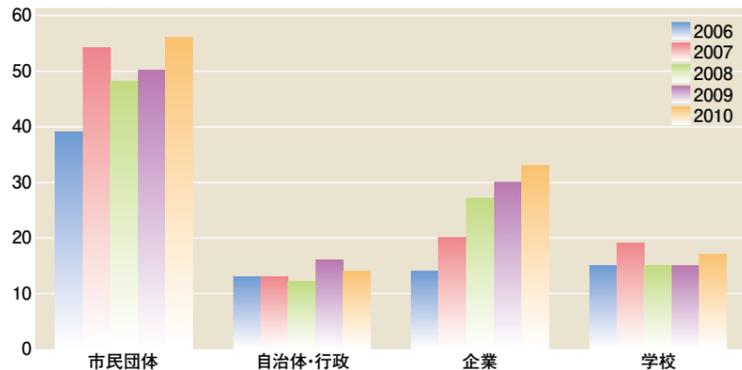


注：1)散乱ゴミとは、45ℓゴミ袋に入るゴミ。2)粗大ゴミとは、45ℓゴミ袋に入らない大きなゴミ・重いゴミ



年間約5,000袋のゴミを回収

グラフ2 団体タイプ別会場数の推移



■荒川クリーンエイド2010実施概況一覧 上→下流順■

会場 No.	実施市区名	実施会場名	実施団体名	キャプテン名	一般参加	実施曜日	開始時間	天気	大人(人)	子ども(人)	参加人数(人)	ゴミ袋数(袋)	粗大ゴミ(個)	実施範囲(川沿い(m))
1	秩父市	影森グラウンド下河川敷	NPO法人秩父の環境を考える会	岩田 泰典	○	10月17日 日	10:00	曇	41	11	52	28	0	300
2	長瀬町	高砂橋上流右岸	秩父子どもエコクラブ(秩父教育懇話会)	新井 秀直	○	9月12日 日	9:00	晴	4	25	29	3	1	100
3	熊谷市	大麻生公園周辺	NTT労組埼玉グループ連絡協議会	五十嵐 晃	×	5月22日 土	10:20	晴	99	6	105	62	16	1000
4	熊谷市	熊谷大橋～新久下橋下流	NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会	栗原 堯	○	11月7日 日	9:00	曇	1111	341	1452	可燃1100kg 不燃450kg 粗大300kg	8400	
5	鴻巣市	大芦橋下流左岸	鴻巣の環境を考える会	川島 秀男	○	11月23日 火	14:00	雨のち晴	5	0	5	20	7	1000
6	鴻巣市	糠田橋下流左岸	鴻巣の環境を考える会	川島 秀男	○	11月23日 火	14:00	雨のち晴	16	0	16	30	11	300
7	鴻巣市	御成橋下流左岸	鴻巣の環境を考える会	川島 秀男	○	11月23日 火	14:00	雨のち晴	12	0	12	22	18	300
8	東松山市	市野川河川敷 吉見百穴前	ふれあい市野川 クリーンアップ作戦協議会	野口 健吉	○	11月13日 土	9:30	晴	360	190	550	概ね5t		
9	川島町・鶴ヶ島市	荒川太郎右衛門 自然再生事業地	NPO法人荒川流域ネットワーク	鈴木 勝行	○	11月28日 土	9:00	晴	20	0	20	28	0	
10	上尾市	三ツ又沼ビオトープ	NPO法人荒川の自然を守る会	木ノ内 勝平	○	12月5日 日	9:30	曇	29	0	29	26	16	
11	鶴ヶ島	大谷川(五味ヶ谷地区)	大谷川クリーン大作戦実行委員会	鈴木 勝行	○	10月17日 土	10:00	晴	35	0	35	7	0	
12	鶴ヶ島	大谷川(太田ヶ谷地区)	大谷川クリーン大作戦実行委員会	内野 訓雄	○	10月17日 土	10:00	晴	12	0	12	19	0	
13	鶴ヶ島	大谷川(藤金地区)	大谷川クリーン大作戦実行委員会	吉井 優	○	10月17日 土	10:00	晴	24	0	24	27	0	
14	川越市	入間川上戸運動公園	NTT東日本埼玉グループ	矢沼 恒雄	×	11月7日 日	9:00	晴	60	4	64	50	1	
15	さいたま市	秋ヶ瀬公園	NTT東日本埼玉グループ	矢沼 恒雄	×	11月7日 日	9:00	晴	97	3	100	75	0	
16	さいたま市	秋ヶ瀬公園	ダイエーグループ	小川 宏樹	×	11月13日 土	10:00	晴	126	19	145	24	70	150
17	狭山市	不老川 としとらず公園付近	不老川川づくり市民の会	遠藤 日出子	○	10月10日 日								雨天中止
18	東久留米市	東久留米市黒目川	黒目川クリーンエイド実行委員会	菅谷 輝美	○	10月24日 日	10:00	曇	40	6	46	15	1	1300
19	戸田市	戸田橋左岸周辺	(財)埼玉県生態系保護協会 戸田・藤支部、戸田市河川課、荒川夢クラブ	石本 誠	○	11月14日 日	10:00	晴	47	2	49	28	27	200
20	川口市	三領水門～荒川鉄橋(荒川運動公園付近)	川口市建設部建設管理課	岡 美知子	○	10月31日 日								雨天中止
21	川口市	荒川運動公園 釣り堀池周辺	荒川夢クラブ	林 美恵子	○	4月11日 日	10:15	晴のち曇	10	0	10	8	5	80
22	川口市	河原町原っぱ	(財)埼玉県生態系保護協会 川口支部	西尾 研二	○	4月24日 土	10:30	晴	8	10	18	12	5	50
23	川口市	河原町原っぱ	(財)埼玉県生態系保護協会 川口支部	西尾 研二	○	10月23日 土	10:00	晴	20	8	28	27	2	20
24	板橋区	高島平グラウンド	(株)ファミリーマート	船山 紀幸	×	11月6日 土	10:00	晴	12	0	12	4	2	200
25	板橋区	板橋生物生態園・中規模自然池	いたばし野鳥クラブ	栗林 菊夫	○	4月18日 日	10:00	晴	47	0	47	42	19	300
26	板橋区	板橋生物生態園・中規模自然池	いたばし水辺を楽しむ会	梅村 松秀	○	8月10日 火	11:00	曇	17	5	22	5	0	50
27	板橋区	板橋生物生態園・中規模自然池	いたばし水辺を楽しむ会	梅村 松秀	○	8月11日 水	11:00	晴	19	5	24	7	0	40
28	板橋区	板橋生物生態園・中規模自然池周辺	いたばし野鳥クラブ、板橋区緑と公園課	栗林 菊夫	○	10月31日 日	10:00	曇時々雨	50	6	56	32	18	300
29	板橋区	戸田緑地草地広場周辺	板橋グローブクラブ	青木 映子	×	11月7日 日	11:45	晴	9	14	23	3	1	100
30	北区	JR東北線右岸周辺	都立桐ヶ丘高等学校	小嶋 広行	×	11月2日 火	13:30	曇時々晴	90	0	90	38	3	300
31	北区	北区・子どもの水辺	北区水辺の会	太田桐 正吾	○	5月15/16 日	9:00	晴	99	3	102	49	16	300
32	北区	北区・子どもの水辺	北区水辺の会	太田桐 正吾	○	10月16日 土	9:00	晴	14	21	35	34	10	300
33	北区	北区・子どもの水辺	北区水辺クラブ	松下 正義	○	10月13日 土	10:00	晴	2	0	2	3	0	100
34	北区	岩淵潤緑地	北区	山本 泰弘	○	10月17日 日	10:00	曇のち晴	250	100	350	132	9	500
35	北区	赤羽岩淵水門付近	ボーイスカウト東京連盟城北地区北第11団	渡辺 英敏	○	6月27日 日	10:00	曇	8	8	16	6	0	100
36	北区	赤羽岩淵水門付近	ボーイスカウト東京連盟城北地区北第11団	渡辺 英敏	○	9月19日 日	10:00		8	10	18	6	0	100
37	足立区	扇大橋下流右岸	尾久の原愛好会	金沢 寛	○	10月24日 日	13:00	曇	8	2	10	6	0	250
38	足立区	扇大橋下流	尾久の原愛好会	池田 稔	○	6月6日 日	10:00	晴	3	0	3	5	0	250
39	足立区	扇大橋下流右岸 少年運動場	荒川区教育委員会社会体育課	白石 政昭	○	10月24日 日	7:45	曇	50	300	350	41	3	300
40	足立区	西新井橋上流右岸	NTT労働組合東京グループ連絡協議会、情報労連東京都協議会	野口 達	×	5月22日 土	10:30	晴	338	30	368	222	23	250
41	足立区	西新井橋上流右岸	荒川区立赤土小学校	江崎 淳一	×	11月19日 金	9:20	晴	2	29	31	19	11	7
42	足立区	西新井橋上流右岸	日本サムスン デザインチーム	加藤 雅也	×	10月16日 土	10:00	晴	16	2	18	35	3	30
43	足立区	西新井橋上流右岸	日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)	三浦 哲	×	11月12日 金	11:00	晴	18	0	18	15	1	50
44	足立区	西新井橋上流右岸	日興コーディアル証券(株)	竹井 清司	×	11月21日 日	10:00	晴	33	4	37	86	12	60
45	足立区	西新井橋上流右岸	三井住友海上メットライフ生命保険(株)	野田 龍史	×	10月23日 土	10:00	晴	34	24	58	23	2	200
46	足立区	西新井橋野球場	荒川区教育委員会社会体育課	白石 政昭	×	10月24日 日	8:00	曇	5	0	5	3	0	50
47	足立区	千住新橋上流右岸(台東区営運動公園運動場)	台東区教育委員会青少年スポーツ課・台東区少年野球連盟・台東区少年サッカー連盟	奥山 良樹	×	10月9日 土	8:00	曇時々雨	5	43	48	5	2	200
48	足立区	千住新橋上流右岸	(株)日立ビルシステム	高橋 円	×	10月9日 土								雨天中止
49	足立区	千住新橋上流右岸	日興コーディアル証券(株)	横田 祥二郎	×	11月21日 日	10:00	晴	54	10	64	77	29	150
50	足立区	千住新橋下右岸	足立区荒川ビジターセンター、荒川区立第七峡田小学校6年生	横田 明子	×	3月9日 火	10:30	曇	5	52	57	13	0	
51	足立区	千住新橋右岸周辺	NPO法人荒川クリーンエイドフォーラム	糸岡 栄博	○	9月25日 土	10:00	曇	34	0	34	18	14	50
52	足立区	千住新橋右岸周辺	NPO法人荒川クリーンエイドフォーラム	糸岡 栄博	○	4月24日 土	10:00	晴	13	0	13	12	6	50
53	足立区	堀切橋～千住新橋右岸	学校法人足立学園中学校	高橋 弘和	×	6月25日 金	13:40	曇	23	480	503	70	16	1800
54	足立区	扇大橋下流左岸	足立区立寺地小学校	濱本 浩二	×	10月13日 水	10:50	晴	4	56	60	25	0	60
55	足立区	西新井橋上流左岸(本木ワンド)	足立区、足立区あらかわ市民会議	企画調整課長	○	10月31日 日								雨天中止
56	足立区	千住新橋下流左岸	足立区荒川ビジターセンター	浅羽 純一	○	5月30日 日	13:30	曇	7	3	10	7	1	100
57	足立区	千住新橋緑地	足立成和信用金庫	齋藤 貴子	×	10月2日 土	8:30	晴	181	5	186	60	0	500
58	足立区	千住新橋左岸緑地(わんど広場)	足立区、足立区荒川ビジターセンター	公園整備課長	○	10月31日 日								雨天中止
59	足立区	千住新橋左岸緑地(わんど広場)	東京白鷺・城北・西新井・足立中央ライオンズクラブ	関口 兼司	×	10月31日 日								雨天中止
60	足立区	千住新橋左岸緑地(わんど広場)	東京城北ライオンズクラブ	関口 和男	×	12月12日 日	10:30	晴	12	0	12	12	6	200

会場実施No.	実施会場名	実施団体名	キャプテン名	一般参加	実施日	曜日	開始時間	天気	大人(人)	子ども(人)	参加人数(人)	ゴミ袋数(袋)	粗大ゴミ(個)	実施範囲(川沿い(m))
61	荒川区 隅田川白ひげ橋上流右岸	あらかわエコフレンド	押川 賢次郎	○	10月17日	土	10:00	曇	12	4	16	24	11	30
62	台東区・墨田区 隅田川吾妻橋～桜橋テラス	隅田川市民交流実行委員会	糸井 守	○	10月9日	土	10:00	雨	20	2	22	8	0	3000
63	葛飾区 堀切橋下流左岸 首都高速6号線下付近	荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	西川 信行	○	10月24日	日	8:45	曇	17	72	89	38	4	200
64	葛飾区 四ツ木橋左岸周辺	あらかわミズガキ隊	橋本 浩基	○	4月18日	日	9:00	晴	10	84	94	72	13	100
65	葛飾区 四ツ木橋下流左岸	荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	関口 徹	○	10月24日	日	9:00	曇	15	114	129	50	1	200
66	葛飾区 木根川橋下左岸	DKWBS	長内 康弘	×	10月31日	日	9:30	曇時々雨	17	0	17	33	5	30
67	葛飾区 木根川橋下流左岸	クレディ・スイス証券(株) New	武上 大成	×	10月30日	土								雨天中止
68	葛飾区 木根川橋下流左岸	(株)藤商事	飯山 清	×	11月6日	土	10:00	晴	61	2	63	35	5	200
69	葛飾区 平井大橋上流左岸 (葛飾荒川水辺公園)	一般社団法人東京損害保険代理業協会	武舎 利幸	○	10月16日	土	11:00	晴	57	1	58	41	2	100
70	葛飾区 平井大橋下流左岸	葛飾区立小松南小学校	小林 祐一	×	1月28日	木	9:00	曇	4	59	63	3	6	
71	墨田区 四ツ木橋上流左岸	(株)エックスワン	橋本 博人	○	5月15日	土	10:00	晴	87	0	87	110	31	250
72	墨田区 四ツ木橋上流右岸	(株)エックスワン	松本 龍司	○	11月13日	土	10:00	晴	61	0	61	93	10	60
73	墨田区 四ツ木橋右岸周辺 (八広野球場～緑地)	墨田区、ライオン(株)	宮本 知幸	○	11月13日	土	8:30	曇	40	60	100	70	0	1000
74	墨田区 木根川橋上流右岸	都立日本橋高等学校	原島 淳史	×	4月23日	金								雨天中止
75	墨田区 京成線鉄橋付近右岸	一般社団法人建築ビジョン New	山田 義博	○	10月23日	土	10:30	晴	32	2	34	80	5	100
76	墨田区 京成線鉄橋付近右岸	ブルームバーグL.P.	野口 有紀	×	12月14日	火	9:30	曇	28	0	28	70	9	70
77	墨田区 京成線鉄橋付近右岸	すみだエコクラブ New	庄司 直子	○	10月31日	日								雨天中止
78	墨田区 木根川橋・四ツ木橋周辺右岸	松山油脂(株)	杉崎 広信	×	10月16日	土	10:00	晴	50	4	54	52	16	1000
79	江戸川区 平井大橋右岸周辺	ローソングループ	伊藤 義人	×	11月7日	日	10:00	曇のち晴	79	31	110	62	28	300
80	江戸川区 総武線下流右岸	下平井水辺の楽校	中嶋 美南子	○	4月25日	日	10:00	晴	42	39	81	37	36	200
81	江戸川区 総武線下流右岸	江戸川区立小松川小学校	稲木 信美	×	1月28日	木	9:30	曇	9	65	74	10	18	100
82	江戸川区 総武線下流右岸	江戸川区立平井東小学校	古館 礼子	×	2月24日	水	9:15	晴	11	46	57	7	1	100
83	江戸川区 総武線下流右岸	下平井水辺の楽校	中嶋 美南子	○	10月17日	日	10:00	曇のち晴	45	8	53	33	15	200
84	江戸川区 総武線下流右岸	江戸川区立平井小学校(4年1組)	中村 眞澄	×	10月13日	水	9:40	曇	10	40	50	7	0	100
85	江戸川区 総武線下流右岸	江戸川区立小松川小学校	橋本 昇	×	10月26日	火	10:40	晴	4	69	73	14	0	200
86	江戸川区 総武線下流右岸	江戸川区立平井東小学校	有田 英徳	×	12月1日	水	9:00	晴	2	46	48	26	9	100
87	江戸川区 木下川排水機場樋管～荒川ロックゲート	小松川平井連合町会	谷川 貞夫	×	11月14日	日	8:00	晴	700	300	1000	—	—	1500
88	江戸川区 小松川橋付近右岸	小松川信用金庫 New	堀越 康	×	11月6日	土	8:30	晴	73	1	74	95	11	100
89	江戸川区 船堀橋上流右岸	江戸川・生活者ネットワーク、ガールスカウト東京215団、三井ボランティアネットワーク事業団	藤居 阿紀子	○	11月7日	日	10:00	晴	22	15	37	42	10	100
90	江戸川区 船堀橋上流右岸	明誠監査法人 New	武田 剛	×	10月8日	金	13:30	曇	22	0	22	23	7	100
91	江戸川区 船堀橋上流右岸	ブルームバーグL.P.	野口 有紀	×	10月7日	木	9:00	曇	10	0	10	18	4	200
92	江戸川区 船堀橋下流右岸	[24時間テレビ]チャリティー委員会	神成 尚亮	○	5月29日	日	9:20	晴			270	251	94	500
93	江戸川区 船堀橋周辺右岸	JAMBO INTERNATIONAL CENTER	D ハウエンスタイン	○	10月31日	日	13:00	曇	14	1	15	42	6	500
94	江戸川区 船堀橋下流右岸	ジョンソンコントロールズ(株) New	打保 貴一	×	10月23日	土	10:00	晴	35	10	45	37	10	100
95	江戸川区 都営新宿線下流右岸	島村運輸倉庫(株)	澤村 隆	×	11月20日	土	10:00	晴	87	5	92	72	25	270
96	江戸川区 都営新宿線下流右岸	ブルームバーグL.P.	野口 有紀	×	8月10日	火	9:00	曇	22	0	22	22	2	100
97	江戸川区 都営新宿線下流右岸	シティグループ	藤谷 浩臣	×	10月23日	土	9:40	晴	22	3	25	42	20	200
98	江戸川区 都営新宿線下流右岸	日本クラフトフーズ(株) New	水上 みさ	×	10月7日	木	9:30	晴	62	0	62	69	17	200
99	江戸川区 荒川中土手五色池周辺	江戸川区立大杉小学校	鈴木 毅	×	10月15日	金	12:30	晴	20	115	135	6	0	200
100	江戸川区 荒川中土手五色池周辺	中土手に自然を戻す市民の会	佐藤 正兵	○	11月21日	日	10:00	晴	13	1	14	15	17	500
101	江戸川区 葛西橋上流中土手	ふるさと清掃運動会実行委員会 New NPO法人荒川クリーンエイドフォーラム	亀山 久雄	○	11月6日	土	13:00	晴	370	30	400	445	48	1000
102	江戸川区 葛西橋上流中土手	東海東京証券(株) New	遠藤 順子	×	5月15日	土	10:00	晴	70	0	70	71	19	250
103	江戸川区 葛西橋周辺中土手	亜細亜学園一般奉仕会「細流」	松澤 圭吾	×	2月18日	木								雨天中止
104	江戸川区 葛西橋下流左岸(中土手)	島村運輸倉庫(株) New	澤村 隆	×	5月1日	土	10:00	晴	83	4	87	153	15	750
105	江戸川区 葛西橋上流中土手	江戸川ケーブルテレビ(株) New (J:COM江戸川)	杉本 良一	○	9月5日	日	10:00	晴	182	50	232	102	6	600
106	江戸川区 葛西橋上流中土手	江戸川区土木部計画課、NPO法人えどがわエコセンター、いきごみクラブ	木村 実	○	11月7日	日	10:00	晴	25	0	25	46	0	500
107	江戸川区 葛西海浜公園東なぎさ	NPO法人えどがわエコセンター	中嶋 美南子	○	7月3日	土	9:30	曇	52	5	57	37	22	200
108	江戸川区 葛西海浜公園東なぎさ	葛西東渚・鳥類園友の会、日本野鳥の会東京、都漁連内湾漁協、NPO法人えどがわエコセンター	飯田 陳也	○	11月9日	火	9:30	曇	119	1	120	230	15	200
109	江戸川区 葛西海浜公園西なぎさ	西なぎさ発：東京里海エイド New	橋爪 慶介	○	4月17日	土	9:30	晴	3	0	3	4	0	500
110	江戸川区 葛西海浜公園西なぎさ	西なぎさ発：東京里海エイド	橋爪 慶介	○	5月15日	土	9:30	晴	7	1	8	8	1	500
111	江戸川区 葛西海浜公園西なぎさ	西なぎさ発：東京里海エイド	橋爪 慶介	○	6月19日	土	9:30	晴	5	0	5	8	3	500
112	江戸川区 葛西海浜公園西なぎさ	西なぎさ発：東京里海エイド	橋爪 慶介	○	7月17日	土	9:30	晴	16	3	19	12	1	500
113	江戸川区 葛西海浜公園西なぎさ	西なぎさ発：東京里海エイド	橋爪 慶介	○	8月21日	土	9:30	晴	14	6	20	16	3	500
114	江戸川区 葛西海浜公園西なぎさ	西なぎさ発：東京里海エイド	橋爪 慶介	○	9月18日	土	9:30	晴	20	0	20	16	2	500
115	江戸川区 葛西海浜公園西なぎさ	西なぎさ発：東京里海エイド	橋爪 慶介	○	10月23日	土	9:30	晴	28	6	34	3	0	500
116	江戸川区 葛西海浜公園西なぎさ	西なぎさ発：東京里海エイド	橋爪 慶介	○	11月20日	土	9:30	晴	28	3	31	6	1	500
117	江東区 葛西橋右岸	江東区土木部水辺と緑の課	広川 隆司	○	10月9日	土	9:30	雨	36	1	37	75	1	1000
118	江東区 清砂大橋右岸～河口	(株)りそな銀行	中野、鷹野	×	6月26日	土	10:00	曇	660	30	690	211	48	1000
119	江東区 清砂大橋下流右岸 新砂干潟	江東エコーリーダーの会	阿部 美和	×	5月29日	土	10:30	曇	12	0	12	16	7	100
120	江東区 新砂干潟	江東エコーリーダーの会	阿部 美和	×	11月3日	水	10:30	晴	25	13	38	20	3	50

市民団体
自治体・行政
企業
学校
学校以外の子ども関係

上中流域計	2,051	599	2,650	421	140	11,550
下流域計	5,165	2,590	8,025	4,393	890	30,757
総合計	7,216	3,189	10,675	4,814	1,030	42,307

※上中流域は、荒川本川の笹目橋より上流と、そこに注ぐ支流(市野川、入間川など)。
 ※下流域は、荒川本川の笹目橋より下流と、そこに注ぐ支流(新河岸川、黒目川など)、およびそこから分岐する支流(隅田川など)。

ゴミのデータから ～荒川のゴミは消費社会の縮図～

荒川のゴミは、風に飛ばされる、不法投棄など様々なルートで川に入り下流のヨシ原等に流れ着いたものが大半を占め、消費社会の縮図といえます。

荒川クリーンエイドでは、ゴミを種類別に数えながら拾い、拾ったゴミのデータを社会に発信してゴミの発生抑制につなげています。ここでは、2010年のゴミのデータとこれまでの蓄積データから見えることを紹介します。

1. 2010年も多数回収、プラスチック類の破片

荒川で拾ったゴミの中には破片やその他の細かなゴミも多く含まれます。それらの割合を見ると、プラスチック・発泡スチロールの破片が全散乱ゴミ数の約1/4を占め、紙やガラスの破片を含めると約3割が破片ゴミとなっています(グラフ3)。これら細かなゴミはすべて拾い切ることができないので、実際には、荒川

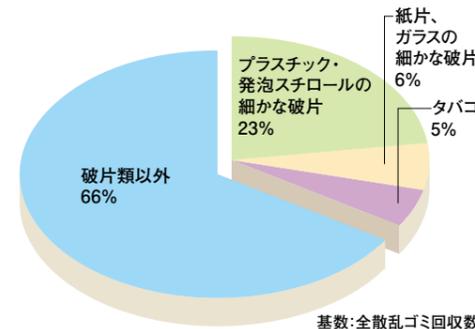
【調査概要】

専用の調査票を用いて、ゴミを拾う際に種類別に数を数えている。

- 1) 期間：2010年1月～12月
- 2) 場所：荒川流域等の河川敷・水際 埼玉県秩父市～東京都江戸川区
- 3) 地点数：延べ96
- 4) 調査の内容
 - 回収した散乱ゴミの種類別個数
 - 回収した粗大ゴミの種類別個数
 - 範囲：川沿いの長さ(m)×奥行(m)

※散乱ゴミは45ℓゴミ袋に入るゴミ。粗大ゴミはそのゴミ袋に入らない大きなゴミ・重いゴミ。
 ※散乱ゴミ調査カード、粗大ゴミ調査用紙についてはP51、52参照。

グラフ3 破片・細かなゴミの割合



様々な大きさのプラスチック類の破片

にはこのような破片ゴミが無数に存在しているといえます。

プラスチック類は環境中に放置されるとどんどん微細化し、回収が困難となるばかりでなく、魚や鳥等が誤飲するなどの影響が問題視されています。(詳しくはP15参照)

2. 2010年も1位はペットボトル

破片を除いた散乱ゴミのランキングを見ると、最も多く回収されたゴミは、2009年に引続きペットボトルで、2位以下を大きく引き離しました(グラフ4)。(詳しくはP12参照)

グラフ4 散乱ゴミ2010ランキング・ワースト20



ヨシ原に漂着し溜まったゴミ(江戸川区にて)



3. プラスチック類、10年間に1.5倍に

グラフ4(前ページ)を見ると、1位のペットボトルほか、食品などのポリ袋(2位)、買い物レジ袋(5位)、フタやキャップ(6位)、食品トレイ(8位)など、プラスチックや発泡スチロールのゴミが上位に挙がっています。

素材別構成比を見ると、プラスチックと発泡スチロールで散乱ゴミの約2/3(68%)を占めます。10年前と比較すると、その割合は約1.5倍になりました(グラフ5)。

プラスチック類のゴミは、一旦環境中に放置されると、人が回収しない限り土に還ることなく存在し環境に悪影響を与え続けます。

4. 2/3を占める容器包装のゴミ

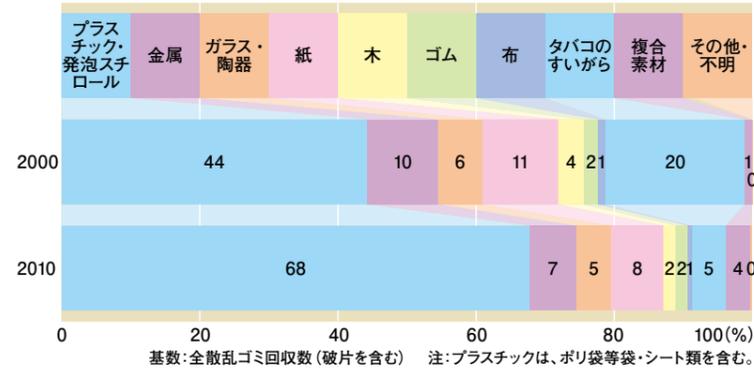
容器包装類の割合を見ると、ペットボトル、食品トレイ、飲料缶、飲料ビンなど容器包装類が、散乱ゴミの約2/3(67%)を占めています(グラフ6)。

環境省のデータを見ると、ゴミに占める容器包装の割合は容積比で62%となっており、荒川のゴミのデータとかなり近いことがわかります(グラフ7)。環境省のデータと比べて紙類の割合が低いのは、河川ゴミ(下流)では上流から流れて来るゴミが多く、紙類は流れにくいことなどが理由と考えられます。

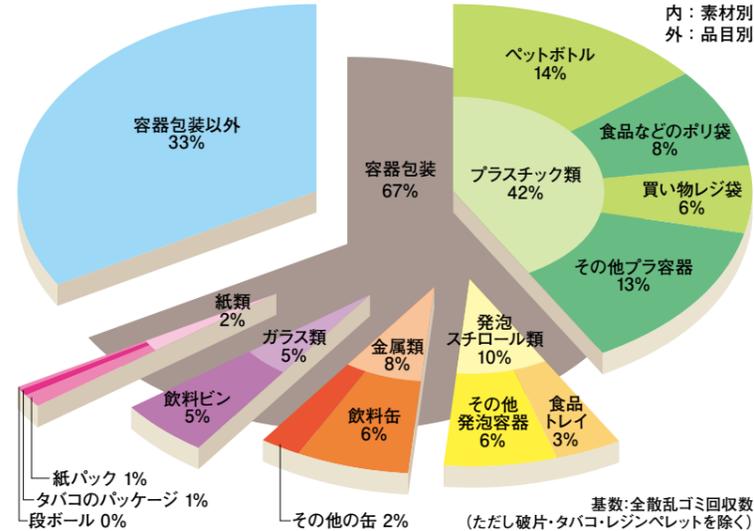
5. 10年間にペットボトルが急増

主な容器包装ゴミの回収数の推移を見ると、年によりばらつきはありますが、この10年間にペットボトルが急増したことがわかります。また、買い物レジ袋は、2007年までは増加傾向にありましたが、2007年と比べるとここ3年は回収数は少ない値となっています(グラフ8)。

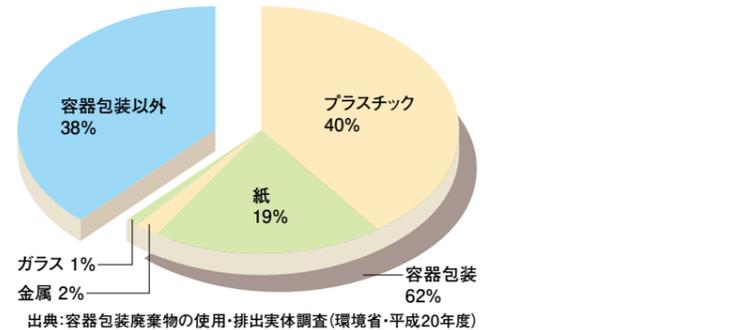
グラフ5 素材別構成比



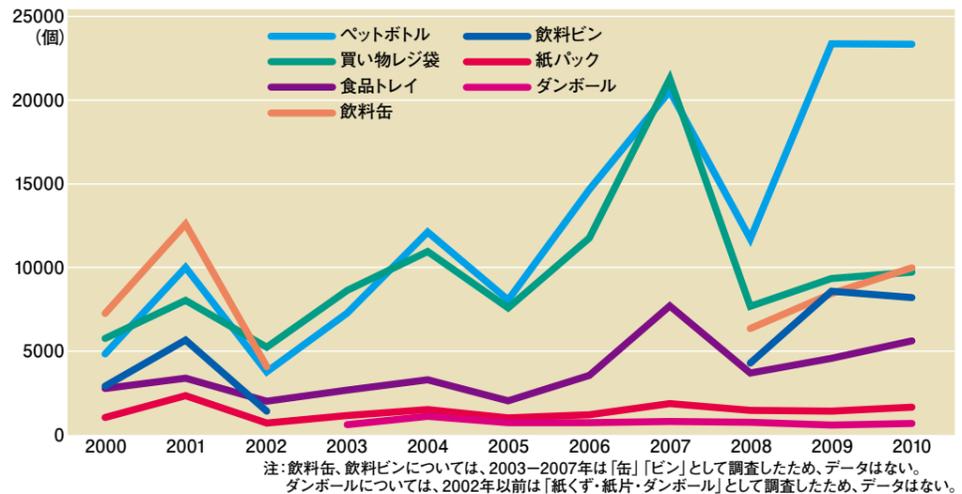
グラフ6 容器包装類の割合



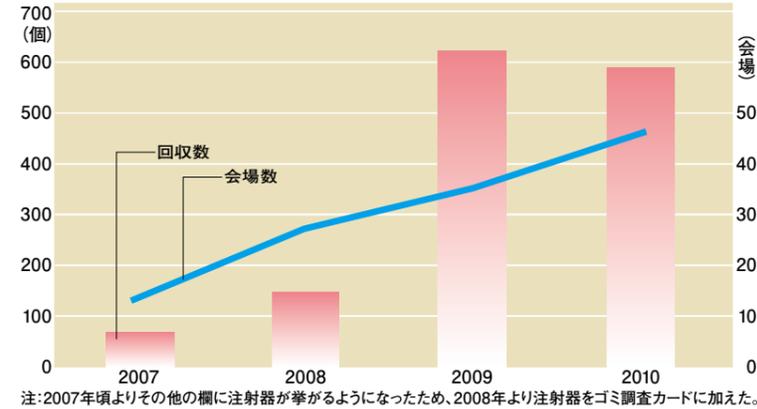
グラフ7 ゴミ(家庭ゴミ)に占める容器包装の割合(容積比)



グラフ8 主な容器包装ゴミの回収数の推移



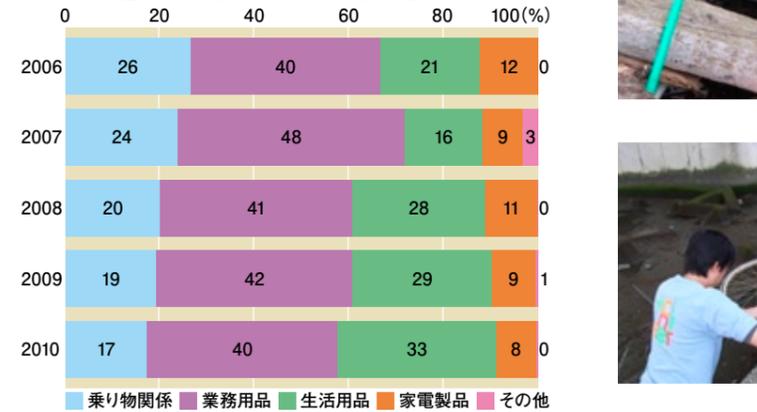
グラフ9 注射器の回収数と回収した会場数の推移



グラフ10 粗大ゴミ2010ランキング・ワースト20



グラフ11 粗大ゴミの 카테고리別構成比の推移



6. 注射器の行方

注射器の回収数と回収した会場数を見ると、2009年に急増した注射器は、2010年も580個と多数回収されました(グラフ9)。

また、回収した会場数も年々増えており、会場の範囲も、2007年には足立区が最上流でしたが、2008年には北区、2010年には川口市と、年々上流へと広がっています。

河川数で見つかる注射器は、薬物用・医療用の可能性が考えられます。(詳しくはP15参照)



荒川で回収された注射器

7. プラケース・プラカゴなど生活用品が増加

粗大ゴミのランキングはグラフ10のとおり。

カテゴリー別に見ると、木材・角材、コード・ケーブル、発泡スチロール箱などの「業務用品」が最も多く(40%)、次いで、プラケース・プラカゴ、傘、布団・マットレスなどの「生活用品」(33%)、タイヤ、自転車・三輪車などの「乗り物関係」(17%)が多く回収されました(グラフ11)。

カテゴリー別構成比の推移を見ると、「乗り物関係」が減り、「生活用品」が増える傾向にあります(グラフ11)。



プラカゴ



コード・ケーブル



自転車

『荒川ペットボトル大捜索2010!』調査より

秋以降の荒川クリーンエイド各会場で、初めての試みとしてペットボトルゴミの調査を実施しました。

荒川で近年急増しているゴミのひとつはペットボトルであり、2009年に回収したゴミの中では数が最高であったばかりでなく、回収量も増えています。私たちの生活から出る様々なゴミの発生抑制を社会に提起していくことを目的に、まずはペットボトルの調査を始めました。



種類別調査では、種類ごとの個数を数えました。

【荒川クリーンエイドの報告書提出書】No.3
荒川クリーンエイド ペットボトル調査用紙

● 調査方法
 ペットボトルのみを回収して調査
 可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源物と一緒に回収する
 可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源物と一緒に回収するが、ペットボトルは別袋で回収する

種類	回収数	回収率	備考
水			
お茶類			
コーヒー類			
ジュース類			
スポーツドリンク			
アルコール類			
調味料			
その他			
不明			

実施後1週間以内に、郵送・FAX (03-3654-7256) ・Eメールで提出願

ペットボトル調査用紙

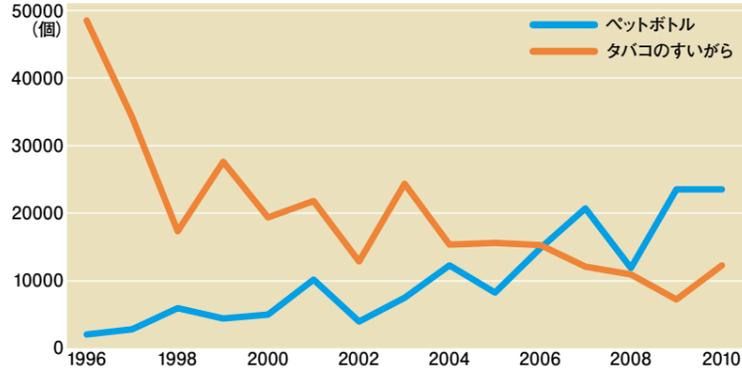
1. 荒川のゴミの約2割はペットボトル

量調査では、全体のゴミ袋の中でペットボトルが19%を占めました(グラフ13)。特に、上中流域の3%に対して下流域では21%を占め、下流側の方が割合が高い結果となり、浮いて流れ着くことが多いことが推察されます。また、個数では散乱ゴミの10%であるのに対して容量として大きくかさばるゴミであることがわかります。

2. 大半が小型ペットボトル

集めたペットボトルについて、小型(350ml、500mlなど)か、大型(900ml、1l、2lなど)かを判別したところ、86%が小型のボトルであり、数では圧倒的に多く拾われました。

グラフ12 ペットボトルとタバコのすいからの回収数の経年変化



【調査概要】

- 1) 目的
ペットボトルゴミの状況を把握して、ゴミ削減に向けて社会に発信していく
- 2) 調査時期・場所
2010年9月～12月のクリーンエイド実施会場にて調査
- 3) 調査項目
①<量調査> ゴミを回収する際に、可燃ゴミ、不燃ゴミの他にペットボトルを別途回収し、その量(かさ)を調査
②<種類別調査> 水/お茶/ジュース類/調味料など種類ごとの個数を調査

【実施状況】

秋のクリーンエイドを実施した78団体中66団体が量調査を実施。53団体が種類別調査を実施。秋の全回収個数の約6割に当たる8,952個の種類別調査を実施。

グラフ13 量の割合

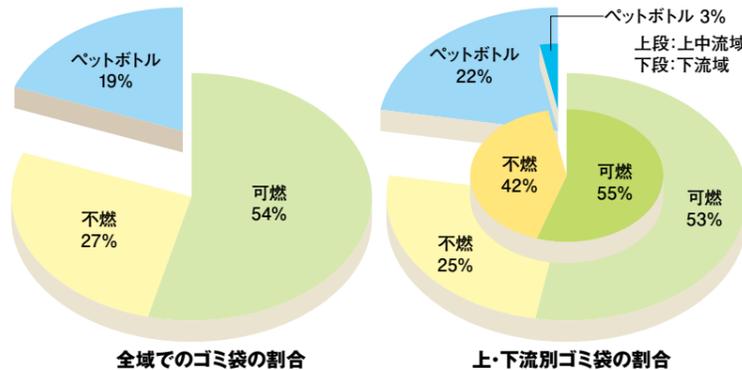
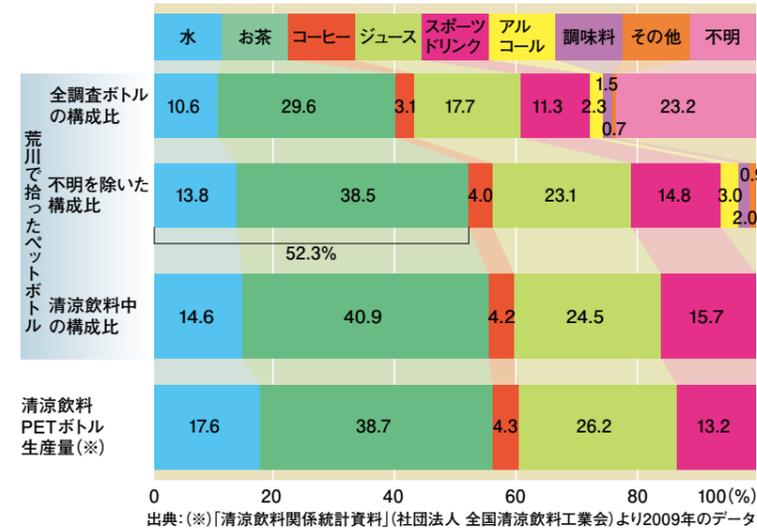


表2 ペットボトル回収数が多い会場トップ6(秋のクリーンエイド)

ペットボトル回収数	実施会場		実施団体	参加人数	ゴミ袋数と割合			実施範囲			クリーンエイド実施日
	市区	会場名			ペットボトル袋数	合計袋数	ペットボトル袋の割合(%)	川沿い(m)	奥行(m)	ゴミ回収場所	
1486	墨田区	京成線鉄橋付近右岸	一般社団法人建築ビジョン	34	35	80	43.8	100	10	水際	10月23日
1339	江戸川区	葛西橋上流中土手	ふるさと清掃運動会実行委員会、NPO法人荒川クリーンエイドフォーラム	400	68	445	15.3	1000	10	水際	11月6日
910	墨田区	京成線鉄橋付近右岸	ブルームバークL.P.	28	26	70	37.1	70	12	水際	12月16日
880	足立区	西新井橋上流右岸	日興コーディアル証券(株)	37	27	86	31.4	60	5	水際と河川敷	11月21日
830	江戸川区	小松川橋付近右岸	小松川信用金庫	74	27	95	28.4	100	10	水際	11月6日
796	墨田区	四ツ木橋上流右岸	(株)エックスワン	61	21	93	22.6	60	3	水際と河川敷	11月13日

グラフ14 ペットボトルの種類別構成比



マイボトルでゴミを減らそう

皆さん、ゴミ拾いお疲れさまです。ところで拾ったゴミの中でペットボトルが一番多いのだそうですね。ペットボトルは手軽で便利ですが、より多くの人たちがペットボトルの代わりにマイボトルを持つようになるとゴミはもっと減ると思います。

みんなの荒川がもっともっときれいになるように皆さんと一緒にマイボトルを広めていきたいですね。SIGGは荒川クリーンエイドの活動を応援しています！
 (SIGG社日本総代理店 (株)スター商事 佐々木 幸成)

実施団体から参加した子どもたちに配布していただきました。



島村運輸倉庫(株)会場にて スター商事様より協賛いただいたSIGGボトル

ゴミ発生抑制に向けた社会発信を

荒川クリーンエイドで拾われるゴミの約2/3が容器包装類で、中でもペットボトルのゴミが顕著となっています。今後は、2010の調査結果をもとに、ゴミ減量や、ペットボトルを始めとした容器包装がなくとも飲料や製品が購入できるような社会が実現できるよう、企業や業界団体に働きかけをすすめていきたいと考えます。



荒川クリーンエイドフォーラム 運営委員 江原 春美

3. お茶のボトルが全体の3割以上

集めたペットボトルの種類別調査をしたところ、最も多い種類はお茶(30%)で、続いて、ジュース類(18%)、スポーツドリンク(11%)、水(11%)が多めの割合を占めています(グラフ14)。

大型のボトルでは、小型に比べて、アルコール類、調味料類の割合が高い結果となりました。

不明を除き、種類が判明した中では、お茶と水を合わせると5割を超えます。お茶・水については、マイボトルを持てばペットボトルの使用は大幅に減るものと考えられます。

4. 荒川のゴミが社会を反映

荒川で拾われたペットボトルを、全国の清涼飲料の「PETボトル品目別生産量」と比較すると、生産量の割合とほぼ一致することがわかりました。これによって、荒川のゴミは社会を反映していることが判明しました(グラフ14)。若干割合が高いのは、お茶とスポーツドリンクでした。河川敷にはランドも多く、ランド利用者などが残したペットボトルが散在したり、流域の様々な場所から漂着する割合が高いことなどが推察されます。

5. 下流の水際に集中

秋のクリーンエイドでペットボトルを多く回収した会場は表2の通り、下流域(墨田、江戸川、足立区)の水際に集中しています。ゴミ拾い範囲が狭い場所、参加人数が多くない場所でも大量のペットボトルが回収されていることより、ヨシ原などの溜まりやすい場所に集中して漂着していることが考えられます。

荒川のゴミを考える

17年間活動を継続している荒川クリーンエイドですが、荒川には様々なゴミの課題が山積んでいます。

ゴミの現状

秩父市



コタツやカラオケセットなど家庭から出たと思われる粗大ゴミ

熊谷市



不法投棄されたゴミの山が河川敷に長年残っていましたが、2010年によりやく片づけられました。(熊谷市旧新川地区)

利用者マナー



堤防の上に花火や、食品などの容器がそのまま放置されていました



北区



足立区



水をたくさん含んだマットレス

水際には、浮いて漂着したと思われるゴミが溜まっています

水際の粗大ゴミ

水際に放置されたままの粗大ゴミは、クリーンエイドの際に、車の入れる場所まで運び出すことによって、処理が可能となります。



冷蔵庫



バイク



柔らかいプラやタイヤ

江戸川区

江戸川区内の水際に「草加」の地名のある看板が漂着しています

漂着



浮きやすいゴミがいろいろ溜まっています



河口近くには細かい破片類が多く溜まっています

生き物に悪影響を及ぼす微細ゴミ

プラスチック系のゴミは、水流や風、紫外線などの影響でどんどん劣化・微細化するに従い回収が困難になるばかりでなく、魚や鳥等がえさと間違えて飲み込む害(誤飲)があります。

体内に取り込まれた破片は消化器に異物として溜まるばかりでなく、環境中を浮遊する間に吸着したダイオキシンなどの有害化学物質が体内で溶け出し、その生き物に悪影響を及ぼすことがあります。

また、さらに食物連鎖の上位にいる生物にも影響が及ぶとされています。



ヨシが生い茂り気持ちの良い荒川河川敷ですが…(江戸川区・葛西橋付近)



人工芝の破片



近寄ってみると、様々な形や大きさの破片類が溜まっています



レジンペレット

注：(*)レジンペレットとは、3~5mmの粒状のプラスチック製品の原料。

急増する医療廃棄物

近年、河川敷で注射器ゴミが急増していますが、注射器ばかりでなく、様々な医療廃棄物が拾われています。河川敷で見つかる注射器の多くは、薬物用に使用された可能性*と、医療用が廃棄される過程で不法投棄された可能性が考えられています。

*2009年2月16日に小松川警察署銃器薬物係よりコメント。



注射器



点滴針(足立区内にて)



7本入り注射針(江戸川区区内にて)

潮の干満とともに漂着

荒川下流部は東京湾の潮の干満によって、毎日水位の上下を繰り返しています。満潮で水面に浮かぶゴミが、潮が引いた際に水際に取り残され、ヨシ原の中であればヨシの根元に溜まり蓄積され続けています。



1. 水面に浮かぶゴミ



2. 潮が引くと共に水際に漂着する



3. ヨシの中に入り込む

荒川クリーンエイドの一年

2010年、荒川クリーンエイドは以下のスケジュールで運営されました。

ホームページがクリーンエイドの概要を理解いただくのに役立っています。



実施申込用紙

荒川クリーンエイド実施申込用紙(2010)	
1. 実施団体名	〒113-8501 東京都文京区千石1-1-1 荒川クリーンエイド事務局
2. キャンパス/活動場所/会場	〒113-8501 東京都文京区千石1-1-1 荒川クリーンエイド事務局
3. 主催/後援団体名(氏名)	氏名: _____ 住所: _____
4. 実施日時(月・日)	月: _____ 日: _____
5. 実施時間(開始～終了)	開始: _____ 終了: _____
6. 実施内容(清掃、植樹、環境学習など)	_____
7. 参加人数(参加者・スタッフ)	参加者: _____ スタッフ: _____
8. 参加費/寄付金	参加費: _____ 寄付金: _____
9. 実施場所の地図	_____
10. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
11. 実施場所の地図	_____
12. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
13. 実施場所の地図	_____
14. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
15. 実施場所の地図	_____
16. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
17. 実施場所の地図	_____
18. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
19. 実施場所の地図	_____
20. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
21. 実施場所の地図	_____
22. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
23. 実施場所の地図	_____
24. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
25. 実施場所の地図	_____
26. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
27. 実施場所の地図	_____
28. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
29. 実施場所の地図	_____
30. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
31. 実施場所の地図	_____
32. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
33. 実施場所の地図	_____
34. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
35. 実施場所の地図	_____
36. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
37. 実施場所の地図	_____
38. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
39. 実施場所の地図	_____
40. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
41. 実施場所の地図	_____
42. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
43. 実施場所の地図	_____
44. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
45. 実施場所の地図	_____
46. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
47. 実施場所の地図	_____
48. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号
49. 実施場所の地図	_____
50. 実施場所の住所	〒 _____ 東京都 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号



実施説明会(秋)の様子



クリーンエイドを実施

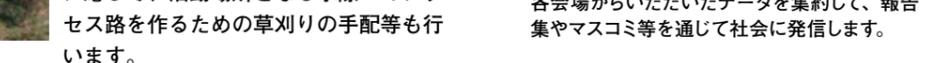
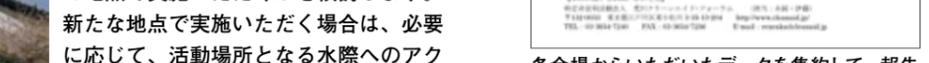
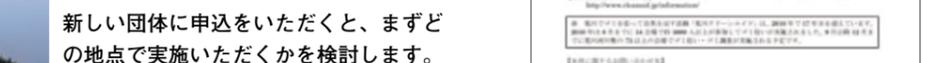


下見の様子

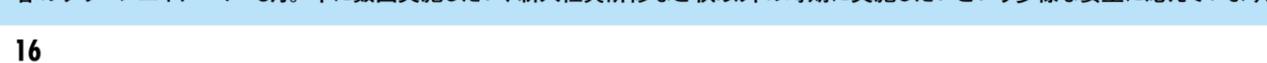
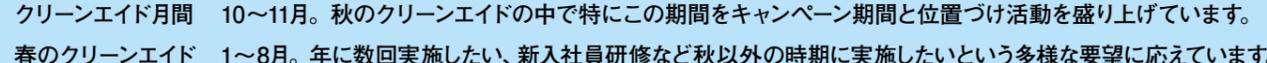
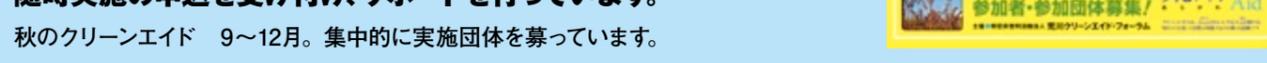
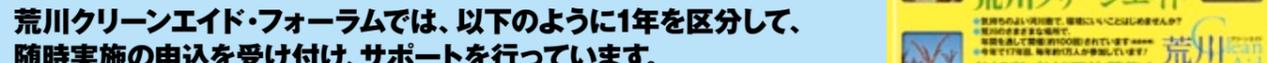
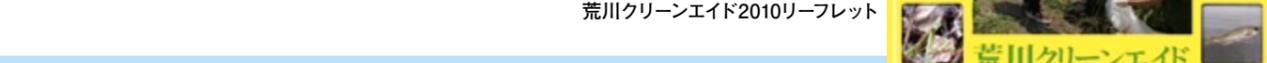


報告用紙

秋のクリーンエイド



春のクリーンエイド



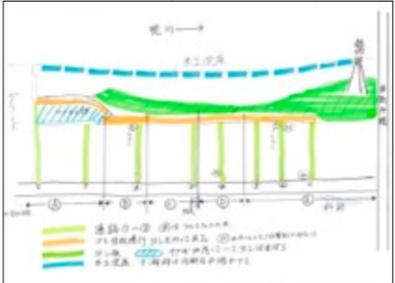
数々の貴重なご意見をいただいた連絡会



体験会(春)の様子(P42参照)



荒川クリーンエイド2010リーフレット



会場調整マップ



クリーンエイド会場整備のための草刈り



資材等を実施団体に送ります。

会場の選定・調整

新しい団体に申込をいただくと、まずどの地点で実施いただくかを検討します。新たな地点で実施いただく場合は、必要に応じて、活動場所となる水際のアクセス路を作るための草刈りの手配もを行います。



各会場からいただいたデータを集約して、報告集やマスコミ等を通じて社会に発信します。

荒川クリーンエイドの一日

荒川クリーンエイドは、多くの会場で以下のように実施されています。主催団体や地域に合わせてさまざまな工夫をして有意義な一日となるよう運営されています。

クリーンエイド活動



事前説明

開会・事前説明

- きれいにする (clean) + 助ける (aid) といった荒川クリーンエイドの社会的意義や、数えるゴミ拾いの意義をまず参加者に伝えます。
- そして実際に数えながら
- どのように拾うかなどの実施方法を説明します。

ゴミ拾い

5-6人のグループに分かれ、調査カードを使って種類別に数えながらゴミを拾います。記録者は、調査カードに「正」の字を書きながら、グループのメンバーが拾ったゴミを一つひとつ記録していきます。粗大ゴミも運び出せるものは力を合わせて回収します。



調査カードに記録

ゴミ袋集計

集めたゴミ袋を色別に1カ所にまとめ、数を数えます。



ゴミ袋集計

記念写真撮影

集めたゴミを前に全員で記念写真撮影!この日の成果を実感します!



集合写真

まとめ・ふりかえり

- ゴミ拾いをしながら気づいたことや感じたことをグループで話し合い、その後皆で共有します。
- ゴミがなく自然が豊かな荒川のためにできることを参加者皆で考えます。



ふりかえり

(約20分)

(約60分)

(約10分)

(約20分)

クリーンエイド活動と共に

実施会場によって、クリーンエイドと共に以下のことも実施しています。



水質調査

パックテストや透視度計を利用して、水質調査を実施し、川の水の状況を調べます。(P34参照)



自然観察会・自然環境教室・生物調査

自然観察会や自然遊び、生物調査などを行って、荒川の自然に親しみ、関心を高めています。荒川クリーンエイド・フォーラムでも、専門指導員による自然環境教室を開催し、魚、カニ、野鳥、植物など

荒川の自然と触れ合うお手伝いをしています。(P21参照)



草刈り

保全活動の一環として、いくつかの会場でクリーンエイド活動前後に草刈りを試験的にを行っています。

【外来種の除草】

アレチウリ、オオブタクサ、セイタカアワダチソウなど、在来種の生育環境を脅かす危険性のある外来種を除草し、経過を観察しています。



【外来植物・ヨシの学習】

主に子どもたちを対象に、外来種の除草やヨシ刈り体験を通して、荒川の生物多様性やその保全について学びました。

【ヨシ刈り】

ヨシには、窒素やリンを吸収し水を浄化する働きがあります。元気なヨシが育ち水質浄化作用が高まるよう、冬場にヨシ刈りを行っています。



アレチウリ (特定外来生物)

アレチウリ (ウリ科、一年生草本) 日当たりの良い場所に見られ、巻きひげ(※)で、ほかの植物に巻き付いて数mに達し、アレチウリの下に植物は日光が届かず枯れてしまうこともあります。

※巻きひげ: 巻き付くために特に分化した構造。他のものに巻き付くことで自身を固定する。

荒川クリーンエイド・フォーラム 理事 石本 誠



クリーンエイド・サポート／社員研修企画支援

当会では、各実施団体の皆様のニーズに応じて以下のようなサービスを提供しています。

クリーンエイド実施サポート

企業・団体等のニーズに応じて、荒川クリーンエイド・フォーラムでは、活動の企画から当日の活動に至るまでのサポートを提供しています。2010年は、計19回のサポートを実施しました(表3)。

企業・団体の活動を支援し、
ご満足いただける
プログラムをコーディネートします。

サポートを利用するメリット

1. 事前準備の負担が大幅に軽減されます。
2. 当日の進行がスムーズにいきます。
3. 100人を超える規模での参加を円滑にします。



「社会貢献活動と社員交流プログラム」リーフレット

2008年度から本格的に、企業の社会貢献活動を支援する一環として、「社会貢献活動と社員交流プログラム」サポートを開始しました。これまであらゆる業種業界に携わる企業の皆さまが荒川クリーンエイドを実施するためのサポートをさせていただきました。2010年度は、15社の企業の皆さまに本プログラムをご利用いただきました。

荒川クリーンエイドでは、実施団体の自主的な活動を進める一方、密なコミュニケーションを深めるためにも、本プログラムのご活用を広げていきたいと思っています。



荒川クリーンエイド・フォーラム 理事 伊藤 浩子

表3 サポート実施企業・団体一覧 (五十音順)

春の クリーンエイド	秋の クリーンエイド
株式会社エックスワン	株式会社エックスワン
NTT労組埼玉グループ連絡協議会	クレディ・スイス証券株式会社
NTT労働組合東京グループ連絡協議会/ 情報労連東京都協議会	シティグループ
東海東京証券株式会社	ジョンソンコントロールズ株式会社
[24時間テレビ]チャリティー委員会	日本クラフトフーズ株式会社
ブルームバーグL.P.	日興コーディアル証券株式会社
株式会社りそな銀行	ブルームバーグL.P.
	三井住友海上メットライフ生命保険株式会社
	明誠監査法人

サポートの概要

個別に実施説明

クリーンエイド実施までの準備や
当日運営等についてご担当部門の方々へ説明します。

事前準備

- 自治体との調整
会場手配、ゴミ処理等の事前連絡を行います。
また必要に応じて、参加者が容易に
ゴミ拾いができるよう草刈りを施します。
- 会場下見の同行
会場下見に同行し、実施会場を確認します。
また、当日の細かい手順や
安全上配慮すべき事項について共有します。

当日サポート

インストラクターが、
参加者へのクリーンエイド実施手順の説明や、
ゴミの回収・報告書式記入の指導等を行います。

事後報告・PR

必要に応じて、ホームページへの活動報告の掲載や、
各種メディアとのコミュニケーション支援を
受け賜っています。

自然環境教室

荒川でゴミを拾うだけでなく、そこにある自然に親しむことも大切です。クリーンエイド実施後に、専門の指導員(自然名人)を中心とするインストラクターにより、荒川の自然をご案内する「自然環境教室」を開催しています。

自然名人と提供可能なプログラム

荒川クリーンエイドでは、「知って学んで楽しんで」を
モットーに以下の各教室の提供を推進しています。



魚・投網教室の様子

3年目の24時間テレビ「荒川クリーンエイドアクション2010」

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、2008年より「24時間テレビ」チャリティー委員会との共催によるクリーンエイド活動を行っています。この活動は、「24時間テレビ」チャリティー委員会が地球環境保護支援の一環として行っているもので、2010年も日本テレビの新入社員が研修として参加し、一般公募のボランティアのみなさんと触れ合いながらゴミを拾いました。

この活動の様子は、日本テレビのニュースや情報番組の中などでも紹介され、身近な川でのゴミ拾いが地球環境の保全につながることを、広く知っていただく機会となりました。



- 【開催概要】
 実施日 ●2010年5月29(土) 9:00～12:30
 会場 ●荒川河川敷 小松川自然(江戸川区)
 参加人数 ●270名
 主催 ●「24時間テレビ」チャリティー委員会(日本テレビはじめ民間放送31社)
 特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
 協力 ●読売新聞 東京本社
 後援 ●国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所、江戸川区

クリーンエイドを活用した社員研修プログラム

荒川河川敷での実体験(ゴミ拾い・ゴミ調査)を盛り込んだ研修企画は、チームワーク力、環境保全意識、問題解決力、社会性の育成に効果があると好評をいただいています。

2010年12月、Panasonic NPOサポートファウンダの採択が決定し、更に充実した社員研修プログラムの企画開発に着手しました。

現場活動を補完する室内研修が社員の環境意識を確実に高めます。

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、2008年より企業の新入社員研修のサポートを本格化させました。しかしながら、当時は、事前研修や事後研修に関する位置づけが必ずしも明確ではありませんでした。そういった問題点を整理して、ゴミ問題や生物多様性を巡る問題が、自社のCSR方針のどこに位置づけられるのか、次世代企業市民としてどのようなマインドを育て、企業活動をはじめとした社会のフィールドに役立てていくのか、そういった問題解決力の向上に結び付けるよう、2010年度は、来春の新入社員研修企画に注力しています。

既に、複数社と、次年度の大きな研修企画に着手しています。皆さまもどうぞ、問題解決力の育成を目指す、研修企画については是非クリーンエイドをご活用ください。



荒川クリーンエイド・フォーラム 事務局長 糸岡 栄博

荒川クリーンエイドの仲間たち

荒川クリーンエイド2010は、市民団体、自治体、企業、学校など様々な団体のみなさんにより実施されました。各団体の概要や実施の感想などを紹介します。

1 NPO法人秩父の環境を考える会

「私は、皆勤だよ」と再会に笑顔であいさつが飛び交う。今年は肌寒い中、平均61歳の皆が、10時から11時半まで調査をした。成果は大きな透明袋で、燃えるゴミ17袋、燃えないゴミ8袋、ペットボトル3袋、さらに若干の粗大ゴミ。通算5年目となる今年のゴミ調査で特筆することは、参加者の数人が自主的にゴミ袋を点検しながら再分別し始めると、波紋のようにその輪が広がり、きれいに分別が完了したことだ。感動でした!

2 秩父子どもエコクラブ (秩父教育懇話会)

秩父子どもエコクラブは、自然(野山川)に遊び、自然にふれ、思い出として心に残し、自然の大切さを知ってもらえたらと活動しています。ゴミ調査は、タバコの吸い殻が多かったように思いました。また、バーベキューをした跡が汚く残っていました。自然を大切に楽しんでほしいですね。

3 NTT労組埼玉グループ 連絡協議会

情報労連埼玉県協議会と協働し、初めての清掃活動を実施しました。本活動は、全国の各NTT労組グループ連絡協議会が実施する環境統一行動日に合わせて実施しました。参加者は、一見綺麗に見える河川敷でも非常にたくさんのゴミが落ちていることに驚いており、調査しながら作業をすることで参加者一人一人に気づきをもたらす活動としても、とても有意義な内容でした。昼食時には、児童労働撲滅キャンペーン特設会場を設け児童労働の現状を伝える活動も展開しました。



参加団体 情報労連埼玉県協議会、電通共済協

4 NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会

1992年11月にNPO団体として発足。2009年6月1日付けで法人化。この荒川ゴミ拾いは今年で13回目、主な継続事業のひとつです。ゴミ拾いの対象エリアも8km以上に及び参加人員も約1500名と大規模になり、事業の進め方も工夫が必要となりました。お陰さまで熊谷市域の事業としてかなり認知され、定着しつつあります。

参加団体 熊谷市内外の50団体

5,6,7 鴻巣の環境を考える会

当初午前8時から実施予定でしたが、朝から大雨で、急ぎ午後2時から晴れたので、即実施した結果、参加者が非常に少なくなりました。しかし、ゴミを拾ってみて、荒川流域のクリーン作戦に参加できてよかったと思っています。



テレビの粗大ゴミが2個あり。水質調査場所の近くに捨ててありました。翌日、鴻巣市役所資源循環課の職員が片づけてくれました。コウノトリが羽ばたく日を待っています。

8 ふれあい市野川 クリーンアップ作戦協議会



平成16年度から続いている市野川の清掃活動は2回の雨天中止を除き今回で5回目の活動となりました。地域の住民等協議会の構成員を中心に、ボーイスカウト、中学生などに参加をいただきました。河川敷に捨てられるゴミは年々減少しているように見受けられますが、依然として川の中にはタイヤ・自転車などが捨てられていました。この清掃活動を通じて河川の持つ空間を大切にす気持ちる次の世代の子ども達に引き継いでいければと願っています。

参加団体 東松山市立東中学校、吉見町立吉見中学校ほか地元企業

9 NPO法人荒川流域ネットワーク

今年度で3年目になる自然再生事業地・中池の南西にある公有地でのクリーン活動を実施した。昨年に引き続き「彩の国いきが大学伊奈学園第17期校友会」の15名が共催団体として参加され取り組んだ。今年も業者が捨てたと思われるペンキ缶や波板や工場設備の解体廃棄物などのゴミが散乱していた。道沿いにはカラオケセットや生活用品が大きな袋にまとめられたまま投棄されていた。複数の業者により常習的に投棄されている現状を変えるための対策が急務だと思われる。



参加団体 NPO法人つがしまり山サポートクラブ、大谷川藤金地区里親の会、大谷川源流の会、めだか学舎、鶴ヶ島ロータリークラブ、鶴ヶ島の自然を守る会

10 NPO法人荒川の自然を守る会

企業の方の参加が多く助かりました。

参加団体 (株)丸電、東京海上日動システムズ

11,12,13 大谷川クリーン大作戦 実行委員会

五味ヶ谷、太田ヶ谷、藤金の3地区それぞれで、川の中と水路脇のゴミ清掃を行いました。水深が結構あり、水辺には雑草が生い茂っていて、水から引き上げたゴミを運ぶのもてこずりました。しかし、昨年はすごいゴミの量でしたが、今年は新しいゴミが少なく、昨年よりゴミが減り、ゴミの量は半分でした。下流の藤小裏のゴミも大幅に少なくなっており、一つの原因が、上流部の改善にあったのだと思われます。毎年継続すれば、清流が蘇る可能性が見えてきました。

参加団体 NPO法人つがしまり山サポートクラブ、大谷川藤金地区里親の会、大谷川源流の会、めだか学舎、鶴ヶ島の自然を守る会、NPO法人荒川流域ネットワーク、鶴ヶ島ロータリークラブ、学童保育室「つくしんぼクラブ」、エコ鶴市民の会



14,15 NTT東日本埼玉グループ

さいたま会場(秋ヶ瀬公園)、熊谷会場(荒川大橋南河川敷村岡公園運動公園周辺)、川越会場(入間川上戸公園周辺)のクリーンエイドに参加いたしました。各会場とも、一見きれいに感じましたが、いざゴミ拾いを始めると、空き缶やペットボトル、紙くず等細かなゴミが散見されました。また、茂みの中には、粗大ゴミもあり、不法投棄が止まない現状を目の当たりにしました。NTT東日本埼玉グループは、今後も環境保護活動に積極的に取り組んで参ります。

16 ダイエーグループ

3社グループは2005年より一緒に活動しています。当日は晴天に恵まれ、大人126名、子ども19名の合計145名が参加しました。秋ヶ瀬公園内の歩道周辺は一見ゴミがないように見えますが、草むらの中には多くのゴミが散乱していました。小一時間程の清掃活動でしたが軽トラック1台分の散乱ゴミや粗大ゴミを回収することができ、終了後は全員で清々しい気分でお弁当を食べました。今後も積極的にクリーン活動を行ってまいります。

参加団体 セディナグループ、丸紅グループ



18 黒目川クリーンエイド 実行委員会

今年も東久留米総合高校の生徒と市民団体との協力のもと実施した。今年も東久留米市で湧水保全フォーラムの全国大会が12月17日に開催となる為、クリーンエイドの後に東久留米全域の河川清掃も実施した。来年は少年野球チームと市民一斉清掃とクリーンエイドを統合した活動に向けていくことが実行委員会で検討された。

協力 東京都北多摩北部建設事務所、東久留米市
参加団体 都立東久留米総合高校、黒目川流域川づくり連絡会、東久留米ホテルを呼び戻す会、東久留米ほとけどじょうを守る会、八幡町川クラブ



19 (財)埼玉県生態系保護協会 戸田・蕨支部、戸田市河川課、荒川夢クラブ



観察会では子どもさんから大人までわかりやすくオギ、アシ、ススキの識別の仕方とか、セイヨウタンポポなどロゼット状で冬越している姿を見てもらい、植物のしたたかな生き方を説明したり、最後にくつきむしのオナモミのダーツで楽しみました。今回は戸田市の基準に従って細かいゴミ分別をしていただき、どんなゴミがどの位あるか一目でわかる様にいただいた事で、ゴミの種類、多さに驚かされていました。

参加団体 埼玉県損害保険代理業協会、旭が丘町会、法政大ポト部

21 荒川夢クラブ

川、水、自然や環境分野で楽しみながら、地域、子どもたちや学校に社会還元していこうと活動しています。水辺クリーンアップ、ゴミ調査、水質調査、動植物調査を行う一方、子ども達から成人市民向けに啓発のイベント、行事や講座を実施しています。また、総合学習、自然環境学習や国際理解教育等の分野で、小中学校で年間多数の出前授業を行っています。2010年で設立10周年を迎え、夢ある楽しい記念事業をやろうとワクワクドキドキです。

22,23 (財)埼玉県生態系保護協会 川口支部

かわぐちッ子荒川クラブと共に活動しています。フィールドの河原町原っぱは今年は倍の面積に広がりました。オオヨシキリの営巣を目指し、将来的にはチョウゲンボウを頂点とする生態系が作れるよ



うな自然地にしたいです。その為の自然維持活動が増えます。お力を貸して頂ける方がいらっしゃいましたらご連絡下さい。よろしくお願ひします。
参加団体 かわぐちッ子荒川クラブ

24 (株)ファミリーマート

荒川クリーンエイドに参加して、今年で4年目になります。毎年同じ場所で開催しておりますが、年々ゴミの量が少なくなっていると感じ、うれしく思います。これもグラウンドを使用している方の意識向上、地方自治体の方の努力のたまものではないでしょうか。これからも「ファミリーマートらしき活動」として、環境保全活動を続けていきたいと思ひます。



25,28 いたばし野鳥クラブ、板橋区緑と公園課



春に続いて、中国留学生20名が参加して下さいました。金沢くらぶでも、子どもたち6名に副校長さんたちも参加してくれました。
参加団体 板橋水辺を楽しむ会、金沢クラブ、センスオブアース

26,27 いたばし水辺を楽しむ会

参加団体 板橋ボランティアセンター



29 板橋グローブクラブ



板橋グローブクラブは、板橋区内の小・中学生が集まって環境に関する活動をしているクラブです。自然観察や環境実験、リサイクル工作、エコクッキング等を通じて環境について学んでいます。クリーンエイドでは、参加した子どもたちみんなが熱心にゴミ拾いをしました。あまりないように見えたのに、拾ってみるとたくさんのゴミがあって子どもたちは驚いていました。荒川の環境を考えるよい機会になりました。

30 都立桐ヶ丘高等学校

チャレンジスクールである本校では、毎年11月に地域交流の日として、3・4年次生が北区水辺の会ほかの指導のもと、実施しています。



生徒たちは集めたゴミ袋の多さを目にして、驚きと達成感を持ちます。広い荒川の風景の気持ちよさを感じ、自然を大切にすることを学校として期待しています。

31, 32 北区水辺の会

私達の会は、北区・子どもの水辺を運営している協議会の一団体で、毎月水辺清掃、水質調査、周辺の自然観察調査を行い、除草、池底清掃他利用者へのサポートサービスを行っております。春のクリーンエイドは4月17日予定でしたが雨天のため5月15日に実施、16日



は東京家政大学の環境学習のサポートがあり、16日にも続けて実施しました。秋は10月16日に実施しました。
《参加団体》神谷ライオンズ

34 北区

少しずつきれいになっていく河川敷に達成感

北区まちづくり部道路公園課 公園河川係 **山本 泰弘さん**

北区内には「北区・子どもの水辺」、「野球場」や、「サッカー場」等があり、荒川は、自然観察の場、スポーツの場、各種レクリエーションの場や防災訓練の場などとして多くの区民の皆様にご利用されています。そんな荒川をきれいにしようとして、荒川クリーンエイドの一環として、毎年区民のみなさんを中心にボランティアでの清掃活動を実施しています。

今年度は10月17日に、荒川岩淵関緑地にて活動を実施しました。区の広報、ホームページや周辺の学校への案内等を行い、近隣町会・自治会、市民団体、スポーツ団体、少年野球チームや個人等約30グループ、約350名の参加がありました。

参加された皆さんは積極的にヨシ原や草地に入りゴミ拾いをされていました。清掃活動を通じてお互いにコミュニケーションをとると同時に、少しずつきれいになっていく河川敷と集まったゴミの様子を見て、達成感を得られていたようです。また、小学生を対象に水質調査を行い、身近な自然である荒川の川の水について勉強し、環境に対して興味を持ってくれたようです。

33 北区水辺クラブ

北区・子どもの水辺協議会の一市民活動団体として、先輩にあたる「北区水辺の会」の教えを受けながら水辺の楽校をこの子どもの水辺を中心に開催し、よりよい荒川の自然の回復を実現するように活動しています。今回は1カ月順延しての11月中旬の実施、しかも少人数でもあり階段堤防上、荒川本流沿いに限定。潮の干満差が大きくなる時期なので本流の漂着ゴミの現状把握に参考になるデータが出たと思われました。

35, 36 ボーイスカウト東京連盟 城北地区 北第11団

クリーンエイド活動を通じて環境に関心を持ち、今後もスカウトたちと一緒に自分たちの住む地域からゴミを捨てない人が増えていくことを願って活動を続けていきたいと思っています。

《参加団体》ボーイスカウト東京連盟北10団、北1団



今回の活動で拾ったゴミは132袋、鉄くず、テレビや自転車といった粗大ゴミ等は9箇所に放置されていました。河川敷のゴミは、以前より少なくなってきたようですが、今後とも継続して清掃活動を続けていかなければならないと感じました。来年度以降もきれいな荒川を目指して、区民と共にこの活動を実施していきたいと考えています。

《参加団体》近隣町会、自治体、スポーツ団体等約30団体

37, 38 尾久の原愛好会

都立尾久の原公園を中心に植物の観察を行っています。今回の水質調査には会員の他にIT関連会社の有志が参加してくれました。子どもも楽しく検査、ゴミの集めができました。

《参加団体》シスコシステムズ合同会社



39, 46 荒川区教育委員会 社会体育課

例年、扇大橋下流の少年運動場は、荒川区軟式野球連盟(少年野球)と荒川区サッカー協会に参加していただいで実施しています。普段、利用しているグラウンドを中心にゴミ拾いを行っています。参加者の子どもたちは、タバコの吸い殻の多さにびっくりしていました。「ゴミを捨てない大人」になるよう、参加した子どもたちに期待したいです。



西新井橋野球場は荒川区軟式野球連盟の役員が中心となり参加いただき実施しました。
《参加団体》荒川区軟式野球連盟

40 NTT労働組合東京グループ連絡協議会、情報労連東京都協議会

今年で2回目の活動であったため、前段のクリーンエイドさんとの打ち合わせや準備はスムーズに出来たと思っています。しかし、本番が近づくにつれてうまくできるだろうか、けが人などは出ないだろうかと心配しましたが、何事もなく実施出来たのは何よりだったと思っています。



ゴミの量は、集計してみると昨年と遜色ない量でした。やはり、改めて継続した取り組みが重要であると実感しました。今年も本当にありがとうございました。

41 荒川区立赤土小学校

赤土小学校6年3組です。「持続可能な社会」に向けて学習を進めています。今の社会の問題点を見つけ、対策を考えてきました。人と自然のかかわりをキーワードとして、里山の生活の一部の体験学習(稲や無農薬野菜、ケナフを育てました)をしました。自分たちが



できることを考え、毎日登校時にゴミ拾いをしています。身近な環境に目を向け、荒川を知ろうということになりました。子どもたちにとって貴重な体験でした。

42 日本サムスン デザインチーム

昨年実施した北千住エリアとは全く違う種類のゴミがあり、エリアによる違いに驚きを感じました。河川敷にはあまりゴミも見られず、きれいな川だというイメージでしたが、一歩草むらに入り、水際まで行けば大量のゴミが蓄積しており、やりがいのある活動になりました。



捨てたゴミは自分たちの生活の中で出る種類のゴミがほとんどでしたので、清掃活動を通して、自分たちの生活を省みるいい機会にもなりました。

43 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)

今回は18人の参加人数でしたが、1時間程のゴミ収集活動で様々なゴミが14袋も集まり、あらためて荒川河川のゴミの多さに皆驚きました。自然環境を人間の生活が壊している現状を実感できました。参加者メンバーから、「どうしてここにこんなゴミが落ちているの



だろう? どうしてもっとリサイクルできないのか? どうして河川をもっときれいにできないのだろうか?」等と意見が交わされた事が今回の活動で最も有意義であったと確信いたします。

45 三井住友海上メットライフ 生命保険(株)



今回で2回目のクリーンエイド参加となりましたが、昨年より参加者も増え、参加者からは「草深い中にもあれだけのゴミがあったのは驚きだった」「子どもにごみ拾いを通じ環境保護について体験させることができる

貴重な機会でした。」等々の感想がありました。クリーンエイドの活動は、大人も子どもも環境について改めて考える非常にいい機会でもあり、今後も可能な限り、参加を継続していきたいと考えています。

47 台東区教育委員会青少年スポーツ課・台東区少年野球連盟・台東区少年サッカー連盟

日ごろ、当グラウンドを使用している方を代表して、台東区少年軟式野球連盟と台東区少年少女サッカー連盟の選手と指導者の皆様に、



クリーンエイドにご参加いただきました。当日はあいにくの雨天にも関わらず、積極的にゴミを拾っていただき、キャプテンとして非常に感謝しております。

50 足立区荒川ビジターセンター、 荒川区立第七峡田小学校6年生

荒川のクリーンエイド活動と足立区荒川ビジターセンターの荒川体験プログラムを組み合わせた形で実施しました。荒川の自然環境や歴史を知った上でゴミ問題に関心を持ってもらえるよう、スライドを見た後に河川敷でゴミ拾いを行いました。児童の皆さんから、ゴミの多さに驚く声のほか「なぜ土の中にゴミがあるんだろう」「昔は泳げたのに、どうしてこんなに汚れてしまったのかな」「クルマの実はどこから流れてきたのかな」という声があがっていました。



54 足立区立寺地小学校

土手に落ちているゴミの数はそれほど多くはありませんでしたが、限られた時間の中で子どもたちが拾うだけの量がありました。タバコの吸い殻や紙くずが多く捨てられており、どのグループも拾った数は多かったです。一点気になったのは、ゴミの袋が山積みになっていたことです。収集日が定期的に決められているのでしょうか？毎年、本校の取り組みに対して親切な対応をありがとうございます。



44,49 日興コーディアル証券(株)

清掃活動と自然環境教室で、 ゴミと生物多様性への気づき

日興コーディアル証券では、今秋から「Green Week」という環境保全・社会貢献活動強化期間を設けています。これは、社会貢献活動への実際の参加を通じて、環境保全への理解を深めながら、地域社会や参加者同士のコミュニケーションを図ることを目的とするものです。

今回の荒川クリーンエイドは、そのプログラムの一つという位置づけで、荒川クリーンエイド・フォーラムの方々のご協力のもと、千住新橋上流と西新井橋上流の2会場で同日開催しました。

活動現場は遠くから見ているのと違い、家庭ゴミやペットボトルなどが散乱していて、その量や種類の多さに驚かされました。個人ではなかなか難しい活動も一致団結して取り組めば、多くのゴミを回収することができ、また、ゴミを捨てないという一人一人の心がけが大切だと再認識することができました。

清掃活動後に開催された自然環境教室では、フィールドサイン(動物たちの生活痕)の説明を受けた後に清掃活動場所そのサインを探したり、草笛を習ったりと、子供はも

56 足立区荒川ビジターセンター

あいにくの曇り空にも関わらず、10名の方が集まってくれました。見た目には草がしげる青々とした土手も会場となる水際に近付くとビックリ! たくさんのゴミがヨシの根元に集まっていました。みんな「うわーたくさん」「近くにこないとわからないねー」など驚いた様子。30分という時間の中でぎっしりゴミを集めて、みんなでその多さを実感。実施後は綺麗になったヨシ原で草花遊び(ヨシ笛3種類)にも挑戦しました。

57 足立成和信用金庫

10月2日(土)に当金庫の社会貢献活動の一環として、総勢186名で参加しました。最近では甲殻類などの生き物も数多く見受けられ、環境が徐々に改善され、運動の成果が実を結んでいると実感します。今後も運動への参加を通じて環境改善に努めていきたいと思います。

60 東京城北ライオンズクラブ

足立区を拠点として1966年5月25日に結成以来45年間に亘りライオンズクラブの理念であります社会奉仕に精進しております。献血活動をはじめ国の内外を問わず災害援助各種ボランティアに取り組んでおります。しかし時代の変遷と共に奉仕活動は様変わりをして近年では打ち水作戦・荒川クリーン活動・植樹活動・水俣病支援協賛・中国モンゴル砂漠化防止の使用済切手収集等、地球温暖化環境問題を課題にあげ活動しております。



ちろん大人も童心に戻って楽しく過ごしました。特に子供と一緒に参加した社員からは、ゴミの問題ばかりでなく、生物多様性の問題、社会的な問題など子供にとって大変勉強になり、帰宅してからも子供とたくさん話ができたという好評でした。

このような地道な活動を続けてこられた荒川クリーンエイド・フォーラムの方々のご協力に感謝するとともに、いろいろな気づきにつながる活動を今後も続けていきたいと考えています。

61 あらかわエコフレンド

毎年秋には雨天中止が続き、やっと今回は実施することができました。隅田川の水質のCODは相変わらず、7~8で、生活排水による汚染が続いていることを確認しました。その後端光橋下のゴミを拾い、ペットボトルの多いこと、花火かすの多いことに参加者全員が憤慨していました。あらかわエコフレンドは荒川区民で環境に関心のある方を募集しております。どうぞご参加ください。

《参加団体》荒川区環境課

62 隅田川市民交流実行委員会

隅田川市民交流実行委員会と隅田川クリーンキャンペーン実行委員会が協働して推進したが、隅田川吾妻橋と桜橋間は、「東京スカイツリー」も良く見え、初めての参加者には観光船の行き交う様子などを含めて楽しみながらのゴミ拾いになったと思います。雨の中を、



傘をさしながらゴミ袋と金バサミを持ってのゴミ拾いは、缶やペットボトルなどすべってつかみにくかった。《参加団体》墨田・江東明るい社会づくりの会、ユービーエス・ジャパン(株)、主婦の友社

市民団体 自治体・行政 企業 学校 学校以外の子ども関係

53 学校法人 足立学園中学校

体育や部活動で使っている荒川に、拾いきれないほどのゴミが…

高橋 弘和 先生

2010年6月25日金曜日、足立学園中学校の生徒約480名が荒川河川敷において清掃活動を行いました。開会式では、クリーンエイド事務局のお話を、皆真剣な面持ちで聞いていました。開会式終了後、4人ひと組の班に金ばさみと調査カードが配布されました。それぞれが軍手をはめ、準備万端。荒川河川敷へ散らばって清掃活動スタートです。

荒川河川敷は、パッと見た限りでは目立ったゴミは落ちていませんでした。これでは生徒たちもやりがいがないだろうと思いました。しかし、そんな心配をよそに、生徒たちは次々とゴミを見つけていきます。草むらの中や陰になって見えないところ、ゴミは隠れるように落ちています。生徒たちは、ゴミを見つけることを楽しむように清掃活動をしていました。

「見えないところにたくさんゴミが捨ててある」



生徒たちは、荒川河川敷にゴミを捨てていく人たちに思いを馳せたのでしょうか。いつも自分たちが体育の授業や部活動で使っている場所に、拾いきれないほどのゴミが捨ててあることをどう思ったのでしょうか。

約50分間の清掃活動を終え、集まったゴミ袋は山のようでした。全員で力を合わせて頑張った結果です。汗だくになっている生徒たちの顔は、疲労と満足感の入り混じった表情でした。よくがんばりました。きっと荒川河川敷も喜んでますよ。

63,65 荒川を考える葛飾区民会議・ 葛飾区



堀切橋会場では、野球関係者のご尽力により、毎年少年野球チーム3団体と近隣小学校の児童が父兄と一緒に参加していただいている。特に小学生は、環境学習の一環として参加しており、水質検査に興味があり、パックテストをやってもらおうと共に、生き物のことなどをチームリーダーに尋ねていた。四ツ木橋会場では、学校の呼びかけに応じた中川中学校の生徒の参加が定着し、自然環境の良化に大きな力が発揮されている。若い力で多くのゴミを収集出来た。不法投棄やポイ捨てにより環境や動植物への生態の悪影響、暮らしの安全や安心にも大きな問題が投げかけられている。拾うより捨てない。拾い集めたゴミを見て感じました。

《参加団体》青戸中学校野球部、あらかわミズガキ隊、中川中学校

64 あらかわミズガキ隊

あらかわミズガキ隊は、水辺で楽しく安全に遊び、学べる子どもたちを育てよう!と葛飾区と共に作られた団体です。毎年、春と秋に中川中学校の生徒たちとゴミを拾い、生物調査を行っています。四ツ木橋付近も、たくさんのゴミがありますが、たくさんの生き物もいます。イシミカワという植物も観察でき、荒川の楽しさのひとつ、生き物との「ふれあい」もたくさんできました。やはり、荒川がかがやいて見えました!

《参加団体》葛飾区立中川中学校

66 DKWBS

荒川で水上スポーツ(ウェイクボード)を行っています。我々は常に荒川に入水して、直に肌で荒川の水を感じています。その分荒川に対しての思い入れは強く、クリーン活動に参加しています。今年で3回目の実施でしたが、年に一度ではなく年に二度はクリーン活動をして、少しでも荒川がきれいになればいいなあと考えるとともにポイ捨てや川にゴミを捨てることも止めることができるかを考えていきたいと思っています。



68 (株)藤商事

今回で5回目の荒川クリーンエイド活動に総勢63人(子ども2人)で参加いたしました。当日は、曇りつつない晴天に恵まれて、ゴミを拾う姿には、戸惑いもなく手なれた感じでゴミを分別していました。相変わらずゴミの量は多く、この活動を継続して参加する意義を感じました。

69 一般社団法人 東京損害保険代理業協会

前日の雨の影響で、多少足元が悪い状態でしたが、天気は快晴で、絶好のクリーンエイド日和でした。参加者数に関しては、昨年よりも10名以上も多く、当団体、及びその周辺にも認知度が高まってきたことを実感できるクリーンエイドでした。また、初参加の方も多く、とても初々しいクリーンエイドでもありました。



70 葛飾区立小松南小学校

キウイモを掘りその場で食べる経験は初めてだったので、子ども達は自然を味わっていた。自然と触れあう活動を行ったことでクリーンエイド活動の意義が深くなった。子どもたちに自然の大切さを意識させることが出来た。

71,72 (株)エックスワン



エックスワンは「環境保全」に企業をあげて取り組んでいます。具体的な取り組みとして、一つは地球を汚さないことを理念とした「安全・安心・高品質」な「ものづくり」です。もう一つは日本に限らない植樹活動や清掃活動等を行うことです。荒川クリーンエイドは荒川の自然を守るだけでなく、身近な環境の中で、環境破壊の実態を体感することを通じて、環境保全の重要性と方向性を再確認できる場として活用しています。

73 墨田区、ライオン(株)

墨田区では、毎年11月に河川敷のクリーンキャンペーンを実施していますが、他団体の皆様も積極的に活動されていることもあり、年々ゴミの量が減ってきている実感を持っています。この活動が大いに広まり、河川敷を利用する方一人ひとりが自覚を持った行動をすることが出来れば、更に綺麗な河川敷になると思います。《参加団体》FC小梅ドラゴンズ、木下川サッカークラブ、立ニドルフィンズ、墨田スターズ、FUGA東京レディース



75 一般社団法人 建築ビジョン

今回初めての実施でしたが、おかげ様で事故もなく、無事終了しました。ありがとうございます。本来は、建設作業に従事している方々の参加をメインとし、ゴミ拾いを通じてスクラップ&ビルドを繰り返す建設業を考えるきっかけにしてほしかったです。



76,91,96 ブルームバーグL.P.

ブルームバーグの社会貢献プログラムは、当社の企業文化の中核となっており、世界202か所で慈善事業や非営利団体を支援しています。日本では、多岐にわたるボランティアプログラムの一環として、2008年より、荒川クリーンエイドフォーラムとともに、荒川の清掃を年に3~4回行っております。今後も、清掃を通じて、荒川に住む生物や植物にとって住みやすい環境を整え、自然を守る活動を続けてまいります。



78 松山油脂(株)

当社は墨田区にある会社で、地域貢献活動の一環として荒川クリーンエイドに参加しています。今年で3年目の参加となりますが、従業員の希望から初めてご家族の方に5名参加していただきました。そのうちの4名が小学生以下の子どもで、親子でボランティア活動ができたことを喜んでくれました。来年もより多くのご家族に参加していただき、世代を超えて活動の輪が広がっていくことを期待しています。



79 ローソングループ

今回で16回目の活動となりました。当日は110人(大人79人、子ども31人)が活動に参加しました(今回よりローソングループ6社の社員と家族が参加)。約1時間の活動で散乱ゴミ62袋と粗大ゴミ28点を回収しました。清掃活動後は、荒川や環境問題に関するクイズ大会や水質調査を行い、参加者に楽しみながら学んでもらいました。《参加団体》(株)ローソンエンターメディア、(株)九九プラス、(株)クロスオーラカンメディア、(株)ローソンエイティエム、ネットワークス、(株)ベストプラクティス



80,83 下平井水辺の楽校

荒川の水辺や干潟、河川敷を利用した活動、荒川の自然を、遊びを通して体験し、環境について知る。昆虫採集、魚とり、ヨシ笛づくり、秋の七草探し、Eポート乗り、水鉄砲等、親子で楽しく活動。そして、自分たちの遊び場は気持ちよく使用するためにいつもゴミ拾い。いつの間にかゴミ持ち帰りという話をしなくてもすむようになりました。《参加団体》ユービーエス・ジャパン(株)



81,85 江戸川区立小松川小学校

江戸川区立小松川小学校の4年生です。総合的な学習の時間に、地域学習、環境学習の一環として、荒川の下平井水辺の楽校周辺で環境について調べ学習、ゴミ調べ、草花遊びなどの学習を進めています。荒川で見られるカニや魚などに驚き、関心をもつことができました。

82,86 江戸川区立平井東小学校

荒川河川敷まで徒歩5分という立地条件を生かして、7年前から荒川について学ぶ「荒川学習」に取り組んでいます。今年度は、1年生から6年生まで、全ての学年が参加しました。今年で2年目になる5年生は、河川敷の清掃、水質調査の体験と、ゴミを出さない町づくりのワークショップに参加。僅か1時間で26袋ものゴミ袋が集まった事に驚き、ゴミを出さない町を必ず作ると言いながら、未来の街づくりに意欲的に参加しました。



84 江戸川区立平井小学校(4年1組)

江戸川区立平井小学校は「毎年荒川探検隊」として総合学習の活動をしています。今までは、川辺の動植物の観察や、カニ、魚とり、貝探し等を行いました。最後の活動として、お世話になった荒川をきれいにしようということで、クリーンエイドに参加しました。「荒川クリーン大作戦」を10月13日に行いました。普段きれに見える荒川も、よく見て周ると、ペットボトル、ビニール袋など、土に戻らないゴミが多くて驚きました。



88 小松川信用金庫

今回初めての開催であり、金庫役職員74名、子ども1名合計75名が参加しました。ペットボトル・可燃・不燃ゴミ95袋の他に、粗大ゴミが数点回収できました。ペットボトルやビニール袋がかなりたくさん捨てられており、ゴミを拾うことが大事だと思いましたが、拾う前に出さないとがもっと大事だと思えました。今後も活動の中で、環境への意識を深めていきたいと思っています。



89 江戸川・生活者ネットワーク、ガールスカウト東京215団、三井ボランティアネットワーク事業団

今回は、ガールスカウト東京215団と三井ボランティアネットワーク事業団との3団体での取り組みでした。大人も子どもも頑張って散乱ゴミを拾っている姿があふれていました。その甲斐あって水際部分にあったゴミがきれいになりました。豚汁とおにぎりの昼食をはさんで、午後は外来種の雑草を大ばさみで切り取ることも行いました。この作業は子どもたちに好評でした。



90 明誠監査法人

程よい気温と日差しで、活動するにはとても良い天気でした。集合した時には、みんな遠足気分であらうでしたが、ゴミ拾いをはじめると、ゴミの量や種類に驚愕致しました。すぐにゴミ袋一杯になるし、こんなものを川に捨てる人がいるのかと驚くほどの粗大ゴミまであり、人のモラルの大切さを痛感した一日となりました。今日感じた気持ちを忘れず、日常でも自然を汚さないために何が出来たのかを考え行動するきっかけとなるボランティアになりました。



92 「24時間テレビ」チャリティー委員会

「24時間テレビ」チャリティー委員会はACFとの共催で2010年5月29日(土)、荒川河川敷において「荒川クリーンエイドアクション2010」を実施しました。270人が参加、45ℓゴミ袋251袋分のゴミを拾いました。一人一人が自らゴミを拾い、その重さを知ることにより「ゴミを捨てない」ことの大切さを学びました。清掃後の環境教室では、生き物と触れ合うことで、清掃と自然回復のつながりを感じました。



94 ジョンソンコントロールズ(株)

ジョンソンコントロールズでは、Blue Sky Involveプログラムとして環境保護(資源の効率的活用)、従業員のリーダー育成を目的に地域社会と環境保護にフォーカスしたボランティア活動を支援し、各種イベントに参加しています。社内の有志とその家族が集まり、初めて荒川クリーンエイドに参加しました。大量のゴミには辟易しましたが、ゴミ拾いとゴミの調査、外来植物の草刈りを有意義に行うことができました。



95,104 島村運輸倉庫(株)

今回も私たちの呼びかけのもと社員以外にもたくさんの団体の方々にお集まりいただきました。今回は草刈り班とゴミ拾い班にわかれて作業を行いました。一見するときれに見えるところもヨシを刈り取ると根元に残ったゴミがたくさん有り今回はその部分もしっかりと拾うことができました。作業を終えての参加者の感想は、やはりゴミの多さへの驚きと不法投棄のモラルの低さへの嘆きが聞こえました。今後も継続してクリーンエイドに参加してこの活動を広めていきたいと思えます。



《参加団体》吉田会計事務所、小岩四中PTA、建築ビジョン

市民団体 自治体・行政 企業 学校 学校以外の子ども関係

97 シティグループ

シティグループでは毎年全世界同時ボランティア活動を行っており、本年は世界で45000名、日本では1300名以上が参加しました。この活動は今年で5回目ですが、荒川クリーンエイドには第1回より参加させていただいており、本年5回目の参加となりました。参加者の感想も好評で、今後も引き続き少しでもお役に立ちたいと存じます。ありがとうございました。



98 日本クラフトフーズ(株)

クラフトフーズが全世界で実施しているボランティア週間の一環として、約70名の社員が荒川クリーンエイドの活動を行いました。ゴミ拾いのみではなく、外来種の草刈り活動も行うことで、環境問題についての知識を深めることができました。参加者からは「また参加したい」「チームワークが築けた」などのコメントがあり、社会貢献をしながら充実した時間を過ごせるよい機会となりました。



99 江戸川区立大杉小学校

私たちは江戸川区立大杉小学校3・4年生です。総合的な学習の時間で荒川を探検しています。四季を通して年4回の活動をしています。今回は秋の巻。明け方までの雨でぬかるんでいましたが、長靴を履いて元気に活動しました。鳥グループのある子は、「なぜ最近中土手で鳥を見なくなったのか」という疑問をもち、その実態を調べました。クリーンエイドに秋さがしと、他にも盛りだくさんだった今回も、自然で感じ、自然に学びました。



100 中土手に自然を戻す市民の会

中土手に自然を戻す市民の会は、毎月自然観察会をはじめ草刈りや周辺のゴミ拾いを行っています。今回はオリエンコーポレーションの若い人たちも参加、楽しくクリーンエイドを行いました。クリーンエイド後の豚汁の味は格別でした。

《参加団体》オリエンコーポレーション労組



101 ふるさと清掃運動会実行委員会、NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム

著名人からなる「富士山大好き!百人の会」が、「富士山から日本を変える」を合言葉にふるさとの山や川、海、湖沼、町など身近なところから環境アクションを起こそう!と全国の市民、学生、企業に呼びかけて4年目の秋となりました。予定日の10月30日は台風直撃のため11月6日に順延、参加者は当初の見込み数の約半数400人となりましたが、荒川河岸の葦に入り込んでいる様々なゴミを回収、東芝ソリューション(株)は新入社員を大量に送り込んで社員教育の場とするなど楽しい運動会となりました。



《参加団体》東芝ソリューション(株)、三菱重工業(株)、富士山クラブ、毎日新聞他

102 東海東京証券(株)

東海東京フィナンシャル・グループでは新入社員研修の一環として、今回初めて荒川クリーンエイドに参加しました。今年の新入社員研修は「学習と貢献」をメインテーマにして実施しておりますが、荒川クリーンエイドに参加したことにより肌で感じることはなかったかと思えます。



105 江戸川ケーブルテレビ(株) (J:COM江戸川)

J:COM江戸川(江戸川ケーブルテレビ(株))の全国一斉地帯清掃活動として、CLEAN UP OUR TOWNを毎年実施しております。今年は荒川クリーンエイドと合わせ、9月5日に活動を行いました。J:COMでは地域社会に貢献する「ニコロジー活動」を推進し、人へ町へ環境へ「ニコニコ」をお届けしたいと考えています。



《参加団体》多数

106 江戸川区土木部計画課、NPO法人えどがわエコセンター、いきごみクラブ

個人、団体参加と様々なグループに分かれ作業を行った。皆さん楽しみにしながらゴミ拾いを行っている様子であった。細かいプラスチックのゴミが目立ち拾いづらかったが、可能な限り回収した。



《参加団体》松尾建設

107,108 葛西東渚・鳥類園友の会、日本野鳥の会東京、都漁連内湾漁協、NPO法人えどがわエコセンター

葛西東渚・鳥類園友の会は、葛西臨海公園鳥類園周辺を拠点に環境保全の活動を続け、東なぎさの清掃は11年目で15回目を実施、野鳥の他、植物、昆虫の親子観察会などを続けている。現在会員90名。

《参加団体》東京コミュニケーションアートスクール



117 江東区土木部水辺と緑の課

早朝はまだ、雨が降ってなかったため、決行と決めたが、作業開始前からは雨になってしまった。雨での開催となってしまったため一般の参加者は少なかった。参加者からは「荒川があそこまで汚れていることに大変衝撃を受けた」「荒川の水質や自然環境を知ることができ大変勉強になった」「川沿いにゴミが多い」「上流から流れてくるゴミの対策が必要」「環境保全・社会貢献の意識が高められた」等の意見があった。

《参加団体》佐川急便(株)



109-116 西なぎさ発:東京里海エイド

市民活動として芽生え…

橋爪 慶介さん

2010年度より葛西海浜公園:西なぎさを拠点として4月から11月までの毎月1回、漂着ゴミのクリーンアップを市民と共に「西なぎさ発:東京里海エイド」の活動をはじめましたが、この秋に事故もなく無事に合計9回(臨時を含む)が終了致しました。最初は雨天順延の番狂わせとなり、3名ではじめた活動でしたが、最終的には延べ143名の方々に参加していただいた活動となりました。また子ども達の参加も19名ほどありました。参加者のみなさん、またご支援くださったみなさん、本当にありがとうございました。

意外と知られていない葛西海浜公園:西なぎさの自然と漂着ゴミの問題を実感していただき、参加者の方々から次の様な感想コメントを載せております。

『いつも遊びに来ている公園ですが、こんなにたくさんの生き物や鳥がいるなんて知らなくて驚きました。』『清掃後の達成感は何ともいえませんでした。』『ゴミの分析をやるという手法はとて面白いと思う。』『爽やかな場所で気持ちよくボランティアができました。』

118 (株)りそな銀行

一昨年、荒川流域の支店有志を募り、「24時間テレビ」主催の活動に参加したことを端緒に、今年は3回目の参加となりました。今回は江東区内への本社移転直後ということもあり、700人余のボランティアが集まり、梅雨の合間の一日、気持ちいい汗をかくことが出来ました。今後も地元での社会貢献活動を継続して参りたいと考えております。

《参加団体》江東エコリーダーの会



119,120 江東エコリーダーの会

干潟のクリーンエイドも2~3回/年やり、自然観察の参加者も増え、毎回の親子参加もありました。干潟の潮の引きが少なく、また台風の大雨のあとだったせいかゴミの量が少なかったようでした。



等々…他にも紹介したい内容がたくさんありました。

近年「地球環境」を無視することはできない時代で、様々な環境活動が盛んですが、環境保全の基本的な考え方としては、自身の住む街を軸足にしてコツコツと日常的かつ持続的に行うことが王道であると感じています。まさに荒川C.Aの活動はそのコンセプトの線上にあり、たいへん共感しています。今後も「西なぎさ発:東京里海エイド」の活動を続け、共感の輪を広げていきたいと考えています。

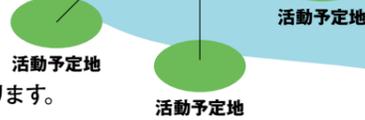
《参加団体》佐川急便(株)本社東京本部、リコーテクノシステムズ

生物多様性の保全

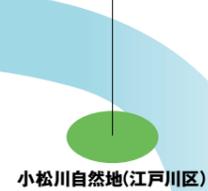
私たちは、ゴミを拾うだけでなく、荒川の自然やそこに棲む生物種が多様な関係を維持できるよう保全・維持管理する活動を展開しています。

「生物多様性」とは、あらゆる生物種の多さと、それらによって成り立っている生態系の豊かさやバランスが保たれている状態等を言います。一方、荒川流域における自然事情には、国内では大変珍しいヒヌマイトトンボやトビハゼといった絶滅危惧種が棲める環境を維持していくという課題があります。荒川クリーンエイド・フォーラムでは、現存する多様な生物を保全する活動として、次の二つのプロジェクトを立ち上げました。

1. 絶滅危惧種の復活プロジェクト



2. 里川創造プロジェクト



1. 絶滅危惧種の復活プロジェクト

荒川に生息するヒヌマイトトンボの保全・復活を目指し、絶滅危惧種が棲める環境を創出することで種間の多様性を回復させることを目的に、2010年10月より活動をスタートしました。

計画の特徴

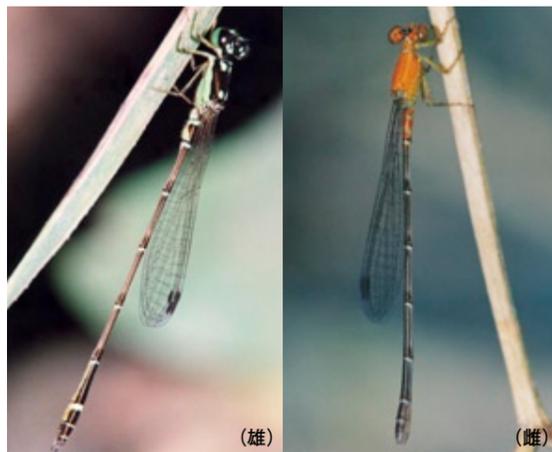
- 河川管理を巡る生物多様性事情においては多自然型川づくりなどの取り組みが河川行政によって行われてきましたが、未だ従前の豊かな生態系に配慮したものとはなっていません。
- その結果、荒川下流域では、ヒヌマイトトンボをはじめとする希少生物が姿を消していった事実があります。
- 本プロジェクトは希少生物が棲める環境を創出することから荒川流域の従前の河川環境を考えることができます。

複数年計画での保全プログラム

この活動は、三井物産環境基金から助成を受け、複数年計画で行います。荒川クリーンエイド・フォーラムではこのヒヌマイトトンボの保全・復活を促すべく、企業、個人と連携した生物多様性保全型アダプト制度の導入を3年計画で立案しました。

2010年は、学識経験者へのヒアリングや河川管理者との調整、協働実施を促す団体への提案などに着手しました。

2011年は本活動を大きく始動します。



ヒヌマイトトンボ：トンボ目イトトンボ科の1種で日本固有種。体長約30mm。1971年に発見された日本で唯一の半鹹水(はんかんすい)特産のイトトンボ。生息が局地的で、生息地は常に汚染と埋め立ての脅威下にあり、すでに数カ所の地点では絶滅している。

(写真：野村圭祐(故人))

ヒヌマイトトンボを巡る保全活動

環境省のレッドデータブックで絶滅危惧I類に指定されている本種の生息は、宮城県から長崎県までの16都道府県で記録されてきました。また、台湾で1カ所、香港で2カ所記録されています。生息地のほとんどは、海の近くで、海水が入り込む汽水に成立したヨシ群落です。このような場所の多くは、水質汚染などにより汚く、ヘドロなどがたまって臭く、河川改修や埋め立てなどの開発が行なわれやすい所でした。その結果、本種の生息場所は減少の一途をたどってきたようです。

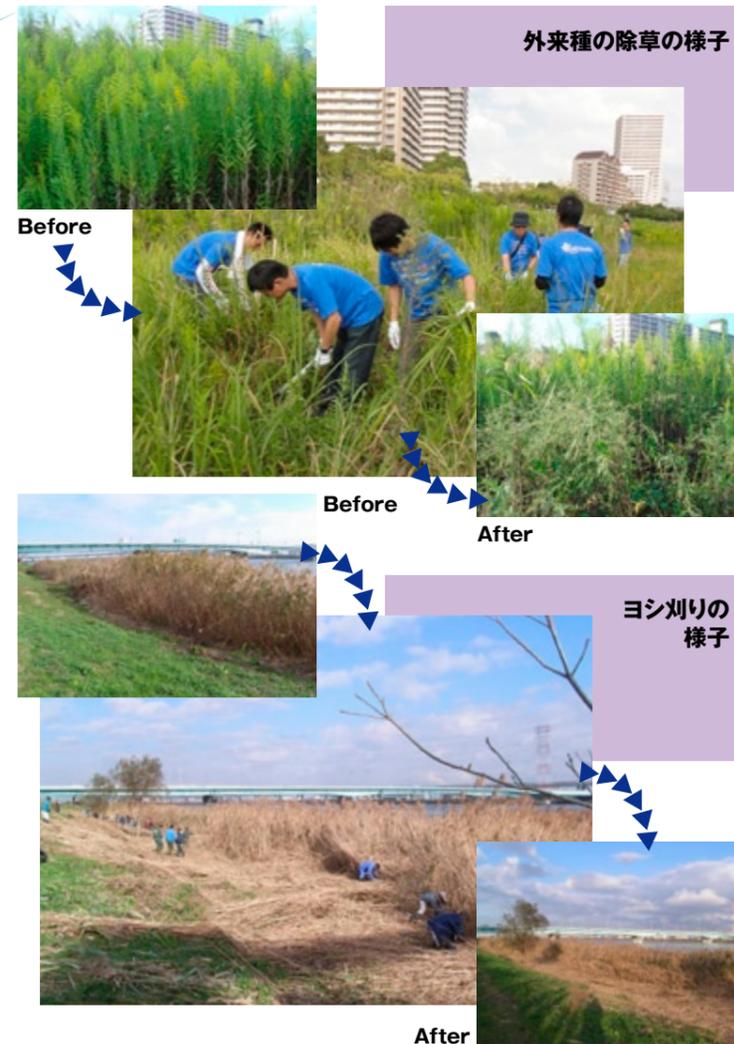
昆虫類にとって塩水は大敵で、太平洋のような大きな海に住んでいる昆虫の種類数は、10本の指でも余ります。そして、汽水も、昆虫類にとっては生息しにくい環境です。そんなところに住んでいるヒヌマイトトンボは、ふつう、個体数が少なく、観察しにくいので、生息地の記載以外の情報はほとんどありませんでした。そのため、保全活動や観察会を行なうためには、具体的なデータ取りを、地道に一からコツコツと始めねばならなかったのです。

私が代表を務める自然史教育談話会は、三重県において、ヒヌマイトトンボの生活史や個体群動態、生息地となるヨシ群落の調査研究を行なってきました。

これらの結果を基礎として、三重県は新たなヒヌマイトトンボの生息地の設計を行ない建設しました。私たちは、これを評価するための維持管理方法やモニタリング方法も三重県に提言しています。また、同時に、県の担当職員等に対して、生態学の基礎知識等を理解して頂くため「環境セミナー」を、さらに一般市民等を対象とした観察会や講演会を開催し、普及啓発活動を推進してきました。

私どもの研究や活動のノウハウが、貴団体による荒川での活動の参考となれば幸いです。

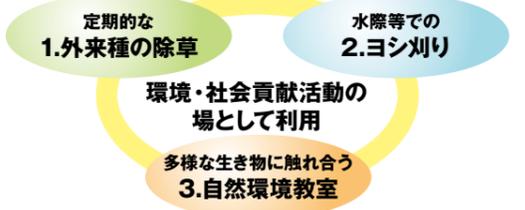
筑波大学大学院生命環境科学研究科教授 渡辺 亨



2. 里川創造プロジェクト

環境教育や社会貢献活動等の場として有効利用しながら、都市の自然の在り方を考えるために2010年9月より開始しました。里川の思想を重んじ、利用を通じて健全な自然環境をモニタリング(調査)、創造していくことが目的です。

小松川自然地(都営新宿線東大島駅徒歩約5分)を活動拠点として、外来種やヨシ原の除草、生き物の理解を図る自然環境教室を実施します。



2010年は、荒川下流河川事務所より業務を受け、学校、市民団体、民間企業などと連携し、計7回の活動を実施しました。活動への参加者は、延べ304名になりました。

今後は、江戸川区など行政機関と連携し、アダプト制度の本格導入を視野に入れながら、継続的な活動を展開する仕組みを整備する予定です。

2010年 小松川自然地プログラム一覧

一般の参加を募った活動

1. 小松川自然地の生き物観察～秋の昆虫をみつけよう！

- 1) 日時：10月23(土) 13:00～14:30
- 2) 内容：秋の鳴く虫を観察するとともに、河川敷での植生との関わりを探索しました。
- 3) 参加者：大人10名、子ども12名

2. 荒川で草刈り体験 ～外来植物大そうじ大作戦！～

- 1) 日時：11月7(日) 13:00～14:30
- 2) 内容：セイタカアワダチソウなどの外来植物の除草に加え、投網を使った魚の学習
- 3) 参加者：大人22名、子ども12名

3. 荒川で草刈り体験！～カマやハサミで草刈隊～

- 1) 日時：11月20(土) 12:50～14:30
- 2) 内容：主にヨシ原の除草を行い、翌年、元気な新芽を出すよう促しました。
- 3) 参加者：大人37名

学校や民間企業が独自に行った活動

1. 9/21(火)江戸川区立小松川小学校 (児童67人、教職員2名、保護者6名が参加)
2. 10/7(木)日本クラフトフーズ株式会社 (社員66名が参加)
3. 10/8(金)明誠監査法人 (社員22名が参加)
4. 10/23(土)ジョンソンコントロールズ株式会社 (社員45名が参加)

小松川自然地での自然回復工事の成功

干潮時には広い干潟の現れる小松川自然地の一帯の自然回復について、自然懇談会などでの市民の要望を受けて荒川下流河川事務所がコンクリート護岸を取り除き、ヨシ原を中心とする自然護岸とそれを守る木工沈床の離岸堤を造成しました。それによって様々なカニやトビハゼなどが戻り生物多様性の増進に貢献してきました。以後、これを手本にして荒川下流部の各地で同様な護岸が作られています。

自然地の管理に市民の視点から取り組む

小松川自然地において、荒川クリーンエイド・フォーラムとして今年のはじめて外来種の除草やヨシ刈りといった保全に関わる活動に取り組みました。市民参加の活動を通して、特定外来種および侵略的外来種を除草し健全なヨシ原を保全します。ここでの試行錯誤を重ねながら、市民と行政、企業等の協働による自然管理の実施に向けて、当フォーラムが重要な役割を担っていければと思います。



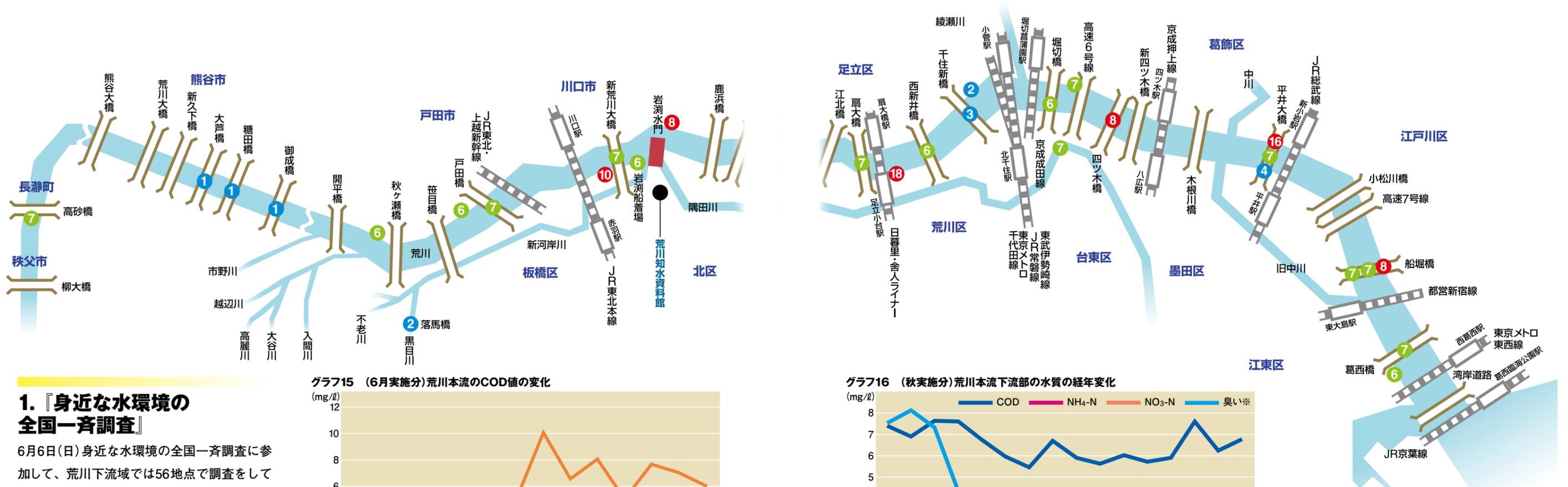
荒川クリーンエイド・フォーラム 代表理事 佐藤 正兵

水質調査

6月に行われる『身近な水環境の全国一斉調査』と秋のクリーンエイド時に荒川の本流や支流で水質調査を行い、結果を公表しています。市民の力で川の健全性を調べ、身近な川の水質への関心を高めています。

秋の水質調査COD(化学的酸素要求量)

- COD 0~4 mg/l
- COD 5~7 mg/l
- COD 8~ mg/l



1. 『身近な水環境の全国一斉調査』

6月6日(日)身近な水環境の全国一斉調査に参加して、荒川下流域では56地点で調査をしていただきました。上・中流域で荒川流域ネットワークが取りまとめたデータをお借りして、秩父から葛西までの荒川本流の水質を並べて比較してみました(グラフ15)。

上流の秩父市大滝の中津川との合流点のCODは1mg/lで、長瀬から熊谷を経て2~3mg/lになり、浦和の秋ヶ瀬堰の上で4mg/lになっています。秋ヶ瀬堰の下流は透明度も下がりCODは5~10mg/l前後の比較的汚れた水となっていますが、これは未処理水の多い中小河川からの水が大量に流入することによるものです。

下流域の水質は、秋ヶ瀬堰を流下する水量に大きく左右され、埼玉県朝霞浄水場で取水されてから流下する水(最低放流量)は毎秒約3m³で、これは下流域の水の約3分の1程度しかありません。

グラフ15 (6月実施分)荒川本流のCOD値の変化



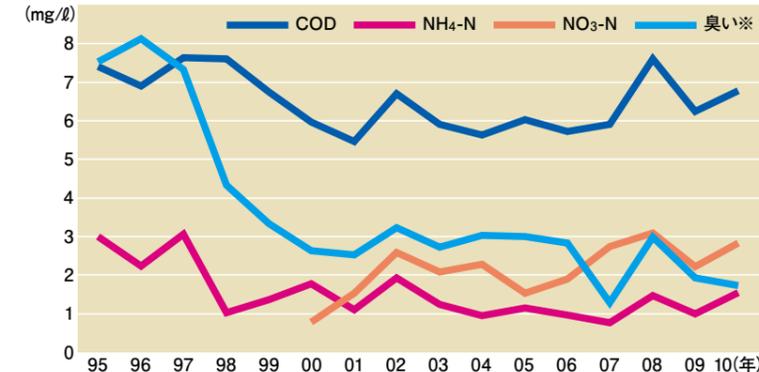
身近な水環境の全国一斉調査とは

河川をはじめとする身近な水環境に対する市民の意識の高まりを受け、毎年全国各地の5000カ所以上で、数多くの市民団体等により水質調査が行われるようになりました。2004年から始まり、2010年で7年目になります。

2. 秋のクリーンエイド時の水質調査

荒川本川下流域の水質の経年変化を示すグラフで、COD値は6mg/l前後で推移し、あまり変化が見られませんが、調査した人が何らから臭いと感じた割合は2000年ころから下がり、今年は2割を切っています。CODの値には現

グラフ16 (秋実施分)荒川本流下流部の水質の経年変化



注: 1) 荒川下流部の戸田橋、新荒川大橋、扇大橋、千住新橋、四ツ木橋、平井大橋、船堀橋、葛西橋の平均値。
2) COD値については、10を超える値を平均から除いた。
3) NO₃-N(硝酸態窒素)については、2000年から測定を開始したので、それ以前のデータはない。
4) 臭い※: 下流域全会場で何かしら否定的なおいを感じた会場の割合(全体10に対する割合)

【水質調査項目】

- ①COD(化学的酸素要求量) 水中の有機物の量を示す(値に比例して汚染度が高い)
- ②NH₄-N(アンモニア態窒素) 尿尿などによる汚染量を示す
- ③NO₃-N(硝酸態窒素) 水中の硝酸イオンと硝酸塩に含まれている窒素の量を示す。(血液の酸素運搬能力を奪うなど、生体への健康被害が懸念される)
- ④水のおい

れない水質の変化があると考えられます(グラフ16)。

そこで生物指標が大きなヒントを与えてくれます。昨年始めて観察されたクルマサヨリが今年には頻繁に観察されるようになり、東京



湾と荒川下流部に確実によみがえったことを示しています。クルマサヨリは、1960年代の高度経済成長期の水質汚濁によって東京湾から消えていったものですが、近年浦安などでも釣れるようになり、今年は荒川にもたくさん上ってきたようです。また、下流域ではほとんど見られなかったアカテガニが、ここ2、3年はごく普通に見られるようになっています。COD値があまり変化しない一方、水の臭いなくなり、生物が多種戻ってきた背景には、家庭や工場から大量に排出されている合成洗剤の原料が石油系から(分解されやすい)天然油脂系に変わったことにより、微生物を含む食物連鎖生態系が正常になったことが大きく関係していると考えられます。

流域連携

川の水環境保全は「流域」の視点で取り組むことが重要です。当会では、源流へのエコツアー、中流域でのシンポジウムを通じて流域連携を図っています。

荒川源流エコツアー

9月11～12日荒川源流エコツアーを実施しました。11日は、NPO法人もりと水の源流文化塾代表山中進さんの案内で、普通ではなかなか見ることのできないニッチツ鉱山(現在は良質の石灰岩を産出している)を見学し、午後は原生林の散策とかつて材木を運び出すために使われた鉄砲堰の実演を見学しました。夜は、森林科学館研修室で上下流交流。秩父市環境立市推進課大野課長と、ふるさと東京を考える実行委員会の田中事務局長から、源流、河口のそれぞれの立場から問題提起をし、討論しました。

12日は、民宿中津屋でこんにやく作りを体験し、雁坂峠に近いドライブイン「雁坂茶屋」で鹿肉ロースト付きの昼食と、千島茂元村長の「お話」、午後は「秩父往還」の栃本関所跡の見学と、最後に二瀬ダムの見学ではダムのはきだし口までエレベータで降りて説明を受けました。参加者15名(小中学生2名)とスタッフ3名、天気にも恵まれ、2日間いっぱい「荒川源流」の自然と歴史を楽しみました。



見学のコース・埼玉秩父市大場町の森林公園には、かつて採掘された石灰岩が崩壊し、崩壊した石灰岩の塊が川に流れ込み、川の水質を悪化させています。今、崩壊した石灰岩の塊を取り除き、良質の石灰岩を産出させるための事業が進められています。この事業の進捗状況について考えるエコツアーです。自然豊かな川を守るために、流域の保全を一緒に考えてみましょう。

参加費 12,000円(中学生以下10,000円)
 申し込み先 埼玉県環境科学国際センター
 〒352-0033 さいたま市中央区南5丁目1-1
 TEL: 03-3654-7240 FAX: 03-3654-7256
 E-mail: nara@chiesaki.jp HP: http://www.chiesaki.jp/

募集チラシ



9/11ニッチツ鉱山見学



9/11鉄砲堰実演



9/12雁坂茶屋での記念撮影



9/12二瀬ダム見学



鹿肉ロースト付きの昼食

荒川流域再生プロジェクトの協働

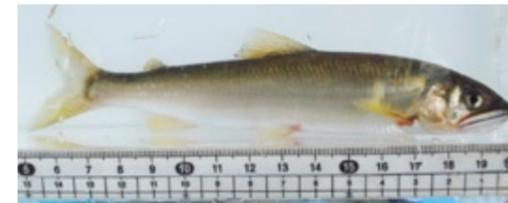
2000年より、流域市民が連携して、荒川の問題を考える「荒川流域水環境シンポジウム」を開催してきました。この活動は、2008年に「荒川流域再生プロジェクト」に引き継がれ、当会もその一員として取り組んでいます。

第14回荒川流域再生シンポジウム 流域の自然再生で温暖化防止

埼玉県嵐山町 国立女性教育会館を主会場に「ミズガキ交流会」「荒川流域再生シンポジウム」が8月6～7日に開催されました。



8/6アユの遡上調査



調査で獲れたアユ



8/7第14回荒川流域再生シンポジウム

6日の「ミズガキ交流会」では、荒川の支流である都幾川で投網によるアユの遡上調査を行いました。83人が集まり、数人が一列になって追い込む投網漁への参加・見学。お昼にはアユの塩焼きを食べ、午後は、投網の講習や水遊びを行いました。

7日は「荒川流域再生シンポジウム」として「地球温暖化の影響と対策」というテーマで増富祐司氏(埼玉県環境科学国際センター)の講演。地球温暖化の現状と予想される影響について非常に厳しい状況が報告され、荒川流域としてどのような対策が必要か話し合われました。温暖化によって降雪量が減少し、鹿の越冬数が増えたことが鹿の食害の増加につながっているが、鹿の増殖を防止する施策を講ずることによって、山林の荒廃を防ぎ、温暖化による影響を最小限に食い止めることができる、つまり、温暖化による生物多様性の崩壊を食い止めるため、荒川流域の自然再生を進めることが重要であることが確認されました。

埼玉県における河川管理～多自然川づくりへの転換

埼玉県では「川の国・埼玉」と称して市民、行政が一体となって河川への取り組みを進めています。その象徴とも言える施策が県民の応募による「水辺再生100プラン」です。県内100カ所の河川・農業用水を選定し、NPO、市民団体、町会、市民や行政等の協働のもとに今後4年間で再生すべく川づくりを推進しています。

その川づくりも「多自然型川づくり」から「多自然川づくり」へ転換しています。河川全体の自然の営みを視野に入れ、地

域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生育・繁殖環境および多様な河川景観を保全・創出しようと埼玉県の河川管理が動き出しています。

「水辺再生100プラン」に先行する「多自然川づくり」の例として、黒目川、市野川や新河岸川等があげられます。治水優先の河川改修工事に歯止めをかけ、埼玉県の住民参加川づくりへの先駆けとなったのが朝霞市の黒目川、河川見学会での意

見交換を積み重ねて河川改修工事のプランニングに活用した比企丘陵の市野川、かつての江戸期の舟運や広域景観資源を生かした川づくりに取り組んだ川越市の新河岸川などがあります。埼玉県の川づくりは新たな扉を開こうとしています。



荒川クリーンエイド・フォーラム 副代表理事 林美恵子

環境学習支援

次世代を担う子どもたちが自然と触れ合い、自然環境を守る大人に成長するよう、親子向け自然観察会やエコツアー、小中学校の環境学習支援などを通して、河川を活用した環境学習の普及を進めています。

小中学校の環境学習支援

身近な河川を活用した環境学習がさらに広がるよう、小中学校等への支援を行っています。

- 学習に適した自然地、安全管理、学習プログラム等の情報を提供
- モデル校との連携による「河川を活用した環境学習プログラム」の開発

2010年は以下の学習の開発、紹介・支援を行いました。

クリーンエイドを活用したゴミの学習プログラム「荒川クリーンエイドのしおり」

活用した事前学習

クリーンエイドの意義や手順、安全等について、子どもたち自身が事前に学ぶことができます。



ゴミや汚れを出さない街づくりワークショップ

ゴミや汚れを出さない、生き物と共生する街を実現するには…工場や公園等を配置してマップを完成させます。



※プロジェクトWETのプログラムをアレンジしました。

課題学習

水生生物、昆虫、植物、ゴミ等のテーマで子どもたちが自ら課題を設定して調べる学習。各種ワークシートや指導のヒントを提供しています。

生物多様性プログラム

水辺や草地の自然に親しみ、生物多様性を学ぶさまざまな学習プログラムを開発・支援しています。

魚の調べ学習

荒川でおなじみのマハゼとボラを観察して、体の作りの違いと棲みかや食性等との関係について学びます。



魚の色と防衛の授業

自然遊び

ヨシ笛、ヨシズ編みなど荒川に自生する植物を使った遊びを紹介しています。

身近な荒川で、自然の不思議や命のつながりに気づく学習を!

星野 2010年は、荒川クリーンエイドの環境学習にとってどんな年でしたか。

橋本 ゴミのワークショップや魚の調べ学習など、これまで子どもたちと積み重ねてきた学習をより体系的なプログラムとして形にできました。

星野 今後も荒川クリーンエイドならではのプログラムをどんどん作っていきたいですね。

橋本 荒川には、都会にあっては豊かな自然があります。身近な荒川で、自然の不思議や命のつながりに気づく学習が十分にできるのです。

星野 四季の自然に親しむプログラムから、生物を観察し探求する学習、クリーンエイドを核としたゴミの学習などなど、様々な学習が考えられますね。

橋本 指導者の皆さんには、ガイドブックや安全セミナーを活用して、安全についてもぜひ学んでほしいです。

星野 そんな荒川学習がもっともっと広がって、多くの子どもたちが荒川で学べる環境を作っていききたいですね。

橋本 2011年も荒川から、そして子どもたちからたくさん学ばせてもらいましょう!



荒川クリーンエイド・フォーラム 理事 橋本 浩基



荒川クリーンエイド・フォーラム 運営委員 星野 由実

■荒川下流域で支援した環境学習

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、事務局だけでなく運営委員やその所属団体とも連携しながら、荒川下流域各地で子どもたちの環境学習を支援しています。2010年は、以下の通り合計47回の支援活動を行いました。

支援先	日	場所	内容	支援団体
東京都				
板橋区立ボランティアセンター	8月10日・11日	板橋区生物生態園	外来種の伐採・学習など	いたばし水辺を楽しむ会
豊島区立池袋第二小学校	11月24日	都立浮間公園	野鳥観察	いたばし野鳥クラブ
荒川区立赤土小学校	11月19日、11月26日	西新井橋上流右岸	クリーンエイドとゴミのワークショップ、自然観察	荒川クリーンエイド・フォーラム事務局
江戸川区立大杉小学校	1月22日、5月7日、7月1日、10月15日	中土手五色池、下平井水辺の楽校	生物やゴミ・水質などをテーマとした課題学習、自然遊び、定置網漁など	荒川クリーンエイド・フォーラム事務局、中土手に自然を戻す市民の会
江戸川区立平井小学校	6月30日、7月7日、9月15日、10月13日	下平井水辺の楽校、平井小学校	生物・ゴミ・水質などをテーマとした課題学習、クリーンエイド、自然体験プログラム、映像授業など	荒川クリーンエイド・フォーラム事務局
江戸川区立平井東小学校	2月26日、5月24日、6月25日、7月7日、8月30日、10月7日、10月25日、10月29日、12月1日、12月8日	下平井水辺の楽校、平井東小学校	魚・バッタの調べ学習、クリーンエイド、水質調査、ゴミや汚れを出さない街づくりワークショップ、自然体験プログラム、映像授業など	荒川クリーンエイド・フォーラム事務局
江戸川区立小松川小学校	1月28日、6月11日、9月21日、10月28日	下平井水辺の楽校、小松川自然地、小松川小学校	生物・ゴミ・水質などをテーマとした課題学習、クリーンエイド、外来植物の学習、自然遊び、映像授業など	下平井水辺の楽校
学校法人足立学園中学校	6月25日	堀切橋～千住新橋右岸	クリーンエイド	荒川クリーンエイド・フォーラム事務局
都立日本橋高等学校	4月21日	都立日本橋高等学校	クリーンエイドの事前授業	荒川クリーンエイド・フォーラム事務局
葛飾区	9月23日	四ツ木橋左岸	昆虫と植物の関係、命のピラミッドを作るワークショップ	ネイバー・ワイルドネイチャー
埼玉県				
川口市立在家小学校	3月4日	芝川	不法投棄自転車の引き上げ	荒川夢クラブ
川口市立飯塚小学校	6月11日	浮間ゴルフ場内の池	ザリガニ釣り、自然観察	荒川夢クラブ
川口市立原町小学校	6月11日、6月25日	浮間ゴルフ場内の池	ザリガニ釣り、自然観察	荒川夢クラブ
川口市立飯仲小学校	7月9日	浮間ゴルフ場内の池	ザリガニ釣り、自然観察	荒川夢クラブ
川口市立舟戸小学校	9月24日、10月8日	浮間ゴルフ場内の池	ザリガニ釣り、自然観察	荒川夢クラブ
川口市立領家小学校	9月29日	旧芝川	虫捕り	荒川夢クラブ
川口市立十条民族学校中等部	6月20日	旧芝川、元荒川	水質調査、カヌー体験	荒川夢クラブ
川口市立川口総合高等学校	6月6日、10月25日	旧芝川、芝川、堅川	不法投棄自転車の引き上げ、水質調査	荒川夢クラブ
川口市	8月21日	荒川、川口市パートナーステーション	ゴミ拾い、水質調査、外来植物草刈り、魚釣り、魚類調査	荒川夢クラブ
川口市芝南公民館	5月23日、7月25日、9月26日、11月21日	芝南公民館、堅川、見沼	自然観察、川遊び、草花遊び、魚拓づくり、シュロのバッタ作り、植物標本作りなど	荒川夢クラブ
ジャスコ川口前川店 ともエコクラブ	6月12日	緑川、堅川	自然遊び、草花遊び	荒川夢クラブ

注： 荒川クリーンエイド・フォーラム事務局、運営委員が関わった荒川下流域における小中学生・高校生向け環境学習の支援活動



淡水池で定置網漁



芝川で虫捕りに夢中



浮間公園での野鳥観察

子どもたちのクリーンエイドと環境学習

荒川流域では、様々な学校や子ども団体が荒川をフィールドにクリーンエイドや環境学習に取り組んでいます。子どもたちの成果を一部ですが紹介します。

指導者からのメッセージ

ゴミ袋を持つ係とゴミを拾う係、そしてゴミの数を一つ一つ分別しながらチェックする係をそれぞれ担当し、子どもたちは意欲的に取り組んでいました。実際に体験をし、身近な荒川をもっときれいにしたいと感じたようです。

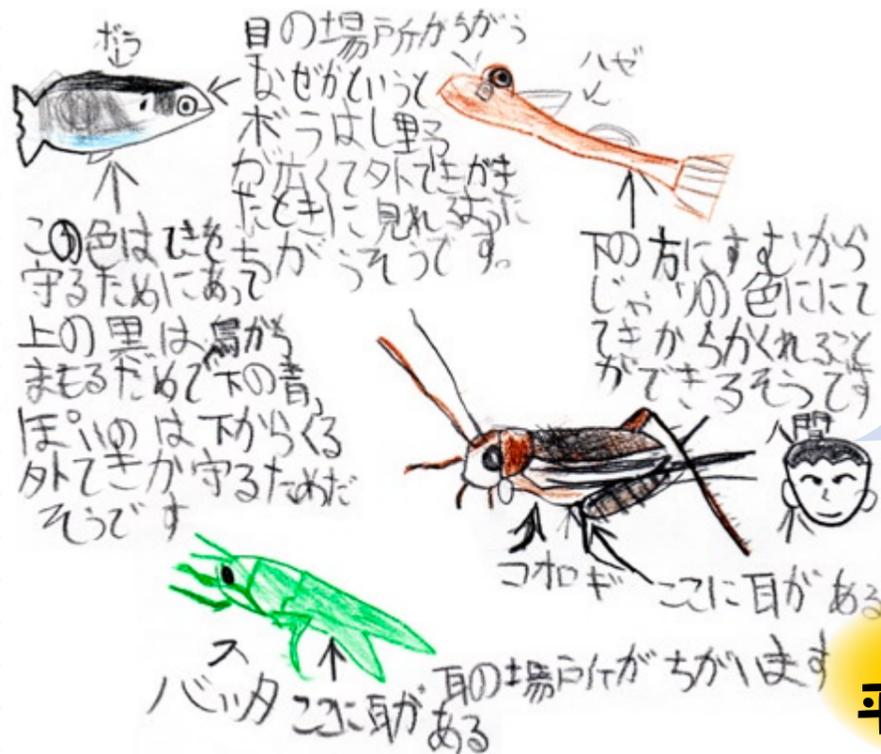
足立区立 寺地小学校4年



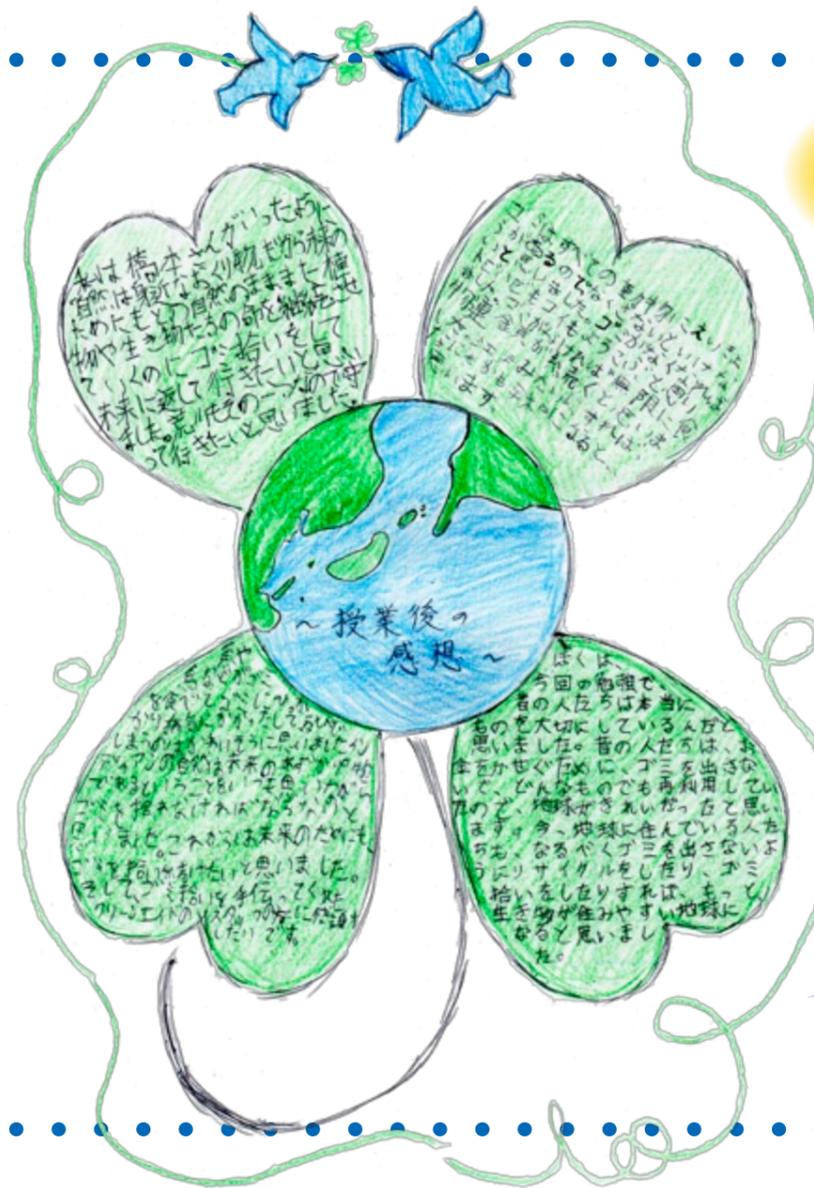
指導者からのメッセージ

平井東小の4年生は、すぐ近くの荒川土手で魚や昆虫、草花の学習をしました。小さな命を見つけ、生きる知恵や工夫を学ぶ学習には子どもたちも目を輝かせ、楽しく取り組んでいました。自然とふれあい心を育てた“楽習”となりました。

江戸川区立 平井東小学校4年



荒川区立 赤土小学校6年



指導者からのメッセージ

荒川という身近な自然を体験し、多くのことを学ぶことができました。「持続可能な社会」に向けて、子どもたちなりの一歩が踏み出せたようです。子どもたちには、様々な環境や社会問題も自分たちができることから始めてほしいです。

ガールスカウト 東京215団

指導者からのメッセージ

荒川流域のゴミ拾い、生態系の学習をする事が出来ました。子どもたちは自分たちの心がけが、きれいな川へつながる事を実感したと思います。とても良い経験をした一日でした。



レジぶくろやペットボトルなどのゴミが多かったです。みんながポイ捨てをしないできれいな荒川にしたいです。
ガールスカウト東京215団 尾形 玲奈

指導者育成

クリーンエイドや環境学習のリーダーを育成し、河川環境に関心を持つ人の輪を広げるとともに、安全面の強化を図っています。



説明会での水質調査の実演

クリーンエイド実施説明会(春・秋)

4月24日、9月25日の2回、クリーンエイドのリーダーの育成を目的に、実施団体のリーダー等を対象にガイダンスを行っています。実施準備、当日運営、安全管理、ゴミ処理、報告書の記入などについて解説し、水質調査の実習も行いました。



秋の体験会

クリーンエイド体験会(春・秋)

クリーンエイド実施説明会の午前中に、クリーンエイド実施団体のリーダーや、その他関心のある方を対象に、クリーンエイド当日運営の実習を行っています。事務局スタッフとともにクリーンエイドを体験しながら、スムーズで有意義な会場運営のヒントをお伝えしました。



安全管理の基礎から学びます。

水辺の安全セミナー

クリーンエイドのリーダーや環境学習の指導者等を対象に、水辺の安全セミナーを開催しています。今年は、クリーンエイド実施説明会の中で行いました。クリーンエイド活動時の安全管理を中心に、自然の中で活動する際の安全管理の基本についても理解いただく内容で行いました。



様々な年齢の大人が子どもたちに関わります。

サポーターによる支援

環境学習のリーダーを育成することを目的に、環境教育に関心のある地域の皆さんに、小学校支援の中でサポーターとしてご支援をいただいています。安全管理や指導のサポート等のご協力をいただきました。

河川に関心を持ち保全する人の輪を広げたい

荒川クリーンエイドは単なるゴミ拾いではなく、ゴミ拾いを通して荒川の自然を回復すること、さらに市民が河川の環境保全に関っていくことを目的に活動してきました。今後も、そうした人の輪を広げること力を入れて行きたいと思っています。また、河川で活動を続けるには、安全面も非常に重要な要素です。

安全セミナーやマニュアル等を通して、意識とスキルの向上を図っていききたいと思います。誰も最初はわからないことが一杯です。やる気がある方にはリーダーとして親切丁寧にご指導します。

荒川クリーンエイド・フォーラム 副代表理事
薄井 洋一



社会とつながる活動

他セクターや全国・世界とつながる活動を通して、また、クリーンエイドで得られたゴミのデータ等を社会に発信することを通して、世の中を変える動きを進めています。

ホームページをリニューアル



7月下旬に、ホームページをリニューアルしました。このリニューアルについては、NPOをサポートするNPO法人サービスグラントの荒川プロジェクトチームの皆さんのプロボノとしてすすめていただきました。2010はホームページを見てクリーンエイド会場に初めて参加された方もいて、リニューアルによる効果も表れています。

荒川市民パトロール隊の活動支援

「荒川市民パトロール隊」は、荒川を訪れた時に気づいた様々な情報などを河川事務所に連絡する活動を行っています。

荒川クリーンエイド・フォーラムは、荒川市民パトロール隊員の荒川下流部での活動を支援しています。今年度は「荒川市民パトロール隊News」を編集し隊員の方々に様々な情報の提供を行い、新たな取組として、「ゴミの不法投棄」、「自転車の走行スピード」、「堤防、高水敷の除草」、「自然地の利用のされ方」などのテーマ別連絡様式を用意積極的に隊員から情報の収集を行いました。併せて隊員よりゴミの投棄や水辺の住人のことなど様々な情報をいただき、荒川下流河川事務所にそれらを報告しました。



パトロール隊NEWS

プレス・リリース

2010年は、本格的に社会へゴミ問題の現状を訴えるべく、プレス・リリース文を作成し、新聞記者への送付や記者クラブへの持ち込みに着手しました。



荒川自然懇談会への参加

荒川下流部の自然保護団体で構成される「あらかわ自然連絡会」に参加し、荒川下流河川事務所と対話を行う「荒川自然懇談会」に出席しています。荒川クリーンエイド・フォーラムでは、特に自然地とゴミの関係を明らかにし、市民参加によって自然地をより親しみやすい場所にするを念頭に、提言活動を行ってきました。佐藤正兵、栗林菊夫、林美恵子、石本誠ら当会の役員が各々の所属自然保護団体を代表する形で関わっています。

2010年秋からは、荒川下流域に点在する自然地について、どのような生き物がいるか、市民によるモニタリングを行うための議論が展開されました。

JEANとの連携

荒川クリーンエイドのゴミ状況は、ビーチクリーンアップをしている一般社団法人JEANを通じて、国際的機関であるThe Ocean Conservancyに報告されています。日本のデータの一部として役立っています。



参加証

各種データ

1 散乱ゴミの素材別集計・容器包装類集計

2010 個数	(破片 含む)	破片類			
		個数	割合 (%)	2009 個数	2009 割合 (%)
1 食品などのポリ袋	13,720	13,720	9.4	23,278	10.0
2 買い物レジ袋	9,620	9,620	9.0	11,064	10.0
3 その他の袋やシート	10,728	10,728	8.9	16,044	14.4
4 ひもやロープ	1,825	1,825	8.7	12,047	11.8
5 袋・シートなどの小さな破片	21,934	-	5.6	12,232	11.1
6 ペットボトル	23,233	23,233	5.5	16,363	14.8
7 シャンプーや洗剤等容器	1,829	91,886	4.9	6,950	6.3
8 フタやキャップ	8,701	1,829	3.5	5,278	4.8
9 ビデオ・CD・DVD	897	897	3.9	5,278	4.8
10 その他のプラスチック製品	21,333	21,333	3.3	4,499	4.1
11 プラスチックの細かな破片	22,032	-	2.4	5,632	5.1
12 レジンベレット	808	-	2.2	4,483	4.1
13 弁当やカップめんの容器	4,245	4,245	2.1	2,379	2.2
14 食品トレイ	5,524	5,524	1.7	4,069	3.7
15 その他発泡スチロール製品	6,021	16,779	1.4	1,568	1.4
16 発泡スチロールの細かな破片	13,517	6,021	1.3	3,611	3.3
17 スポンジ、発泡ウレタンなど	989	-	1.0	1,566	1.4
18 飲料缶	9,886	9,886	0.9	1,427	1.3
19 その他缶	1,518	1,518	0.9	1,427	1.3
20 スプレー缶、小型ボンベ	1,983	1,983	0.9	1,427	1.3
21 電池	730	730	0.7	974	0.9
22 金属片・針金・その他金属類	2,310	2,310	0.7	1,653	1.4
23 飲料ビン	8,109	8,109	0.7	1,653	1.4
24 その他のガラス製品	1,393	10,027	0.6	1,653	1.4
25 せともの	525	525	0.5	1,653	1.4
26 ガラスやせともの細かな破片	2,436	-	0.5	1,653	1.4
27 使いきりライター	5,049	5,049	0.5	1,653	1.4
28 オモチャ・遊具	691	8,831	0.4	1,653	1.4
29 筆記具(ボールペンなど)	692	692	0.4	1,653	1.4
30 くつ・サンダル・スリッパ	1,316	12,524	0.4	1,653	1.4
31 かばん類	165	165	0.3	1,653	1.4
32 釣具・漁具	328	328	0.3	1,653	1.4
33 ボール類	3,177	3,177	0.3	1,653	1.4
34 ホース類	659	659	0.3	1,653	1.4
35 その他のゴム製品	447	447	0.3	1,653	1.4
36 タバコのすいから	12,013	12,013	0.3	1,653	1.4
37 タバコのパッケージ	1,041	1,041	0.3	1,653	1.4
38 紙バック	1,566	1,566	0.3	1,653	1.4
39 新聞・雑誌	911	7,068	0.3	1,653	1.4
40 ダンボール	603	603	0.3	1,653	1.4
41 花火かす	1,833	1,833	0.3	1,653	1.4
42 その他の紙製品	1,114	1,114	0.3	1,653	1.4
43 紙くず・紙片	11,393	11,393	0.3	1,653	1.4
44 材木・板	3,385	3,385	0.3	1,653	1.4
45 はし・割りばし	448	448	0.3	1,653	1.4
46 その他の木製品	720	720	0.3	1,653	1.4
47 衣類・布製品	1,538	1,538	0.3	1,653	1.4
48 注射器(危険物)	590	590	0.3	1,653	1.4
49 その他	539	539	0.3	1,653	1.4
合計	246,064	84,133	67.1%	191,772	100.0%

(*)破片、レジンベレット、タバコのすいからを除く全散乱ゴミに対する割合

2 散乱ゴミのファースト順位と2009年との比較

順位	品名	2010 個数	割合 (%)	2009 個数	昨年 比
1	ペットボトル	23,233	9.4	23,278	1.0
2	プラスチックの細かな破片	22,032	9.0	11,064	2.0
3	袋・シートなどの小さな破片	21,934	8.9	16,044	1.4
4	その他のプラスチック製品	21,333	8.7	12,047	1.8
5	食品などのポリ袋	13,720	5.6	12,232	1.1
6	発泡スチロールの細かな破片	13,517	5.5	16,363	0.8
7	タバコのすいから	12,013	4.9	6,950	1.7
8	紙くず・紙片	11,393	4.6	7,881	1.4
9	その他の袋やシート	10,728	4.4	5,840	1.8
10	飲料缶	9,886	4.0	8,347	1.2
11	買い物レジ袋	9,620	3.9	9,268	1.0
12	フタやキャップ	8,701	3.5	5,278	1.6
13	飲料ビン	8,109	3.3	4,499	1.0
14	その他発泡スチロール製品	6,021	2.4	5,632	1.1
15	食品トレイ	5,524	2.2	4,483	1.2
16	使いきりライター	5,049	2.1	2,379	2.1
17	弁当やカップめんの容器	4,245	1.7	4,069	1.0
18	材木・板	3,385	1.4	1,568	2.2
19	ボール類	3,177	1.3	3,611	0.9
20	ガラスやせともの細かな破片	2,436	1.0	1,566	1.6
21	金属片・針金・その他金属類	2,310	0.9	1,653	1.4
22	スプレー缶、小型ボンベ	1,983	0.8	1,966	1.0
23	花火かす	1,833	0.7	831	2.2
24	シャンプーや洗剤等容器	1,829	0.7	1,641	1.1
25	ひもやロープ	1,825	0.7	1,344	1.4
26	紙バック	1,566	0.6	1,337	1.2
27	衣類・布製品	1,538	0.6	1,481	1.0
28	その他缶	1,518	0.6	1,427	1.1
29	その他のガラス製品	1,393	0.6	974	1.4
30	くつ・サンダル・スリッパ	1,316	0.5	1,801	0.7
31	その他の紙製品	1,114	0.5	959	1.2
32	タバコのパッケージ	1,041	0.4	598	1.7
33	スポンジ、発泡ウレタンなど	989	0.4	1,009	1.0
34	新聞・雑誌	911	0.4	801	1.1
35	ビデオ・CD・DVD	897	0.4	611	1.5
36	レジンベレット	808	0.3	746	1.1
37	電池	730	0.3	560	1.3
38	その他の木製品	720	0.3	368	2.0
39	筆記具(ボールペンなど)	692	0.3	518	1.3
40	オモチャ・遊具	691	0.3	661	1.0
41	ホース類	659	0.3	864	0.8
42	ダンボール	603	0.3	496	1.2
43	注射器(危険物)	590	0.3	622	0.9
44	その他	539	0.3	825	0.7
45	せともの	525	0.3	558	0.9
46	はし・割りばし	448	0.3	256	1.8
47	その他のゴム製品	447	0.3	-	-
48	釣具・漁具	328	0.3	244	1.3
49	かばん類	165	0.3	228	0.7
合計		246,064	100.0	191,772	1.3

3 実施会場数と参加者数(1994~2010年)

【実施会場数】	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
秋(上中流)	0	0	0	3	0	2	2	3	2	2	4	6	10	15	17	14	15
秋(下流)	21	20	26	30	30	30	31	35	37	51	48	44	46	56	50	53	63
春(上中流)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
春(下流)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	19	19	21	29	25	23	31
通年計	21	20	26	33	30	32	33	38	39	69	71	69	77	100	92	90	110
【参加者数】																	
秋(上中流)	0	0	0	337	0	1,110	1,593	1,600	2,032	2,008	1,885	2,118	2,867	2,353	2,791	1,998	2,545
秋(下流)	2,607	4,255	4,310	4,107	3,837	4,540	4,355	6,427	5,022	7,446	6,820	5,531	5,438	5,769	5,568	5,722	5,113
春(上中流)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105
春(下流)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,243	1,328	1,406	2,067	2,143	1,919	2,168	2,912
通年計	2,607	4,255	4,310	4,444	3,837	5,650	5,948	8,027	7,054	10,697	10,033	9,055	10,372	10,265	10,278	9,888	10,675

4 散乱ゴミ袋数と粗大ゴミ数(1995~2010年)

【散乱ゴミ袋数】	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
秋(上中流)			648	0	1,660	3,850	1,605	2,178	1,820	1,373	890	469	542	408	481	359
秋(下流)	3,699	3,124	2,916	2,603	1,914	2,647	2,908	1,896	2,574	3,032	1,530	2,528	3,564	2,284	2,459	2,887
春(上中流)									0	0	0	0	0	0	0	62
春(下流)									393	888	684	509	848	975	1,498	1,506
通年計	3,699	3,124	3,564	2,603	3,574	6,497	4,513	4,074	4,787	5,293	3,104	3,506	4,954	3,667	4,438	4,814
【粗大ゴミ数】																
秋(上中流)				0	33	164	87	97	64	210	109	107	178	104	384	124
秋(下流)	1,001	531	499	409	396	214	294	242	266	267	255	350	808	346	730	479
春(上中流)									0	0	0	0	0	0	0	16
春(下流)									157	226	187	200	288	265	427	411
通年計	1,001	531	499	409	429	378	381	339	487	703	551	657	1,274	715	1,541	1,030

5 粗大ゴミ回収数(2006~2010年)

No. 品名	2010年			2009年			2008年			2007年			2006年		
	個数	順位	割合(%)	個数	順位	割合(%)	個数	順位	割合(%)	個数	順位	割合(%)	個数	順位	割合(%)
1 自動車本体	8	32		0	-		1	43		-	-	-	-	-	
2 タイヤ	89	3		145	1		52	3		103	2		51	3	
3 バツテリー	15	16		6	45		11	21		18	20		23	6	
4 その他の自動車部品	12	20		18	25		12	19		49	6		14	16	
ヘルメット										33	10		9	23	
5 バイク(本体または部品)	12	20		37	10		22	10		31	11		12	18	
6 自転車・三輪車(本体または部品)	37	8		66	8		39	5		65	5		61	2	
7 ベビーカー	0	-		4	47		0	-		0	-		2	42	
8 その他の乗り物	0	-		9	38		7	28		5	43		2	42	
9 その他交通関係	5	39		11	32		0	-		-	-		-	-	
乗り物関係(合計)	178		17.3	296		19.2	144		20.1	304		23.9	174		26.5
10 建築・工事用資材	26	11		110	4		47	4		100	3		30	4	
11 コーン(工事用道路標識等)	26	11		28	15		14	15		17	21		18	41	
12 その他標識・看板類	10	24		14	27		4	34		12	27		2	42	
13 ガスボンベ	12	20		7	41		1	43		35	9		7	28	
14 一斗缶・ペール缶	9	29		33	14		23	8		17	21		13	18	
15 ドラム缶	4	42		3	48		4	34		5	43		4	34	
16 消火器	6	37		20	24		4	34		21	17		7	28	
17 業務用緩衝材															

6 各会場におけるワーストゴミとその個数

会場 実施団体名 No.	ゴミ袋 (可燃)	ゴミ袋 (不燃)	ゴミ袋 (ペットボトル)	ゴミ袋数	粗大ゴミ数	主に拾った場所	散乱ゴミワースト3			粗大ゴミ					
							ワースト1	ワースト2	ワースト3	ワースト1					
1 NPO法人秩父の環境を考える会	17	8	3	28	0	—									
2 秩父子どもエコクラブ(秩父教育懇話会)	3	1/2	1/4	3	1	河川敷	タバコ	200	紙くず	60	飲料缶	50	その他業務用	1	
3 NTT労組埼玉グループ連絡協議会				62	16	河川敷	タバコ	2340	紙くず	634	袋小さな破片	375	材木・角材	4	
4 NPO法人熊谷の環境を考える連絡協議会	(110kg)	(450kg)	(300kg)			河川敷									
5 鴻巣の環境を考える会	10	10	0	20	7	河川敷・堤防	袋小さな破片	200	食品ポリ袋	150	袋やシート	100	材木・角材	2	
6 鴻巣の環境を考える会	10	20	0	30	11	河川敷・堤防	食品ポリ袋	120	レジ袋	80	袋やシート	70	タイヤ	4	
7 鴻巣の環境を考える会	2	20	0	22	18	河川敷	レジ袋	200	食品ポリ袋	100	その他プラ	30	業務用緩衝材	5	
8 ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会		(5 t)				—									
9 NPO法人荒川流域ネットワーク	16	10	2	28	0	—									
10 NPO法人荒川の自然を守る会	20	5	1	26	16	水際	プラ破片	大量	新聞・雑誌	大量	飲料缶	40	タイヤ	4	
11 大谷川クリーン大作戦実行委員会				7	0	—									
12 大谷川クリーン大作戦実行委員会	15	3	1	19	0	—									
13 大谷川クリーン大作戦実行委員会	20	7	0	27	0	—									
14 NTT東日本埼玉グループ	30	20		50	1	—								冷蔵庫	1
15 NTT東日本埼玉グループ	40	35		75	0	—									
16 ダイエーグループ	10	10	4	24	70	堤防	ペットボトル	400	飲料缶	400	飲料ビン	200	コード・ケーブル	50	
18 黒目川クリーンエイド実行委員会	6	8	1	15	1	水際	袋小さな破片	181	袋やシート	77	食品ポリ袋	44	ロープ・ネット	1	
19 (財)埼玉県生態系保護協会 戸田・藤支部、戸田市河川課、荒川夢クラブ	18	7	3	28	27	水際・河川敷・堤防	タバコ	637	飲料缶	612	紙くず	442	家具	8	
21 荒川夢クラブ				8	5	水際・河川敷・堤防	タバコ	131	紙くず	57	食品ポリ袋	41	その他生活用品	2	
22 (財)埼玉県生態系保護協会 川口支部				12	5	水際・河川敷	ペットボトル	100	その他プラ	76	飲料缶	35	ブラケース・プラコ(衣類ケース)	2	
23 (財)埼玉県生態系保護協会 川口支部、かわぐちっ子荒川クラブ				2	27	水際・河川敷・堤防	発泡スチロールの細かな破片	100	ペットボトル	85	飲料缶	65	液晶テレビ	1他	
24 (株)ファミリーマート	2	1	1	4	2	河川敷	その他袋	46	食品ポリ袋	44	レジ袋	29	自転車(本体・部品)	1他	
25 いたばし野鳥クラブ				42	19	河川敷	袋小さな破片	91	レジ袋	60	紙くず	54	建築・工用資材	5他	
26 いたばし水辺を楽しむ会				5	0	水際・河川敷	袋小さな破片	18	その他プラ	15	レジ袋	9			
27 いたばし水辺を楽しむ会				7	0	水際・河川敷	ペットボトル	28	飲料缶	20	レジ袋	16			
28 いたばし野鳥クラブ、板橋区緑と公園課	17	11	4	32	18	河川敷・堤防	袋小さな破片	604	紙くず	571	ペットボトル	160	自転車(本体・部品)	3他	
29 板橋グロブクラブ	1	1	1	3	1	河川敷	タバコ	94	袋小さな破片	65	紙くず	45	その他家電	1	
30 都立桐ヶ丘高等学校	16	16	6	38	3	河川敷	タバコ	350	袋小さな破片	338	その他プラ	273	バッテリー	1他	
31 北区水辺の会				49	16	水際	やわらかいプラ合計	586	食品ポリ袋	368	発泡スチロール製品合計	355	材木・角材	15	
32 北区水辺の会	2	23	9	34	10	水際	プラ破片	1300	発泡スチロールの細かな破片	400	ペットボトル	340	ブラ衣類ケース	4	
33 北区水辺クラブ	1	1	1	3	0	河川敷	発泡スチロールの細かな破片	103	タバコ	58	フタ	25			
34 北区	72	50	10	132	9	水際・河川敷	タバコ	1310	紙くず	831	袋小さな破片	661	自転車(本体・部品)	3	
35 ボーイスカウト東京連盟城北地区 北第11団				6	0	水際・河川敷・堤防	タバコ	102	袋小さな破片	58	紙くず	58			
36 ボーイスカウト東京連盟 城北地区 北11団				6	0	河川敷	花火かす	178	タバコ	68	食品ポリ袋	34			
37 尾久の原愛好会	3	2	1	6	0	河川敷	タバコ	140	その他プラ	28	食品ポリ袋	20			
38 尾久の原愛好会				5	0		新聞・雑誌	大量	食品ポリ袋	27	紙くず	26			
39 荒川区教育委員会社会体育課	20	16	5	41	3	水際・河川敷	タバコ	897	紙くず	323	袋小さな破片	172	傘	3	
40 NTT労働組合東京グループ連絡協議会、情報労連東京都協議会				222	23	河川敷	袋小さな破片	1916	プラ破片	1646	その他プラ	1436	タイヤ	4他	
41 荒川区立赤土小学校	9	4	6	19	11	水際	ペットボトル	259	その他プラ	156	その他発泡スチロール	129	材木・角材	3	
42 日本サムスン デザインチーム	15	9	11	35	3	水際	発泡スチロール破片	700	ペットボトル	462	飲料ビン	335	交通その他	2	
43 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)	3	9	3	15	1	水際	その他プラ	73	フタ	65	ペットボトル	63	照明器具	1	
44 日興コーディアル証券(株)	38	21	27	86	12	水際	ペットボトル	880	発泡スチロール破片	511	飲料ビン	368	自転車(本体・部品)	4	
45 三井住友海上メットライフ生命保険(株)	2	11	10	23	2	—							タイヤ	1他	
46 荒川区教育委員会社会体育課	1	1	1	3	0	水際・河川敷	飲料缶	31	食品ポリ袋	17	ペットボトル	16			
47 台東区教育委員会青少年スポーツ課・台東区少年野球連盟・台東区少年サッカー連盟	3	1	1	5	2	河川敷	紙くず	8	レジ袋	7	タバコ	7	その他家電	1他	
49 日興コーディアル証券(株)	43	13	21	77	29	水際	ペットボトル	619	その他プラ	248	食品ポリ袋	187	ブラ衣類ケース	6	
50 足立区荒川ビジターセンター、荒川区立第七映田小学校6年生				13	0	河川敷	ペットボトル	35	その他プラ	34	食品ポリ袋	31			
51 NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム	10	4	4	18	14	水際	発泡スチロールの細かな破片	133	袋小さな破片	113	食品ポリ袋	107	傘	7	
52 NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム				12	6	水際	ガラス破片	195	袋小さな破片	83	食品ポリ袋	77	自転車三輪車(本体または部品)	3	
53 足立学園中学校	70	16	水際・河川敷・堤防				袋やシート	394	袋小さな破片	306	食品ポリ袋	290	コード・ケーブル	5	
54 足立区立寺地小学校	12	12	1	25	0	水際	材木・板	318	紙くず	283	タバコ	192			
56 足立区荒川ビジターセンター				7	1	水際	袋やシート	73	そのガラス	48	その他プラ	42	家具	1	
57 足立成和信用金庫	20	10	30	60	0	水際・河川敷	ペットボトル	439	飲料缶	227	タバコ	177			
60 東京城北ライオンズクラブ	4	5	3	12	6	河川敷	ペットボトル	115	飲料缶	55	プラ破片	21	工事資材	2他	
61 あらかわエコフレンド	17	5	2	24	11	水際・河川敷	その他プラ	248	花火かす	246	飲料缶	123	ガスボンベ	5	
62 隅田川市民交流実行委員会	—	6	2	8	0	—									

会場 実施団体名 No.	ゴミ袋 (可燃)	ゴミ袋 (不燃)	ゴミ袋 (ペットボトル)	ゴミ袋数	粗大ゴミ数	主に拾った場所	散乱ゴミワースト3			粗大ゴミ				
							ワースト1	ワースト2	ワースト3	ワースト1				
63 荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	17	15	6	38	4	水際・河川敷・堤防	タバコ	344	袋小さな破片	207	紙くず	197	ブラウン管テレビ	2他
64 あらかわミズガキ隊				72	13	水際	発泡スチロールの細かな破片	208	発泡スチロール	148	食品ポリ袋	105	タイヤ	3
65 荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	30	17	3	50	1	水際・河川敷	その他プラ	466	ペットボトル	192	プラ破片	161	アウトドア用品	1
66 DKWBS	17	10	6	33	5	水際・河川敷	ペットボトル	173	その他袋	138	飲料缶	110	プラ以外の箱類	3
68 (株)藤商事	14	11	10	35	5	河川敷	ペットボトル	270	発泡スチロール破片	157	袋小さな破片	112	タイヤ	1他
69 一般社団法人東京損害保険代理業協会	17	15	9	41	2	水際・河川敷	その他プラ	2121	発泡スチロールの細かな破片	195	プラ破片	194	木箱・木枠等	1他
70 葛飾区立小松南小学校				3	6	河川敷	タバコ	401	紙くず	139	袋やシート	31	傘	3
71 (株)エックスワン				110	31	水際	プラ破片	1016	ペットボトル	506	その他プラ	452	タイヤ	12
72 (株)エックスワン	58	14	21	93	10	水際	ペットボトル	796	発泡スチロールの細かな破片	481	その他プラ	325	木箱・木枠等	2他
73 墨田区、ライオン(株)	30	30	10	70	0	水際・河川敷	食品ポリ袋	50	レジ袋	30	ペットボトル	30		
75 一般社団法人建築ビジョン	35	10	35	80	5	水際	ペットボトル	1486	袋やシート	318	飲料ビン	270	コーン	2
76 ブルームバーグ・L. P.	35	9	26	70	9	水際	ペットボトル	910	食品ポリ袋	249	レジ袋	222	プラ衣類ケース	3
78 松山油脂(株)	32	11	9	52	16	水際・河川敷	袋小さな破片	952	タバコ	636	食品ポリ袋	633	傘	8
79 ローソングループ	41	11	10	62	28	水際・河川敷・堤防	タバコ	926	食品ポリ袋	309	紙くず	245	材木・角材	4他
80 下平井水辺の楽校				37	36	水際	発泡スチロールの細かな破片	430	袋小さな破片	185	その他プラ	130	その他業務用	7他
81 江戸川区立小松川小学校				10	18	水際・河川敷	ガラス破片	284	発泡スチロールの細かな破片	259	プラ破片	75	タイヤ	4
82 江戸川区立平井東小学校				7	1	水際	袋小さな破片	105	タバコ	96	発泡スチロールの細かな破片	94	音響機器	1
83 下平井水辺の楽校	20	7	6	33	15	水際	袋小さな破片	438	レジンベレット	287	フタ	282	材木・角材	6
84 江戸川区立平井小学校(4年1組)	4	2	1	7	0	水際・河川敷	その他袋	29	ペットボトル	28	プラ破片	15		
85 江戸川区立小松川小学校	4	6	4	14	0	水際	フタ	87	ペットボトル	30	発泡スチロール破片	16		
86 江戸川区立平井東小学校	10	8	8	26	9	水際・河川敷	ペットボトル	230	発泡スチロール破片	210	レジ袋	119	プラ衣類ケース	3
87 小松川平井連合町会				—	—	—								
88 小松川信用金庫	49	19	27	95	11	水際・河川敷	ペットボトル	830	飲料缶	342	発泡スチロール破片	218	自転車(本体・部品)	2他
89 江戸川・生活者ネットワーク、ガールスカウト東京215団、三井ボランティアネットワーク事業団	24	7	11	42	10	水際	食品ポリ袋	218	ペットボトル	197	その他袋	154	材木・角材	9
90 明誠監査法人	14	4	5	23	7	水際	その他袋	275	ペットボトル	140	袋小さな破片	113	大型シート	2
91 ブルームバーグ・L. P.	11	3	4	18	4	水際	袋小さな破片	1282	その他プラ	317	発泡スチロール破片	254	自転車(本体・部品)	1他
92 [24時間テレビ]チャリティー委員会				251	94	水際	袋小さな破片	2097	ペットボトル	1897	プラ破片	1724	材木・角材	43
93 JAMBO INTERNATIONAL CENTER				42	6	水際・河川敷	ペットボトル	700	袋小さな破片	500	ビデオ・CD・DVD	500	その他生活用品	2
94 ジョンソンコントロールズ(株)	23	5	9	37	10	水際	その他プラ	338	プラ破片	327	その他袋	310	アウトドア用品	2他
95 島村運輸倉庫(株)	40	12	20	72	25	水際	ペットボトル	636	その他袋	507	袋小さな破片	468	プラ衣類ケース	12
96 ブルームバーグ・L. P.				22	2	水際	袋小さな破片	303	レジ袋	141	ペットボトル	140	アウトドア用品・デント	1他
97 シティグループ	25	5	12	42	20	水際・河川敷	その他プラ	340	ペットボトル	289	食品ポリ袋	259	プラ衣類ケース	6他
98 日本クラフトフーズ(株)	36	11	22	69	17	水際	ペットボトル	506	その他プラ	462	袋			

7 身近な水環境の全国一斉調査2010(6月)結果一覧

調査河川名称	地点名	団体名	実施日	COD(3回測定中央値)(mg/ℓ)	COD(希釈測定)(mg/ℓ)	(注)	色	におい	透視度(cm)
【埼玉県南部】									
びん沼川	すなづかばし	秋ヶ瀬にワンドを作る会	6.8	8以上			うす緑	なし	35
緑川	ニツ橋		6.5	6.3			濁りあり(前日の雨)	有り	25
緑川	愛宕橋	緑川を豊かな環境にする会	6.5	5.3			濁りあり(前日の雨)	有り	23
緑川	観音橋		6.5	7.3			濁りあり(前日の雨)	有り	23
緑川	三枚橋		6.5	7.3			濁りあり(前日の雨)	少し有り	24
緑川	塚越ポンプ場	埼玉県生態系保護協会	6.2	6		橋以外	透明	なし	48
緑川	さくら並木下	戸田・蕨支部、	6.2	6			うす茶色	なし	22
緑川	緑橋	荒川夢クラブ	6.2	6			白く濁る	なし	16
緑川	喜沢橋 南	川口市立西中学校科学部	6.2	8以上	13	橋以外	透明	なし	23
菫蒲川	緑橋		6.2	5			透明	なし	37
芝川	柳根橋		6.3	6			なし	少々黄色み	16
芝川	外環下	林・宮島ファミリーズ	6.3	6			なし	黄色み	12
芝川	網代人道橋		6.3	6			なし	少々黄色み	16
旧芝川	青木水門		6.20	8以上	8	橋以外	なし	なし	66.6
旧芝川	五右衛門橋	国際環境アートムーブ川口	6.20	8以上	12		なし	なし	63.1
旧芝川	新朝日橋		6.20	8以上	12		なし	なし	61.3
堅川	緑川との合流地点		6.6	5			ほぼ無色	無臭	70
堅川	新橋上	川口総合高等学校科学部	6.6	5			ほぼ無色	無臭	47.6
堅川	堅川桶門橋		6.6	6			ほぼ無色	無臭	56

【東京都荒川以东】									
綾瀬川	木根川橋		6.6	6			微黄色	なし	49
中川	小松川橋		6.6	6			薄黄色	なし	42
中川	船堀橋	荒川クリーンエイド・フォーラム	6.6	6			薄黄色	なし	43
中川	葛西橋		6.6	6			薄黄色	なし	42
新左近川	かもめ橋		6.6	7			透明	なし	54
新左近川	しじみ橋		6.6	7			透明	なし	57
新中川	小岩大橋	中土手に自然を戻す市民の会	6.6	6			黄色	なし	45.7
新川	人道橋(環七下)	江戸川・生活者ネットワーク	6.7	6			濁っている	ほとんどなし	70
江戸川	北篠崎近く	みずとみどりの寺子屋	6.6	5		橋以外	透明	なし	35

【荒川本流下流部】									
荒川	秋ヶ瀬取水堰	秋ヶ瀬にワンドを作る会	6.8	4		橋以外	透明	なし	65
荒川	笹目橋	いたばし野鳥クラブ	6.7	7					37
荒川	戸田橋	板橋水辺を楽しむ会	6.7	5					20
荒川	戸田橋南	川口市立西中学校科学部	6.2	10		橋以外	透明	なし	36
荒川	左岸京浜東北線鉄橋南		6.2	5		橋以外	透明	なし	35
荒川	新荒川大橋	北区水辺の会	6.6	8以上	15		淡灰色	カビくさい	31
荒川	扇大橋	尾久の原愛好会	6.6	6.5			なし	なし	50
荒川	千住新橋	足立区荒川ビジターセンター	6.6	8以上			少し濁り	なし	37
荒川	堀切橋	中土手に自然を戻す市民の会	6.6	6			極薄い黄色	なし	48
荒川	木根川橋	荒川クリーンエイド・フォーラム	6.6	5			微黄色	なし	49
荒川	平井大橋	下平井水辺の楽校	6.6	7.6			なし	なし	45
荒川	小松川橋		6.6	5			微黄色	なし	49
荒川	船堀橋	荒川クリーンエイド・フォーラム	6.6	7			微黄色	なし	46
荒川	葛西橋		6.6	6			微黄色	なし	48

【東京都北部・江東地区】									
新河岸川	新河岸大橋	いたばし野鳥クラブ	6.7	6					40
新河岸川	早瀬人道橋		6.7	6					43
新河岸川	新荒川大橋	北区水辺の会	6.6	8以上			淡灰色	下水のにおい	51
石神井川	溝田橋		6.6	8以上			淡黄色	下水のにおい	48
隅田川	白鬚橋	あらかわエコフレンド	6.6	7			なし	かびくさい	81

【東京都江東地区水路】									
旧中川	中川大橋	江東・生活者ネットワーク	6.6	4			茶色	なし	80
小名木川	クローバー橋		6.6	4			濁っていた	なし	80

【止水・水路等】									
綾瀬川	大曽根ピオトープ入口	大曽根の湿地ピオトープを守る会	6.13	7			うす濁り	わずか	30
浮間公園	浮間ヶ池(展望場)	板橋水辺を楽しむ会	6.7	8以上					10
北区・子どもの水辺	大池(仮称)	北区水辺の会	6.6	8以上			淡灰	藻のにおい	35
	小池		6.6	8以上			淡黄	無	13
江戸川	北篠崎ピオトープ	みずとみどりの寺子屋	6.6	8以上			にごった	少しくさい	8.5
鴨川放水路	秋ヶ瀬公園内水路	秋ヶ瀬にワンドを作る会	6.8	8以上			うす緑	無	35
荒川	五色池	中土手に自然を戻す市民の会	6.6	24	24		茶色	無	15

8 秋のクリーンエイド時の水質調査2010結果一覧

地点名	実施団体名	採水日	気温(℃)	水温(℃)	pH	COD(mg/ℓ)	アンモニウム態窒素(mg/ℓ)	亜硝酸態窒素(mg/ℓ)	硝酸態窒素(mg/ℓ)	無機窒素合計(mg/ℓ)	色	におい	透視度(cm)
【荒川本流(橋より)】													
高砂橋	秩父子どもエコクラブ(秩父教育懇話会)	9.12	29	23	7.5	7	0.2	0.01	1.92	2.13	透明に近い白濁	無	
戸田橋	板橋グローブクラブ	11.7	17	15.5	7.5	7	1	0.05	4.6	5.65	やや濁る	やや臭い	47
新荒川大橋	都立桐ヶ丘高等学校	11.2	19.5	16	8.5	7	0.35	0.01	1.92	2.28	白濁	無臭	8
扇大橋	尾久の原愛好会	10.24	22	18	7	7	3	0.2	2.4	5.6	ほとんど透明	無	無
千住新橋	足立区、足立区荒川ビジターセンター	12.8	12	14	7	3	1.5	0.1	4.2	5.8	灰色透明	無臭	13.5
四ツ木橋	荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	10.24	16	19	7.5	8	4		5	9			35.8

地点名	実施団体名	採水日	気温(℃)	水温(℃)	pH	COD(mg/ℓ)	アンモニウム態窒素(mg/ℓ)	亜硝酸態窒素(mg/ℓ)	硝酸態窒素(mg/ℓ)	無機窒素合計(mg/ℓ)	色	におい	透視度(cm)
平井大橋	中土手に自然を戻す市民の会	11.21	20	18	7	7	1	0.1	1.2	2.3	透明	ほぼなし	61
平井大橋	(株)ローン	11.7	16	16.5	7	16	1	0.05	1.6	2.65	少し茶色	無	16
船堀橋	江戸川・生活者ネットワーク、ガールスカウト東京215団、三井ボランティアネットワーク事業団	11.7	14.2	15	7.5	8	0.5	0.05	1.6	2.15	無色、少し濁りあり	無	52
葛西橋	江戸川区土木部計画課、えどがわエコセンター、いきごみクラブ	11.7	16.2	16.7	7.5	7	0.7	0.07	1.44	2.21			

【荒川本流(橋以外より)】													
秋ヶ瀬公園	ダイエーグループ	11.13	19	10.5	7	6	0.5	0.02	2.84	3.36	無色	無臭	70
北区・子どもの水辺(荒川本流大池地先)	北区水辺クラブ	10.9	18	17	7	10	2	0.1	4.2	6.3	薄茶	無し	59
北区・子どもの水辺(大池奥)	北区水辺クラブ	10.9	18	15	7	9	0.5	0.1	1.2	1.8	薄茶	無し	35
北区・子どもの水辺(小池奥)	北区水辺クラブ	10.9	18	14	7.5	10	0.5	0.02	0.84	1.36	薄茶	無し	55
扇大橋下流右岸少年運動場	荒川区教育委員会社会体育課	10.24	18	18	7	18	1	0.2	3.4	4.6	無色	無臭	31.5
西新井橋野球場	荒川区教育委員会社会体育課	10.24	18	20	7	6	1	0.1	4.2	5.3	無色	無臭	20
【支流(橋より)】													
隅田川 白鬚橋	あらかわエコフレンド	10.17	20.8	21.1	6.8	7	1.5	0.15	1.8	3.45	透明	無	84

【CODのみ測定会場】													
地点名	実施団体名	採水日	COD(mg/ℓ)	(注)	色	におい	透視度(cm)						
大芦橋	鴻巣の環境を考える会	11.23	1		無	無	88						
糠田橋	鴻巣の環境を考える会	11.23	1		無	無	58						
御成橋	鴻巣の環境を考える会	11.23	1		無	無	58						
西新井橋	日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)	11.12	6		多少濁り	かすかにドブ臭	46						
平井大橋	江戸川区立大杉小学校	10.15	4		薄い水色	臭い	25						
船堀橋	JAMBO INTERNATIONAL CENTER	9.23	7		薄茶色	無	50						
船堀橋	シティグループ	10.23	7				40						
黒目川・東久留米市	黒目川クリーンエイド実行委員会	10.24	2		無	無	130						
戸田橋左岸周辺	(財)埼玉県生態系保護協会 戸田・蕨支部、戸田市河川課、荒川夢クラブ	11.14	6	橋以外	薄茶色	無臭	29						
河原町原っぱ	(財)埼玉県生態系保護協会 川口支部、かわぐちっ子荒川クラブ	10.23	8以上	橋以外									
岩淵船着場上流	北区	10.17	6	橋以外	少し濁りあり	少しくさい	46						
荒川千住新橋緑地	足立成和信用金庫	9.25	2	橋以外	濁っていた	無	11						
首都高速道路下	荒川を考える葛飾区民会議・葛飾区	10.24	7	橋以外	淡緑褐色濁	気にならない							
葛西橋右岸	江東区土木部水辺と緑の課	10.9	6	橋以外	少し濁りあり	無臭	38						

9 周辺(生物)調査のまとめ

荒川クリーンエイドでは、ゴミ拾い・ゴミ調査と併せて生物を中心とした周辺調査を実施しています。クリーンエイドによって取り戻そうとしている荒川の自然環境を市民の視点で見たいこうとするものです。2010年は戸田市から江戸川区までの13のクリーンエイド会場で実施しました。荒川クリーンエイドの自然環境教室指導員によりその結果を講評します。

魚・水生生物

やはり荒川でお馴染みの魚は、ボラ、マハゼ、スズキ。カニ・エビ類では、クロベンケイガニ、ケフサイソガニ、シラタエビ、アメリカザリガニなど。確実に毎年確認できているのでもし確認できなくならたら、何があったのかと逆に心配になってしまう程である。魚の前記3種はいずれも汽水域から海水性の種であるが、居ついている個体がいても当然不思議ではない。スズキで居ついている固体は、回遊している固体と比べると黒ずんだ銀色の体色なので確認しやすい。

北区に入ると、汽水域性種が少なくなり、モロコ、メダカ、コイが増えてくる。そして、カダヤシ、オオクチバス(ブラックバス)などの外来種の確認も増えてくる。魚類は、時間をかけてゆっくりならずと、淡水性の種でも塩分濃度が強い水域で生きていくことが可能になる種もいるので、河口地域でも気が抜けない。その

ため、定期的な生物調査と外来種を根絶する対策が必要だが、進入させない対策を考えることも課題であろう。

クルメサヨリが船堀橋で確認された。クルメサヨリは汽水域性の種で荒川下流域でも生息できるが、水質汚染に非常に弱い。東京湾内でも20数年前までは絶滅していたかと思われていた。荒川では、2009年に江戸川区内で初認された。(葛西臨海水族園による葛西臨海公園西なぎさでの調査では、2004年に45年ぶりに確認された。)クルメサヨリが確認され、水質が徐々に改善されてきていることが実証されるのではないかと。

船堀橋でメナダが確認された。ここ数年メナダの確認はされておらず、荒川にまた1種生物が戻ってきた。メナダは、ボラの近似種で日本海側に多く生息しているが、太平洋側にもいても不思議ではない。ボラと同様に、稚魚のとき、内湾から河口・汽水域に上る習性がある。ボラより体色に少し赤みがあり、うろこが黒く縁取られているので区別がつけやすい。

同会場にて、シマイサキの確認があった。荒川クリーンエイドの調査では初認だと思う。稚魚のとき河口に上がってくる。イサキの間では、コトヒキが荒川でのお馴染。コトヒキとよく似ているが、シマイサキは尾鰭に矢形模様がないのと、やや体色に赤みを帯びているので、区別はつけやすい。

カニ類では、アシハラガニの確認が数会場で報告されている。その名の通り、ヨシ原(アシ原)に生息するカニ。ヨシ原がなくなる、あるいはゴミで覆い尽くされると生息できなくなる。ヨシ原のゴミが少なくなってきている証でもある。

水生生物も多種が確認でき、水質環境も改善されていることがうかがわれる。

(ネイバー・ワイルドネイチャー 橋本 浩基)

鳥

荒川流域各地のクリーンエイドで野鳥を観察している会場が少なく残念だが、サギ類、ハクセキレイ、カワラヒワなど一年中見られる鳥から、きれいなカワセミ、夏を過ぎると姿を見せるオオタカやチョウゲンボウなどが観察されている。また夏鳥のコチドリを記録した会場もあり、うれしいことである。もちろん冬の渡り鳥のカモ類、カモメ類も記録されており、珍しいアリスイが今年も確認されている。



アリスイ キツツキの仲間。冬に本州に渡ってくる。

流域各地の会場でも野鳥を記録していただければ、荒川の貴重な資料になるので、取り組む会場が増えればと願っている。

(いたばし野鳥クラブ 栗林 菊夫)

昆虫・その他の動物

生物調査をおこなった会場すべてで今年はバッタ・コオロギ・キリギリス類の確認が多かった。トノサマバッタは自然度の豊かなところを好む。コオロギ・キリギリス類が多いということは、カマキリ類の餌となるので、カマキリ類も多く生息できる。また、ニホンカナヘビやニホンヤモリも同様に餌とするので、食物連鎖の土台がしっかりしてくる。逆にバッタ類の食糧の植物が豊かであるとも言える。陸上生物にとって、植物・草食昆虫は食物連鎖の生産者と一次消費者なので、この二者が豊富な自然地ほど豊かな生物多様性が確立しているといえる。このような自然環境が荒川河川敷に増えてきている。来年も同様な自然環境であるようにしたい。



クビキリギス オスは5月頃から初夏にかけてジーンと鳴く。成虫で越冬する。

コオロギ・バッタ・キリギリス類は、種類・頭数とも多く確認されている。バッタ類ではここ数年ツチイナゴの確認が多くなっている。ツチイナゴは本来丘陵地の背丈の高い草地を好む。アカアシホソバッタ亜科に属し、この科では唯一成虫で越冬する。この時期には、彼らにとって背丈の高い草地は生命維持装置でもある。シジミチョウの仲間で、ウラナミシジミの頭数が多かった。ヤマトシジミより出会う確率が少ないのが通年だったが、葛飾区や江戸川区の数会場で、ヤマトシジミより多く確認されている。幼虫の食草はマメ科の蕾・果実なので、マメ科の植物も多いと推測され、ここでも食物連鎖が確立できているといえる。

クモの仲間でコガネグモも確認されている。ナガコガネグモより数は少なく自然度の豊かなところに生息するので、その点からも荒川の自然が豊かになり、生物多様性という言葉も当てはまると思う。

また、数会場でザトウムシが確認されている。ザトウムシはダニに近い生き物。ガなどの昆虫を食べるので、他の昆虫が生息していないとザトウムシも生息できない。しっかりとした食物連鎖が確立されている証といえる。

他の動物は、ニホンカナヘビの確認が一例に止まっている。絶対数が少ないとは考えにくく、目撃するチャンスが少なかったと信じたい。

(ネイバー・ワイルドネイチャー 橋本 浩基)

植物・外来植物

11カ所の観察記録から考察する。ヨシが10カ所、セイタカアワダチソウ

が8カ所、ヨモギが8カ所、オギが8カ所、クズが6カ所、セイヨウタンポポが5カ所で確認され、荒川に普通に見られる植物が繁茂している。水辺から、湿った所、乾いた所と植物が好んで生育する場所を選んでいる。

次に、エノコログサ、キンエノコログサ、カラスノエンドウ、チガヤ、ムラサキツメクサ(アカツメクサ)などが、群落を形成するのが見られ、秋には小鳥に餌を提供している。

デンジソウ、ミズアオイ、タコノアシなど古くから水辺や湿地に生える植物が残り、しかも2年連続して観察されているので、定着しつつあるのではないかと考える。これらの植物が増えることにより、豊かな水辺の景観が見られるようになって欲しいと思う。

また、ススキが1カ所でしか観察されず、ススキが減ってきているのではないかと。あるいは、オギと姿かたちが似ているため、河川敷で穂が出て風に吹かれている姿をススキとみなしていたのかもしれない。どちらも昔は茅葺屋根を葺く材料であった。

特定外来種であるアレチウリ、オオバタクサは、全体の半分の観察場所で見られるが、今年の繁茂の様子は、勢いがなくなっているようである。これらは、どの植物にもいえることであるが、7、8、9月の気温が異常に高く、しかも少雨であったためと思われる。また、一部の地域においては、人が懸命に抜いたためとも思われる。2009年に荒川下流河川事務所が外来種対策で除草した効果とも考えられる。

今回の調査で、シダレヤナギ、サクラ、ノイバラ、トウネズミモチ、ニレ、ピラカンサ、ナツミカン、オニグルミ、ケヤキ、コナラの樹木が見られ、人が植えたものか、上流から流れて来たものか、動物が運んだものか、考えるのも楽しいが、推移を観察していきたい。

(下平井水辺の楽校 中嶋 美南子)



オギ 水際に生えるヨシよりもやや乾燥した場所を好む。ススキとよく似ているが、ススキのように株にならないので区別できる。茎は堅く、穂は白く柔らかい。

生物調査で市民が関わる仕組づくりを

荒川クリーンエイドは、荒川の自然を回復することを目的に、国土交通省荒川下流河川事務所と連携しながら市民の手で17年間続けられてきました。

その結果、荒川は徐々に自然の豊かさを取り戻しつつあるように思われます。魚では、姿を消していたクルマサヨリがこの1、2年投網で確認され、野鳥でも近年、ベニマシコやアリスイ、クイナなどが下流部各地で観察されています。

荒川の自然再生では、国土交通省や地方自治体による自然造成の寄与によるところが大きいです。中でも自然地の保全に市民が協力している場所の自然環境の回復力は目を見張るものがあります。

荒川の自然を取り戻していくために今後必要なことがらとして、荒川にどのような生物が生息しているかの継続的な調査活動があります。調査の結果をもとに、荒川の自然地の豊かさに反映することができるからです。より良い自然環境を次の世代に引き継いでもらうためにも、荒川の自然に関心を持ち、生き物調査や自然地の保全活動に楽しく関わる市民の力を生かすことが有効な方法と考えます。

荒川クリーンエイド・フォーラム 副代表理事 栗林 菊夫



資料

調査用紙

荒川クリーンエイド2010は主に以下の調査用紙で実施されました。

荒川クリーンエイド ゴミ調査カード No. _____

<記入例> ■調査年月日: 年 月 日() 時 ころ

例 2 買い物レジ袋 正 正 正 T 17 おもに拾った場所 ⇒ 水際 河川敷 堤防 (○で囲む)

実施団体名: _____

記入者氏名: _____

No.	ゴミの種類	合計	No.	ゴミの種類	合計
1	食品などのポリ袋		27	使いきりライター	
2	買い物レジ袋		28	オモチャ・遊具	
3	その他の袋やシート		29	筆記具(ボールペンなど)	
4	ひもやロープ		30	くつ・サンダル・スリッパ	
5	袋・シートなどの小さな破片(5cm以下)		31	かばん類	
6	ペットボトル		32	釣具・漁具	
7	シャンプーや洗剤などの容器		33	ボール類	
8	フタやキャップ		34	ホース類	
9	ビデオ・CD・DVD		35	その他のゴム製品	
10	その他のプラスチック製品		36	タバコのすいがらとフィルター	
11	プラスチックの細かな破片(2cm以下)		37	タバコのパッケージ	
12	レジンベレット(プラスチックの4mmほどの粒)		38	紙バック	
13	弁当やカップめんなどの容器		39	新聞・雑誌	
14	食品トレイ		40	ダンボール	
15	その他の発泡スチロール製品		41	花火かす	
16	発泡スチロールの細かな破片(2cm以下)		42	その他の紙製品	
17	スポンジ、発泡ウレタンなど		43	紙くず・紙片	
18	飲料缶		44	材木・板	
19	その他の缶		45	はし・割りばし	
20	スプレー缶、小型ポンプ		46	その他の木製品	
21	電池		47	衣類・布製品	
22	金属片・針金・その他金属類		48	注射器・注射針	
23	飲料ビン		注意 注射器を見つけたら、子どもは触らない。刺さないようにペットボトルに回収し、ゴミ袋と分けておく。		
24	その他のガラス製品		■表のほかに目立つゴミがあれば記載して教えてください。		
25	せとのもの				
26	ガラスやせとのもの細かな破片(2cm以下)				

★重くて動かせない粗大ゴミ → 場所と品目・数をここに記入し、キャプテンに報告して下さい

(注) 動物の死骸やヨシ・流木など自然界のものは拾いません。

散乱ゴミ調査カード

【荒川クリーンエイド2010報告提出書式】《No.2》

●●●会場で記入●●● 荒川クリーンエイド 粗大ゴミ集計用紙

会場No.

- 粗大ゴミは、袋に入らない大きなゴミ・重いゴミ。
- 集積場所に運ばれた粗大ゴミを、まとめてカウントしてください。
- 重くて動かさないゴミは、場所と品目・数を「当日報告用紙」の地図欄に記入してください。(この集計用紙にも記載)

実施団体名	
実施日	
記入者名	

No.	ゴミの種類	合計	No.	ゴミの種類	合計
交通関係 ⇒交通関係合計					
1	自動車(本体)		7	ベビーカー	
2	タイヤ		8	その他の乗り物()	
3	バッテリー		9	その他()	
4	その他の自動車部品				
5	バイク(本体または部品)				
6	自転車・三輪車(本体または部品)				
業務用品 ⇒業務用品合計					
10	建築・工所用資機材(パイプ・ブロックなど)		20	ロープ・ネット	
11	コーン(工用道路標識等)		21	コード・ケーブル類	
12	その他の標識・看板類		22	大型シート(ブルーシート等)	
13	ガスボンベ		23	ビールケース・酒ケース	
14	一斗缶・バール缶		24	木箱・木枠・物流用木製パレット	
15	ドラム缶		25	発泡スチロール箱	
16	消火器		26	その他()	
17	業務用緩衝材・断熱材				
18	材木・角材				
19	漁具(大型のウキ・フロート・ブイなど)				
生活用品(家電品除く) ⇒生活用品合計					
27	家具(机・タンス・イスなど)		36	ポリタンク	
28	座椅子		37	ガスコンロ	
29	ソファ		38	アウトドア用品・テント	
30	布団・マットレス		39	ゴルフバッグ・ゴルフ用品	
31	畳・ござ		40	プランターボックスなど大型園芸用品	
32	カーペットなどの敷物		41	傘	
33	健康器具		42	その他()	
34	ブラケース・ブラカゴ(衣類ケース)				
35	プラスチック製以外のカゴ・箱類				
家電製品 ⇒家電製品合計					
43	ブラウン管テレビ		50	照明器具	
44	液晶テレビ		51	調理家電(電子レンジ・トースター)	
45	パソコン・周辺機器		52	その他()	
46	エアコン				
47	音響機器・ラジカセ				
48	冷蔵庫				
49	洗濯機				

実施後1週間以内に、郵送・FAX(03-3654-7256)・Eメールで提出願います

粗大ゴミ
調査用紙

広報資料

2010年、荒川クリーンエイド・フォーラムでは次の広報資料を作成し、活動の普及を図りました。

■荒川クリーンエイド2010ポスター・リーフレット

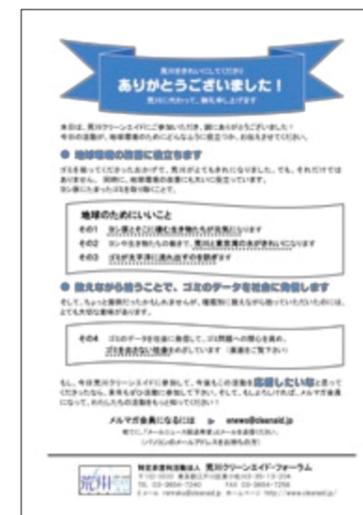
秋のクリーンエイド月間に向けて、各会場で参加者の募集に活用していただけるよう作成・配布しています。



リーフレット

■荒川クリーンエイド サンクスレター

荒川クリーンエイドに参加された皆さんに感謝の気持ちを伝えるサンクスレターを作成・配布しました。荒川クリーンエイドが地球環境の改善に役立っていること、ゴミを“数えながら拾う”ことでゴミのデータを社会に発信し、ゴミの発生抑制につながることをあらためてお伝えしました。



■荒川クリーンエイド ニュースレター

年3回発行し、クリーンエイド情報や、各種イベントのお知らせ・報告などをお伝えしています。(4/1号、9/1号、1/10号)



ポスター

荒川クリーンエイドをより多くの方に知っていただけるよう、荒川沿川22駅にポスターを貼付、リーフレットを置いていただいています。



駅に貼られたポスター



ラックに置かれたリーフレット

※ポスター、リーフレットは(社)関東建設弘済会の公益助成を受けて作成しました。

メディアで紹介された荒川クリーンエイド

2010年はまさにメディアでの紹介がクリーンエイドを盛り上げてくれました。その一部を採録します。

テレビでの紹介

テレビ東京系列で毎週日曜18:30-19:00に放送されている教育番組「トコトンハテナ」で紹介されました。

夏のレジャースポットのゴミはどうなっているの？という素朴な疑問のもと、準レギュラーのもりちえみさんがクリーンエイドを実施！

8月15日の放映では、もりちえみさんと実施したロケの紹介はもちろんのこと、さらにスタジオで高橋英樹さんやクワバタオハラが2009年度の散乱ゴミ・ランキングのクイズに挑戦しました。

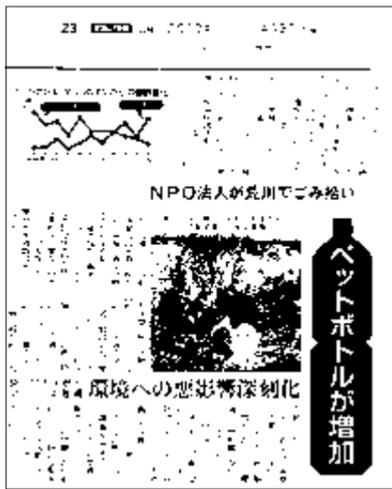


放映日	放送局	テレビ番組名
2010年5月29日	日本テレビ	「news every.」
2010年5月31日	日本テレビ	「Oha!4 NEWS LIVE」
2010年5月31日	日本テレビ	「ズームイン!! SUPER」
2010年6月6日	日本テレビ	「24時間テレビレポート」
2010年8月15日	テレビ東京	「トコトンハテナ」
2010年8月22日	NHK教育テレビ	「TVシンポジウム 地球の未来を探る～共生思想をどう生かすか～」
2010年8月28～29日	日本テレビ	「24時間テレビ33 愛は地球を救う」
2010年9月12～18日	J:COM江戸川	「Hometown江戸川」

新聞での掲載

「ペットボトルが増加、環境への悪影響深刻化」

荒川クリーンエイドで拾われたゴミは、ここ数年で、タバコのすいがらが激減し、反対にペットボトルゴミが増加していることなどが紹介されました。



発行日・掲載日	媒体名	新聞見出し
2010年4月3日	東京新聞	NPO法人が荒川でゴミ拾い～ペットボトルが増加
2010年4月29日	読売新聞	荒川清掃ボランティア募集
2010年5月30日	読売新聞	荒川河川敷1キロをボランティア清掃
2010年6月27日	読売新聞	700人が荒川沿い清掃りそな銀行員ら参加
2010年7月5日	足立朝日	「クリーンエイド 葛西海浜公園西なぎさ」
2010年7月16日	東都よみうり	「しゅしゅと荒川そうじ隊」
2010年8月27日	葛西新聞	みんなで街を掃除しよう! CLEAN UP OUR TOWN 2010-9/5日-
2010年8月27日	東都よみうり	「私たちの街をきれいに」プロジェクト CLEAN UP OUR TOWN 2010
2010年9月5日	足立朝日	北千住マルイがレジ袋削減で環境寄付
2010年10月22日	東都よみうり	荒川流域の清掃活動 参加者募集!
2010年11月5日	足立朝日	「荒川でゴミ拾いと草刈り体験」

ラジオ・区報・インターネット・情報紙での発信

ラジオ、自治体広報、情報紙、インターネットなど、あらゆるジャンルのメディアで報告。各種メディアを通じて活動案内や取り組み状況を発信しました。

ラジオ	自治体広報	インターネット
2010年3月15日 FMえどがわ	2010年4月20日 広報えどがわ	2010年6月15日 エコな達人アーカイブ 地域活動編
2010年4月12日 FMえどがわ	2010年9月20日 北区ニュース	2010年6月22日 Panasonicの企業市民活動 助成事例レポート
2010年7月26日 FMえどがわ	2010年10月5日 広報かつしか	2010年12月28日 省エネ ドットコム
2010年9月20日 FMえどがわ	2010年10月5日 葛飾区HP	
2010年10月4日 FMえどがわ	2010年10月10日 広報えどがわ	
2010年10月10日 あだち広報	2010年10月10日 広報えどがわ	
2010年10月1日 広報えどがわ	2010年11月1日 広報戸田市	
2010年11月1日 広報えどがわ	2010年11月1日 広報えどがわ	
2010年11月1日 すみだ区報	2010年11月1日 すみだ区報	
2010年11月1日 東松山市HP	2010年11月1日 東松山市HP	

寄付で社会に貢献する

荒川クリーンエイド・フォーラムを応援する仕組みを新たに作りしました。

2010年の寄付

2010年より寄付の募集を開始するなか、多くのドナーが荒川クリーンエイド・フォーラムに寄付をくださいました。

以下の2社は、ご厚意に預かり贈呈式を開催いただいた事例です。

ユービーエス・ジャパン株式会社

11月19日、贈呈式が行われ、同社代表取締役社長の梅野様より当会代表理事の佐藤へ小切手が渡されました。本寄付金は、ゴミのない社会を創造する循環型社会創造基金、活動全体を普及させる普及啓発基金を用途とします。



11月19日 ユービーエス・ジャパン(株)社長室にてにて贈呈式を開催

クレディ・スイス証券株式会社

11月22日、贈呈式が行われ、同社債券本部の皆さまより当会事務局長の糸岡へ寄付金が渡されました。本寄付金は、債券本部の若手社員を中心に、同部門約100名の方々から寄付を有志で募っていただいたものです



11月22日 クレディ・スイス エントランスにて贈呈式を開催

多くの企業が環境NPOへの寄付を実施する中、同時にゴミを減量するというユニークな取り組みをされる企業が登場しました。

株式会社丸井 ～ゴミの減量と環境NPOへの寄付～

北千住マルイでは、レジ袋削減の取り組みとして、2010年2月4日から地下の食品売場で「みんながMY BAG」持参キャンペーンを開始しました。

その仕組みは、レジ袋の辞退1件(精算)につき3円を、足立区NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラムに寄付できるというものです。レジ精算後、お客様が寄付先の箱を選んで、寄付カードを入れるシステムになっています。

みんなが「MY BAG」持参キャンペーンとは?



「みんなが「MY BAG」持参キャンペーン」の仕組み

2010年に設置した 荒川クリーンエイド・フォーラムへの寄付枠

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、皆さまからのご支援の形のひとつとして寄付をいただく仕組みを本年度より設けました。寄付は会費と違い、特に定額や期限等はありません。寄付金は、当会が取り組んでいるさまざまな流域の自然再生活動に広く活用させていただきます。寄付枠は、用途を当会に一任する「一般寄付」と、寄付者の意向を踏まえ、用途を選定する「テーマ別寄付」に分けられます。

「テーマ別寄付」の仕組み



2010年 お世話になりました

本年は様々な形で多くの団体・個人の皆さまにお世話になりました。

寄付●2010年より寄付の募集を開始しました。

一般寄付 クレディ・スイス証券株式会社、グリーン家電エコポイント、住宅エコポイント、ジョンソンコントロールズ株式会社、株式会社丸井

テーマ別寄付 ユーピーエス・ジャパン株式会社

協賛●荒川クリーンエイド2010への協賛として企業・団体の皆さまからご協賛をいただきました。

一般協賛

足立成和信用金庫

荒川クリーンエイドに参加し、**足立成和信用金庫**で11年目を迎え、役職員一同新たな気持ちでこれからも清掃活動に参加をしていきたいと考えております。今後、活動を通じ一人一人の環境保全意識向上に繋がる事を願っておりますのでご協力、ご支援のほどよろしくお願ひ致します。



足立成和信用金庫

小松川信用金庫

今年度初めて荒川クリーンエイドに参加させていただきました。荒川クリーンエイド・フォーラムさんには、参加準備から当日まで、大変お世話になりました。実際に清掃活動をしてみると、ペットボトルや家庭ゴミの多さに驚きました。これからも、小松川信用金庫として少しでもお役にたてるよう参加して行きたいと思っておりますので、どうぞご支援・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



小松川信用金庫

東京白鷗・城北・西新井・足立中央各ライオンズクラブ

荒川クリーンエイド活動に対して、継続して協賛をしております。この活動の重要性の認識を共有しているからです。森一里山一川一海と栄養素の連鎖が、生物生命の連鎖を保証しています。河川は、まさに生命体の血液であると考えています。



クレディ・スイス証券株式会社

クレディ・スイス証券株式会社は、荒川クリーンエイドに参加するとともに、活動を支援します。



佐川急便株式会社

佐川急便株式会社は、長年に渡り活動を実施されてきたことに感銘を受け、初参加させていただきました。佐川急便では、全営業所で地域清掃を実施しております。この取組みが、更に広がりを見せるよう努めて参りますとともに、今後も荒川クリーンエイドの活動に参加させていただき、活動が益々広がるよう応援して参ります。



株式会社 日立ビルシステム

2001年から環境保護活動の一環として河川敷清掃荒川クリーンエイドに参加してきました。最近、荒川下流域のヨシ原が絶滅危惧種の「ヒメマイトトンボ」の数少ない生息地の一つであることを知りました。今後は、『生態系の保全+自然環境美化』の観点で、荒川クリーンエイドに参加致します。



物品協賛

社団法人食品容器環境美化協会、株式会社スター商事、株式会社トンボ鉛筆、日本たばこ産業株式会社東京支店、株式会社ローソン

後援●荒川クリーンエイド2010への後援をいただきました。

国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所、国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所

埼玉県、東京都、戸田市、川口市、板橋区、北区、荒川区、台東区、足立区、葛飾区、墨田区、江戸川区、江東区

政府調達業務●国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所より以下の業務を受注しました。

平成22年度 荒川下流河川管理補助運営業務

平成22年度 河川環境保全啓発活動業務

助成事業●以下の助成事業を実施しました。

助成金名	プロジェクト名
財団法人大阪コミュニティ財団(東洋ゴムグループ環境保護基金)	荒川水系のゴミ拾いを中心とする環境保全活動
社団法人関東建設弘済会	荒川環境美化活動運営支援事業
三井物産環境基金	「民間企業とNPOとの協働によるアダプト制度的河川管理体制の創造

プロボノ支援●専門性を有した以下のボランティアの皆様がホームページをリニューアル及び更新いただきました。

益田 健太郎、中根 佳菜子、田立 圭一、山口 勝則(以上4名はNPO法人サービスグラント)、肥田 昌也、大関 真幸

学生インターン●2010年より学生インターンの受け入れを開始しました。

小西 史朗

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラムの組織

私たちの団体は以下のように構成されています。

役員 代表理事 佐藤 正兵

副代表理事 薄井 洋一、栗林 菊夫、林 美恵子

理事 石本 誠、伊藤 浩子、糸岡 栄博、鬼頭 秀一、橋本 浩基、恵 小百合

監事 菅谷 輝美、中嶋 美南子

運営委員 石川 勉、石本 誠、伊藤 浩子、糸岡 栄博、薄井 洋一、江原 春美、香川 千波、

栗林 菊夫、佐藤 正兵、田口 明美、橋本 浩基、林 美恵子、星野 由実

事務局 事務局長 糸岡 栄博

事務局員 伊藤 浩子、江原 春美、佐藤 正兵、星野 由実

会員(2010.12.28現在)

団体正会員 30団体

学校法人足立学園中学校、足立成和信用金庫、NPO法人荒川流域ネットワーク、SMCシビルテクノス(株)、(株)エックスワン、江戸川区生ごみ堆肥化実践クラブ、江戸川ケーブルテレビ(株)、NTT労組東京グループ連絡協議会、一般社団法人建築ビジョン、江東エコリーダーの会、小松川信用金庫、島村運輸倉庫(株)、下平井水辺の楽校、情報労連東京都協議会、DKWBS、(株)ダイエー、東海東京証券(株)、東京白鷗・城北・西新井・足立中央ライオンズクラブ、東京損害保険代理業協会城東支部、中土手に自然を戻す市民の会、日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)、日本郵政グループ労働組合城北支部、(株)日立ビルシステム、富士ゼロックスシステムサービス(株)、富士ゼロックスシステムサービス(株)ボランティア基金、ふるさと清掃運動会、ブルームバーグL.P.、松山油脂(株)、三井住友海上メットライフ生命保険(株)、(株)りそな銀行

団体賛助会員 5団体

個人正会員 64人 / 個人賛助会員 49人 / 特別賛助会員 15団体

編集後記に代えて ~運営委員からのことば~

- みんなの力でクルメサヨリも荒川に戻ってきました。着実に荒川がきれいになってきたことを実感!! (石川 勉)
- 日本人のマナーの悪さか、荒川は一向にゴミが減りません。拾うより捨てない運動をしていなくてはと思っております。川のゴミ、汚れは、生物多様性の破壊へ。(石本 誠)
- 2010年の活動で実現できたこと、まだ実現できなかったことなどが頭の中を巡ります。より価値のある魅力的な活動に向っていきたくと思っています。(伊藤 浩子)
- 都市に自然を回復する一助となるため、4年間勤めた会社を退職しました。前職への御恩返は、NPO職員として全うしていきたくと思っています。(糸岡 栄博)
- 見る事、拾う事、数える事、調べる事、伝える事、感動する事。荒川クリーンエイドは無限の可能性のあることをあらためて感じました。(薄井 洋一)
- 鋸鎌・両刃中厚鎌・伸縮刈込鎌、今年度充実したグッズです。外来種等の草刈りの一助になれば…ほとんど農作業ですね。いいえ、クリーンエイドの一環です。(江原 春美)
- 世界で急速に進んでいる水危機の根本的解決策の一つであり、身近で直接携わる事が出来る活動だと思っておりますので、持続的に参画したいと思っております。(香川 千波)
- この2年間、晩秋の浮間公園での学校行事でカワセミがよく見

- られています。子どもたち全員が見られましたので、スタッフの面々もにっこりでした。(栗林 菊夫)
- 13年続けた事務局長を降りてほっとする間もなく「自然管理」で走り回っていますが、始めたころに比べて少しは自然が豊になったかなと思います。(佐藤 正兵)
- ゆく河の流れは絶えずして…よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし(方丈記)。ゴミはちょっと違いますね。(田口 明美)
- 子ども達の環境問題に対する意識があがっています。いいことですよね!今年からHPの荒川生き物生活日記を書いています。子どもたちに負けず僕もレベルアップしなきゃ!(橋本 浩基)
- 川口会場は新型インフルエンザ、台風で2年続けての中止。2011年は秋空の下、荒川の土手で笑顔で再会し、いい汗かいてクリーンエイドしたいものですね。(林 美恵子)
- 2007年から本格的に取り組んできた環境学習、さらに荒川クリーンエイドらしい形を作っていきたいと意気込みだけは満々です!(星野 由実)





荒川^Cクリーンエイド
Clean Aid
あらかわ

荒川クリーンエイド2010 報告集

Arakawa River Clean-aid 2010 Annual Report

この報告集は、東洋ゴムグループ環境保護基金、
および大阪コミュニティ財団より助成を受けて作成しました。

発行
特定非営利活動法人
荒川クリーンエイド・フォーラム
132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204
<http://www.cleanaid.jp/>
TEL : 03-3654-7240 FAX : 03-3654-7256
デザイン : 永野武宏
2011年3月発行